慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	天理大学附属天理図書館蔵『老子道徳經河上公解〔抄〕』：翻印並に解題(下)
Sub Title	Roshidotokukyo-kajokokai-sho (老子道徳經河上公解[抄]) in the Tenri central library, with transcription and bibliographical notes (part 3)
Author	山城, 喜憲(Yamashiro, Yoshiharu)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1996
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.31 (1996.) ,p.273- 420
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	平澤五郎教授退職記念論集 資料紹介
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000031-0273

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

資料紹介

天理大学附属天理図書館蔵『老子道徳經河上公解〔抄〕』

翻印並に解題（下）

山城喜憲

解題篇

本稿（上）（中）に於いて翻印紹介した資料は、標題からも直ちに了解せられる如く、『老子』経文及びその古注である河上公章句に就いて、邦人によって著述された注釈書である。後に若干触れることであるが、江戸時代前期に遡る『老子』の注釈書は、伝本の現存状況から窺て極めて希な存在と言ってよい。従って、此処に翻印公表の上、本書の内容性格に就いて鄙見を提示しておくことも、些少なりとも意味あることと考える。唯、深汲綆短、省察未安の念いからは到底逃れ難く、識者の諒恕寛容と御批正を庶幾う次第である。

以下、既掲翻印の「凡例」に述べた内容と重複する部分もあるが、本書の概要を誌して大方の参考に資したい。

書誌要略

現所蔵者天理図書館に於ける目録題名は、後補表紙の外題を採って「道徳經抄」、請求番号は（126－1－19）、昭和五十四年十一月十五日の天理図書館受入れ印を押した紙箋が、副葉に貼付されている。印記は、「天理図／書館蔵」（朱長方）の一顆のみが鈐され、他には伝領に纏わる識語の類は見当たらず、

伝来の経緯は杳として詳らかにし難い。

老子道徳經河上公解〔抄〕（外題）存道經三十七章並附
旧題漢河上公章句　闕名者注　寛永四年（一六一八）写
和大合二冊

後補茶色空押し卍繋ぎ牡丹紋表紙（二七・二×二〇・〇糎）、外題「道徳經抄上（下）」と打付に墨書。元表紙は本文共紙で、現状では後補表紙の見返しに張り付けられている。上冊の元表紙には、右肩に「寛永四年八月十一日」、中央に「老子道經河上公解／　自一至五」（この「五」は、もと「六」とあったものを墨で抹消し右に加筆して訂正されている）と、また下冊には中央に「道徳經河上解／自十八至／二十八」と墨書されていることが判明した。両冊共に首に護葉一紙が添えられている。序跋の類は無い。

巻頭、「老子道經上」と本文よりやや大きめの文字で題され、一格を空け「廣聖義曰云々」と直ちに本文注釈に入り、撰者名等は題署されていない。

無辺無界、字面高さ約二二・三糎、毎半葉十三乃至十七字、章題及び経文は大字、河上公章句は「注」字を冠して改行、経文よりやや小さめの文字で書写、行廿三字内外、或いは改行せずに経文下一格を空けて連書される場合も多い。注は低一格、「僕考」「私云」等の撰者按語は二格低げの所もある。また、小字注、小字双行注が混在している。柱題署無し。墨筆の返点、送り仮名、音訓合符、連続符があり、朱の句点、圏点、合点が付され、地名、人名、書名に朱引が施さる。経文頭には、朱の「〇」を、章句の一部には朱で「△」の箋符を冠し、章句の全文、或いは注に引用された経文章句の字句の左旁には朱の傍線が施されている。

処々に衍字脱字の訂正、行間眉上等には追補の加筆が見られ、小圏、細線で挿入箇所を指示し、また同様の移行符を以て、注文の箇所を変更訂正した所がある。

この本は、道経為政第三十七に止まって、第三十八章より八十一章迄の徳経部分を欠いている。恐らくは何らかの理由によって続稿を阻まれ、中絶のやむなきに至ったものかと想像される。第三十七章末尾の後ろに、白紙一葉を挟み、以下、主として『道徳經廣聖義』より老子の生誕変現等老子老君に纏わる伝承伝説を輯め、次に同書附載の宋程大昌撰「易老通言撮要」の中から、書名の由来、「本易」「有無」「明矯」と題する諸論、及

び「孝宗皇帝御製原道論辨」を移写転載し、その後に未書写の白紙廿四葉が綴じ合わされている。

現状は後補表紙を付して二冊に装訂されているが、元表紙の題署及び小口に見られる合綴の痕跡から、元は全六分冊であったと推測される。その分冊の次第は、第一冊首至虚用第五、第二冊成象第六至能為第十、第三冊無用第十一至淳風第十七、第四冊俗簿第十八至反朴第二十八、第五冊無為第二十九至為政第三十七、第六冊廣聖義曰以下の附及び白紙であったと推定可能である。以上の前三冊、後三冊をそれぞれ綴じ合わせ二冊に改装されたもので、現在残存している元表紙は、第一冊及び第四冊の表紙であったことが判明する。その他の原冊の表紙は今は逸失している。

処々に見られる墨格、或いは行間眉上の加筆は、引用文転写に伴う誤写、衍文脱文を訂正したものであって、それに加え本書本文内容に渡る増補加筆の箇所もまた散見している。さらに随所に見られる空行の部分は、追補を予定しての余白と見做され、書写の容態から推察して撰述者自筆の稿本と認めてよいであろう。しかしながらその注釈撰述者が如何なる人物であったかに就いては、追考し得る手掛かりは皆無に近く、遺憾ながら不明とせざるを得ない。ただ、引用参照図書の豊富さと、注釈内容、引用の的確さから推察すれば、四部にわたる漢籍、仏典にまでも通暁した、相当の学識と相応の学問環境を有した人物であったであろうとは、難無く想像されるのである。

本書は、老子の本文及び河上公注文の全文を標出し、主として『古今韻会舉要』を引証として字義を解明し、語句を訓釈する。文意に渡っては、『道徳經廣聖義』をはじめ諸典籍から関連する事項説論を博捜旁引して注解傍証を加えてある。更に、「私云」「僕謂」等を冠し、或いは冠せずに、漢文による撰者自注が付されている。引用漢文を更に敷衍細釈する等、道徳經本文の理解という点から観れば冗長散漫と評すべき箇所も幾分存するが、注釈内容は概ね簡要堅実と言えよう。江戸時代初期に於ける、老子解釈の一典型と水準を示す好個の撰述著書と察知されるであろう。

因みに、江戸初期に成立した老子の注釈書としては、次の諸書が知られている。

老子厲案抄　二巻　松平定綱撰　　写

大二冊筑波大学附属図書館蔵

〔老子経抄〕　不分巻　闕名者撰　〔江戸前期〕写

大一冊神宮文庫蔵

老子諺解（題簽「春道老子經諺解」）三巻〔林羅山〕撰〔貞享二年（一六八五）〕刊

大二冊（欠巻三）山口大学附属図書館蔵

又（改題「老子淺説」）三巻　林羅山撰　貞享二（一六八五）刊修（京　富久嶋甚右衛門）

大二冊斯道文庫蔵

又（改題「老子抄解」）　遉修（北村堂）

大三冊国立国会図書館蔵

老子　二巻〔林羅山〕注〔江戸前期〕写

大二冊静嘉堂文庫蔵

老子經抄（題簽・版心、内題「老子虞斎口義發題」）三巻〔林羅山〕（道春）撰　承応一年（一六五二）刊（崑山館道可處士）

大三冊斯道文庫他蔵

又　後印

大三冊無窮会図書館他蔵

又　寛文九年（一六六九）印（京　田原仁左衛門）

大三冊慶応義塾図書館他蔵

この内、『老子厲案抄』の末尾には「慶安二年孟春於東都撰焉草創潤色源定綱」との撰述識語があり、『老子諺解』には、「正保二年三月五日老子全部以倭字抄解之巳／始于去月二十五日至此終其章依／鈞命也蓋演希逸口義云／　羅山子道春」の識語が見られる。従って、寛永四年の年記を有する本書の成立は、定綱、羅山の撰述に先立ち、現存する邦人による老子注釈書としては、清原宣賢撰かと予察されている『老子経抄』（斯道文庫論集第二十六輯に紹介）に次いで古いものである。また、自筆稿本と推定されるこの本の他には、本書の伝写本は未だ知られておらず、稀少さと相まって宝重すべき稀覯本と言えよう。

書誌上の概略は上述の如くであるが、いま少し本書の特徴に立ち入った穿鑿をするために、次の三点に着目しておくことが肝要であろうかと考える。その第一は、本注釈の対象となされた老子道徳經のテキスト、即ち本書に掲出された経注本文の底本を明らかにしておくことであろう。この事は日本に於いて授受伝習されてきた『老子』本文の実相究明と関わる問題でもある。第二に、本邦に於ける老子講述注釈史上、どの様に評価位置づけされるかの考察が求められるであろう。更に第三点として、注釈に際して使用された参考書籍即ち本注釈の引用図書に就いて鳥瞰しておく必要があろう。本書の学術面での水準を窺測するための有効な作業と思われる。以下、順を追って検討し

ていきたい。

掲出経注文の底本に就いて

既に述べておいた如くに、本書に掲出されている道徳経河上公章句の本文は、一字一句も省略されることなく、その全文が写定されている。言うまでもなく、本書の主意はその注釈にあるのではあるが、幸いにして往時の一テキストが残されたのである。老子講述伝習史上に於ける本書の意義如何が問われる為には、この本文を検証することが、前提として先ず要請されるであろう。

諸伝本の残存状況から、江戸時代初期当時において流布通行していた『老子』のテキストは、河上公章句本と虞斎口義本とであったと推定される。上古以来、誦読講述に専ら使用されてきたのは河上公章句本であるが、室町期に至ると、それと併行して虞斎口義本が講誦されるようになる。虞斎口義本は、経学で言うならば所謂宋学に相当する言わば新学を担うテキストであった。此の本は、近世初から江戸時代前期にかけて、河上公章句本を圧倒して普及していく。それに反して、河上公章句本は、現存する古鈔本の数量から見ても、また其の書入れの伝写の状況から考えても、古来殆ど唯一の老子経テキストとして優位を保ってきたのであったが、室町後期頃を境に衰微の様相を呈している。慶長頃の刊行と見做される古活字版は、伝写継承されてきた此のテキストの収束点、と仮想することも大方の見解として容認されるであろう。事実、同じ慶長頃、虞斎口義本の古活字版は四種もが刊行されており、河上公本古活字版が一種（異植字版一本が知られている）印行されたに止まったのと比較して、明らかにその普及の度合いに於いて逆転した様相が看て取れるのである。以後、純粋な形態での河上公章句本は絶えて刊行されることはなく、一方、虞斎口義本は、古活字版の覆刻、林羅山の諺解、首書本の刊行と、通行テキストとしての盤石の優位を保持し続けるにいたるのである。

此の両種のテキストのうち、本書は河上公章句本を採用していることに留意されなければならない。この点に関しては後に注釈史上での位置づけに関連して更めて触れることになろう。

此処では、本書が撰述された江戸時代元和寛永年間当時に於ける、河上公章句本諸本の流布状況を概観しておきたい。現在知られている宋刊本は三種であるが、何れも国外に所蔵され、日本に於ける伝承宋刊本は未だ発見せられていない。杏雨書屋

所蔵の〔鎌倉末南北朝初〕写本（零巻）をはじめとする我が旧鈔本には屡々才本との校異の書入れが見られ、鎌倉時代末以前に宋版或いは元版が舶載され、講読に使用されていたことは明らかである。しかしながら、其の本が以後日本において流布しテキストとして定着していった形跡は希薄である。斯道文庫所蔵の〔南北朝〕写本二冊は、当時伝来の宋元版の俤を彷彿とさせるが、古鈔本としては特異な伝本と言えよう。

元刊本として纂圖互註本が現存する。元版その物は未だ確認されていないようであるが、〔明前期〕の覆刻本・明弘治一八年（一五〇五）〔建安〕仁實書堂刊本以下の翻刻本があり、『六子』或いは『四子』の一つとして彼我において通行した。日本に於ける伝承本として天理図書館蔵の〔明前期〕刊本、蓬左文庫及び内閣文庫蔵の明弘治仁實書堂刊本が知られるが、そのうち天理図書館蔵〔明前期〕刊本には近世初期を下らない書入れがあって、其の伝来は古く室町期に遡るものであろう。此の纂圖互註は本書注釈にも引用参照されている。

明版では明嘉靖一二年（一五三二）の跋を有する世德堂顧春刊本が、我が国に於いても流布しているが、江戸時代前期に遡る伝来本は未だ窺管に入らない。

朝鮮古刊本は伝存せず、又旧刊本、所謂五山版は知られていない。

宋元明刊本は確かに当時既に渡来して、利用参照されていた。しかし、それがどの程度普及弘通していたか、伝存本の少なさから窺察して、ごく狭小な範囲での利用に止まっていたと考えるのが妥当であろう。従って本書に掲出された経注本文の底本如何を考索するに当たっては、先ずは中世以来の伝写本或いは古活字版を念頭に置くのが筋道である。

〔慶長〕刊古活字版は、東洋文庫蔵本一冊（元和八年〈一六二二〉清家点並校合書入本）、同蔵和田維四郎旧蔵本一冊、宮内庁書陵部蔵本一冊、斯道文庫蔵本一冊、陽明文庫蔵本二冊、小島寶素旧蔵成簀堂文庫蔵本二冊（經籍訪古志著録本）、久原文庫旧蔵大東急記念文庫蔵本一冊（欠巻上）の一種七部、その異植字版として、天理図書館蔵本二冊一部の伝存本が知られている。(注1)

勿論、古活字版が刊行されたことで、写本の時代から、俄に刊本の時代に移行したものと考えることは正しくない。従来からの伝写本が立ちどころに消滅してしまった訳でもない。古活字版が一般にどれほど普及したのかも関心事ではあるが、恐ら

くはその需要に応じきれるだけの出版部数ではなかったであろう。殊に、本河上公本の場合、往々事例が指摘されているような、覆刻整版は存在していない。恐らくは鳳斎口義本の流行がその要因の一つとして考えられるであろう。従って、なお旧来の伝統を重んじる学者の間では、必要に応じて伝写伝習に相務めたものと想像される。古活字版の刊行と前後するころの或いは、寧ろ後ではないかと判定したい書写本も伝存している。

現在知られている旧鈔本には、奈良聖語蔵御物〔鎌倉〕写零本一軸（存徳経二巻、大正一三年〈一九二四〉東京佐々木信綱刊の影印複製本有り）、内藤湖南旧蔵杏雨書屋蔵〔鎌倉末南北朝初〕写零本一軸（存巻上有欠）、戸川濱男旧蔵梅沢記念館蔵應安六年（一三七三）写本二冊（昭和五三年〈一九七八〉同館刊影印複製本有り）、宮内庁書陵部蔵〔南北朝〕写本二冊（至徳三年〈一三八六〉識語清家本、斯道文庫蔵林泰輔令写影写本二冊有り）、斯道文庫蔵〔南北朝〕写本二冊（康應二年〈一三九〇〉施入識語）、東洋文庫蔵〔室町〕写本一冊、瀧川君山・武内義雄遺蔵〔室町末〕写本一冊、南葵文庫旧蔵東京大学総合図書館蔵〔室町末近世初〕写本一冊、内藤湖南旧蔵杏雨書屋蔵〔室町中期〕写本一冊（存徳経下）、龍門文庫蔵〔室町中期〕写本一冊（存道経上）、大東急記念文庫蔵〔室町〕写本二冊（外題「換鵝経」）、慶応義塾図書館蔵大永五年（一五二五）写本一冊（存巻上道経）、井上頼圀旧蔵無窮会図書館蔵〔近世初〕写本一冊（伝鈔天文五年〈一五三六〉書写清家蔵本、東北大学蔵伝写本一冊あり）、伊藤有不為斎・戸川濱男旧蔵斯道文庫蔵天文一五年（一五四六）写本二冊、筑波大学附属図書館蔵天文二一（一五五二）写本一冊（慶長一七年〈一六一二〉伝受識語）、戸川濱男・弘文荘旧蔵〔室町末〕写本合一冊（元和五年〈一六一九〉付与識語）、足利学校遺蹟図書館蔵〔室町〕写本一冊、小島寶素・森立之旧蔵大東文化大学図書館蔵天正六年（一五七八）足利学校真瑞書写本一冊（經籍訪古志著録本）、戸川濱男旧蔵慶応義塾図書館蔵天正六年（一五七八）足利学校南春書写本一冊、陽明文庫蔵〔室町末近世初〕写本二冊、仁和寺蔵〔室町末近世初〕写本一冊（外題「猶龍録」）、以上二十一本の多きに達している。

かかる河上公本の伝本状況によって、本書書写当時に通行していた諸本の大体が概観される。本書掲出経注文の底本は差し当たってはこれら諸本の内に詮索される必要があるであろう。更に底本如何を追究するに当たっては、先にも述べた如く、や

はり最も流布していたと考えられる中世以来の伝写本を、候補として先ず第一に想定すべきであろう。或いは、寛永四年という本書の成立時期を考慮すれば、当然のこととして二三十年前に刊布された〔慶長〕古活字版は、残存伝本数が意外に少ないものの有力な候補と見做される。しかしながら、現存伝本の多寡が直ちに往時の流布状況に繋がるか否か、流布本故に後代に残されない事例は屢々指摘されてもいる。また、必ずしも流布本が底本として選定されるものとも限らないのであり、あくまでも蓋然性に止まるものと認識しておきたい。

此処では、撰述者が採用した本文の底本を特定することが、望みうる最良の結論であろう。しかし、その事は、現在知られている旧鈔本は、本書書写当時存在したであろう古写本、或いは当時書写されたであろう新写本の氷山の一角にも及ばない数と想察される故を以て、殆ど不可能事である。況んや、撰述者は不明であり、書写状況に関わる識語等は寛永四年月日の他には皆無である。従って、現存古鈔本及び古活字版との異同の様態を検証し、いずれかの本との近縁性を探るに止まることとなろう。なお、本書が古活字版刊行以後の成立であってみれば、当然、古活字版からの直接の転写本に過ぎないことも予想される。もしそうであるならば、古活字版の流布情況を窺う為の恰好の事例とはなるものの、本書掲出テキストの特異性は消滅し、更めての考察は不用となろう。結論を先取りして言うならば、古活字版との近縁性は諸伝本に比して極めて高いものの、直接の転写とは考えられないのである。

因みに、既に列挙したように、現存する老子の旧鈔本二十本程が知られているが、従来、通行刊本或いは宋刊本と対峙するものとして、日本古鈔本の総称を以て一括し、恰も同一テキストの如くに取り扱われて来ている。しかし、実際には諸伝本間の字句の異同はけっして少なくはない。伝写の過程において、江家本、中原本、清家本或いは才本等異本との同異が、訓みのみに限らず字句にまで及んで意識され伝習されていることは、それら古写本に遺された校異書入れから明白である。しかしながら、歴代累次の伝写の間には、それら異本は相互に混交し、別本を甄別することは最早不可能な実情に在ったようである。現存する古鈔本は、その様な、諸異本の本文が交雑した様相を呈している。それ故にまた、伝存各本間の異同も複雑を極め、各本の伝系繋累を辿ることは極めて困難な状況に陥っているのである。古活字版もまたかかる混交雑糅した伝本を以て写定刊

行された旧鈔本系のテキストと推定される。これら現存古鈔本及び古活字版の実相を掌握する為には、各本の書写状況、本文の同異等に就いて、相互に比較検証する必要があり、詳細は別稿に譲らなければならない。

述べた如くに、現存する古鈔本の本文は諸本を混交雑糅した様相を呈しており、本書が掲出する本文もまた例外ではあり得ない。そういう本文状態にありながらなお、各本は相互に近接する幾つかの群類を生起しているように観じられる。ここで考察すべき問題は、此の本文が、現存する旧鈔本或いは古活字版のうち、どの本と最も近接しているかを指摘立証することである。そのためにはやはり、諸本の本文字句の同異を明らかにしておくことが、必須の要件となるであろう。現存する全ての旧鈔本を対象とすることが要請されるであろうが、三十七章全文の対校を済ませた本のみを提示参校するに止まらざるを得ない。

対校の結果は本稿末に附載した「経注文校異」の通りである。対校本は、先に挙げた本書書写当時通行した蓋然性が認められる伝存諸本の中から、三十七章全文の対比が可能な本を択んだ。それに現今の主要テキストを加えている。諸本の刊写年代、所在、略称、及び校異作成に当たって直接使用した影印複製本等に就いては、「経注文校異凡例」を参照して頂きたい。龍門文庫蔵〔室町中期〕写本、小島寶素・森立之旧蔵大東文化大学図書館蔵天正六年（一五七八）足利学校真瑞書写本及び仁和寺蔵〔室町末近世初〕写本は対校未了の為に割愛せざるを得なかった。道蔵・敦煌・六地・陽Ⅱ・治要の五本は本論題とは直接的に関わるテキストでは無いが、異同の諸相を窺測出来ると考え、参考までに取り扱った。異同字句の標記に際しては、此の五本の内の一本のみと相違する場合にも、他の諸本同様に掲出している。

「経注文校異凡例」にも述べておいたが、本書経注文と各本との親疎の関係を数量的に把握しようとの試みで、一便法であるが一異文に対してポイント数①とし、このポンイトを異文のあるごとに各本に与えることとする。全文の対校が可能な、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・足利・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本に与えられた此の数をそれぞれに累計して、その多少を比較することで、本書と各本とのテキスト上の乖離の度合いを察知出来るのではないかという想定の上での模索である。言うまでもないことではあるが、本来ならばそれぞれの異文について、そ

の発生の由来、関係、是非等を個々に考勘し、各本相互の伝系を明らかにした上で、本書を位置づけるのが正条な方法であろう。しかし、実際には限られた伝本をもってしては、論証に資するだけの充分な事例を得ることは殆ど不可能と言ってよい。従ってある蓋然性のもとに類推された結果に当面甘んじざるを得ないのである。新出の一伝本によって従来の通説を再検討或いは訂正を余儀なくされる事態は常に生じ得る事なのである。

今ここで、本書に標出された経注文の底本如何を、直ちに求めようというのではない。上述したように、それを勘定することは先ず不可能と言ってよい状況にある。ただ、現存諸本の内、相対的に近似する伝本が有るか否かを研討することは可能であろう。かかる意味に於いて、此処で試みる本文異同を計量する方法は、相応の有効性を発揮することが期待されよう。しかしながら、一異文に一ポイントを与えるとは言っても、異文には種々の相があり、またテキスト上に於いて一異文が内包する意味合いは、軽重深浅それぞれ異なっているはずで、それを一律に取り扱えば、結果の信頼性を損なうことは明らかである。単なる誤写誤脱、異体字の使用、助字の有無、脱文、衍文、文辞の相違等を同レベルで比較することの粗雑さは、重々承知の上である。当然此処で計上された数量はかかる認識に立って慎重に再考裁量されなければならない。要するに此処に示された数量は極めて大雑把な概数であって、各本との接近乖離の様相を厳密精確に顕出しているものではあり得ない。ただ、極めて近似する本があれば、その概数に反映されるであろうし、諸本との親疎の比較も大局的には可能であろう。

次に、各本について、各章毎にポイント数を加算した総数と、全三十七章の総計を表示してみる。

章次	活 I	活 II	陽 I
1	4	3	8
2	4	4	8
3	1	1	5
4	1	1	3
5	1	2	2
6	1	1	3
7	0	0	5
8	0	0	5
9	2	3	1
10	1	1	10
11	7	7	12
12	1	1	3
13	2	2	10
14	7	7	26
15	2	2	10
16	5	5	13
17	3	2	7
18	1	1	2
19	7	3	9
20	4	4	15
21	1	1	7
22	5	6	9
23	4	4	5
24	1	0	7
25	1	3	24
26	4	4	4
27	2	1	9
28	9	9	19
29	1	1	3
30	1	3	3
31	2	1	8
32	1	0	7
33	1	0	5
34	3	3	8
35	3	3	6
36	4	4	5
37	1	0	5
計	98	93	291

道蔵	宋版	斯Ⅰ	東急	梅沢	書陵	無窮	弘文	足利	斯Ⅱ	筑波	慶Ⅱ	慶Ⅰ	東洋	東大	武内
32	29	27	20	17	15	19	23	18	24	19	33	23	24	21	30
18	17	16	15	6	9	4	8	4	12	6	10	11	7	9	11
19	22	16	11	12	7	9	9	13	11	8	7	12	15	8	10
18	27	11	10	7	5	6	7	12	9	5	8	6	10	7	9
15	12	9	8	11	5	7	8	8	8	8	7	9	10	6	7
26	17	11	10	9	9	6	10	12	11	8	10	13	8	6	8
14	10	5	6	5	3	3	6	5	3	7	9	6	4	6	7
11	11	11	8	7	6	7	8	7	8	10	8	10	6	8	7
10	7	6	4	6	7	6	10	9	7	10	5	10	10	3	6
35	38	24	13	15	8	9	24	17	15	15	17	18	15	21	18
28	23	15	16	15	15	13	15	14	15	14	17	19	17	21	20
15	8	6	5	3	4	3	7	7	5	7	6	4	5	7	4
40	28	17	11	12	10	10	14	12	13	12	11	15	14	16	14
58	37	32	28	23	20	26	24	29	25	34	24	39	31	37	35
40	25	18	21	15	20	14	17	22	16	17	16	17	17	17	17
48	37	24	21	23	16	18	17	20	27	26	17	23	27	20	22
20	19	11	13	11	11	5	7	9	11	7	9	7	7	9	11
26	18	6	9	5	5	5	6	4	5	6	7	5	7	6	4
34	28	15	16	13	9	6	6	9	9	14	13	15	17	15	15
54	35	38	30	25	13	16	17	19	21	17	19	17	24	19	19
34	20	18	4	6	7	4	8	7	11	11	18	10	7	6	5
35	23	22	15	15	12	12	12	16	14	10	16	15	15	13	12
37	23	12	14	13	6	9	10	7	8	9	9	9	10	12	9
24	17	9	13	7	8	5	10	11	12	10	7	11	12	10	12
36	35	33	24	14	12	17	12	10	21	24	23	27	31	33	31
23	14	11	10	8	7	6	7	12	10	7	9	8	9	7	8
30	28	22	11	9	6	5	4	5	9	9	11	13	17	18	12
46	43	38	33	26	11	16	20	13	17	19	12	19	30	33	30
22	14	13	9	6	6	9	6	5	7	5	9	7	13	12	11
16	13	10	5	4	7	4	7	6	7	8	7	6	7	6	3
56	32	30	21	14	6	6	11	13	14	20	13	13	29	27	25
26	14	14	10	9	7	5	7	11	8	10	12	13	16	13	17
22	14	14	5	3	4	3	9	5	8	8	8	9	11	8	7
30	24	24	10	13	10	10	13	8	15	11	16	14	17	11	11
24	16	14	12	8	11	6	11	14	11	11	14	13	10	11	13
15	11	8	8	8	8	6	8	9	7	11	6	7	9	8	7
16	15	11	10	7	12	10	11	10	11	12	11	16	7	12	13
1053	804	621	489	410	337	325	409	412	445	445	454	489	525	502	500

此処に表出された数字の多少が、直ちに本書掲出経注文と各本間の親疎の程度を示すもので無いことは、上述した通りである。それを考慮に入れた上でも、尚、古活字版との近似、宋版、道蔵本との乖離、更には諸旧鈔本との離反近接の錯綜した関係

を如実に反映していると言えるのではなかろうか。旧鈔本の内では陽明文庫蔵〔室町末〕写本が本書に近く、斯道文庫蔵〔南北朝〕写本が最も遠い関係にあるとの認定も許容されるであろう。

古活字版との近接した関係は、本書と古活字版のみ、或いは古活字版を含め一二の少数の本とのみ一致する箇所が縷々指摘されるにもかかわらず、古活字版以外の或本とのみ一致する箇所を見出すことは甚だ困難であるという事実からも、相当の確実性を以て推知せられる。校異表の通し番号で示せば196 199 213 308 332 386 477 498 555 557 605 611 680 710 819 937 983 1027 1043 1045 1096 1211 1214 1218 1263 1436 1461 1527 1553 1577 1583の三十一の箇所が古活字版との近縁関係を示す、この意味での的例となるであろう。

校異の結果、諸伝本と比較して、古活字版と相対的に最も近接する関係にあることが、顕著に示された。しかし一方で、両本の字句には相異なる箇所も少なからず存在する。其の相違が転写に伴って生じがちな誤写誤脱或いは同字・略字・古字・通用字等異体字使用の範囲と見做しうるか否かの検討が須要であろう。若し、悉く誤写或いは誤脱又は異体字使用の範囲内での不同と見做されるのであるらば、本書の掲げる経注文は、古活字版からの転写に過ぎないと認識せざるを得ないことになろう。当然誤写誤脱と認められる箇所も多い。しかし、そうではなく、明らかに古活字版本文とは相違するテキストを参校したか、或いは、古活字版と近似する別の或本に依拠したと考えるべき証例も幾多指摘しうるのである。従って、古活字版と異なる九十八の箇所について予め吟味しておく必要がある。

先ず、異体字使用によって生じた異同の類例を指摘しておく。

不弗－8891、芻蒭－175 176、持恃－287（異植字版は「特」）289、皈歸－387 527 529 552 640 644 648 704 822 824 909 942 946 1191 1197 1200 1215 1220 1225 1228 1230 1488 1489 1503 1507、没歿－683 688、朴樸－780、殺煞－803、太大－1505、翕噏－1536

以上の三十七例の異同に就いては、本書経注文が古活字版からの転写であることを否定する積極的な証拠とはなりえない。転写に伴って生じうる異同として充分許容される範囲であろう。

次に、転写の際の単なる誤脱誤衍誤写と認めることが可能である異同箇所を指摘しておく。校異表の通し番号を冠し（　）内に異同文の所在を附記する。尚、以下単に諸本と称する場合は、校異の対象とした全ての本を含めた総称として使用する。

11（體道第一「名可名」下注）謂冨貴尊栄高世之名－諸本此

の文末に「也」字が有る。本書のみ脱。

12（同「非常名」下注）非自然常在之名－道蔵本を除く諸本文末に「也」字有り。本書脱。

154（無源第四「湛兮似或存」下注）故長存－諸本「故長」の間に「能」字有り。本書誤脱。

372（能為第十「為而不恃」下注）不恃其報也－諸本「恃」字の下に「望」字が有る。本書のみ脱。

385（無用第十一「三十輻共一轂」下注）故衆輻湊之－道蔵本を除く諸本「輻」字下に「共」字が有る。本書脱。

404（同「當其無有室之用」下注）人以得出入観視－「以得」諸本並びに「得以」に作る。

412（同「無之以為用」下注）言虚無者－古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・弘文・斯Ⅱ・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は「無」を「空」に作る。慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・東洋各本は「虚無」を「空虚」に作り、慶Ⅰ本は「室虚」に作る。本書のみ「虚無」と為す。

424（検欲第十二「五音令人耳聾」下注）不能聴無声之声－古活字版及び旧鈔諸本、本辞句末に「也」字有り。恐らくは本書誤脱。但、敦煌・宋版・道蔵各本には此の「也」字は無い。

479（厭耻第十三「則可以寄於天下矣」下注）不可以久－敦煌本を除く諸本、句末に「也」字が有る。

513（贅玄第十四「故混而為一」下注）名之為一也－古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵の各本は「為」字の上に「而」字有り。敦煌本のみが本書に同じ。

530（同「復皈於無物」下注）復當皈之於無實也－諸本並びに「實」字を「質」に作る。

558（同「是謂道紀」下注）謂道之綱紀也－諸本「謂道」両字の間に「知」字有り。本書誤脱か。

724（俗薄第十八「大道廃焉有仁義」下注）戸有忠臣－「臣」諸本並びに「信」に作る、字音が同じことに拠る誤写と思われる。

951（虚無第二十三「飄風不終朝驟雨不終日」下注）言疾則不能長－諸本「則」字無し。本書の誤衍か。但、「則」字を有する一本が当時存在し、それに従った可能性も否定出来ない。

978（同「徳亦樂得之」下注）徳亦樂得之－道蔵本を除く諸本、本句末に「也」字が有る。道蔵本は此の句無し。

980（同「失亦樂得之」下注）失亦樂得之－道蔵本を除く諸本、

本句末に「也」字が有る。道蔵本は此の句無し。

1102（重徳第二十六「重為輕根」下注）則去神―「去」字、諸本並びに「失」に作る。

1113 1114（同「不離輜重」下注）君子終日行不離静與重也―諸本並びに「行不」の間に「道」字が有る。又、「静」字の上、古活字版及び陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本には「其」字が、武内・東大・東洋・梅沢・東急各本には「於」字が有る。本書のみ何れの字も無し。

1128（同「躁則失君」下注）王者躁失―「失」字、諸本並びに「疾」に作る。但、斯Ⅱ本は此の句無し。

1242（反朴第二十八「聖人用之則為官長」下注）為百官之元長―諸本、此の句末に「也」字有り。

1260（無為第二十九「執者失之」下注）強執取之―「取」字、諸本並に「教」に作る。

1479（任成第三十四「愛養万物而不為主」下注）不如主人有所収取也―諸本並びに「主人」を「人主」に作る。

1539（微明第三十六「将欲翕之必固張之」下注）先開張之者極其奢淫也―諸本並びに「極」字の上に「欲」字が有る。

1548（同「将欲奪之必固與之」下注）先與之者欲使其貪心也―諸本並びに「使」字を「極」に作る。

1551（同「柔弱勝剛強」下注）柔弱者長久―諸本並びに、「長久」を「久長」に作る。

以上、転写に伴って生じた衍脱誤写として処理可能なところ、二十六箇所が指摘される。この判定の照準は、古活字版を含め対校旧鈔諸本全てと異同が認められるという点に据いた。しかしながら、これらの証例から直ちにそうと即断出来る訳ではない。若し仮に、以上の箇所に於いて、本書掲出文と一致する本文を有する旧鈔本が発見されれば、逆にその本との近縁性を再考しなければならない情況が発生する。724を除く何れの事例も、文脈文義の上で齟齬破綻をきたしている箇所は無いと言える。目につく「也」字の欠落も本書著述者の任意に拠るものと言えなくもない。此処では古鈔本中他に同例がある為に取り上げなかったが、古活字版に存する文句末の「也」字を欠く事例として更に、63 396 397 444 511 705 976 1033が認められる。要するに、此の二十六の異同例からは、古活字版の転写であるとの仮設を積極的に否定はできないのであり、また古活字版以外の本が参校された可能性を期待することも当面はできないのである。

次に、古活字版以外の別本に従ったとの認定を可能とする異同の例を挙げる。ここでの挙例の判断基準は、古活字版との異同箇所に就いて、他の対校旧鈔本と一致する場合が有るか否かということになろう。以下、古活字版と称する時は、原則として異植字版を含めて言う。異植字版に改修箇所が有る場合には更めて異植字版との同異に言及する。

37（體道第一「故常無欲以観其妙」下注）可以観大道之要―古活字版及び陽Ⅰ・東大・足利・筑波・慶Ⅱ・東洋・弘文・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本「大」字無し。異植字版・武内・慶Ⅰ・斯Ⅱ・無窮・杏雨の各本は「大」字が有る。本書は古活字異植字版を含むこれら各本に一致する。但「大」字の有無について是非は判定し難い。異植字版が校改されている点にも注目される。後掲の211 694 750 754 763 779 1004 1075 1357 1427 1436 1569も同様。

63（同「玄之又玄」下注）則生貪淫―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版各本は句末に「也」字が有る。筑波・道蔵本は本書に同じく「也」字は無い。本書誤脱の可能性も有る。

86（養身第二経文）為而不恃―古活字版及び慶Ⅱ本、「恃」を「特」に作る。陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要各本は本書に同じく「恃」に作る。字形の類似、或いは通用字の「持」との混同に拠ってか両様の伝本が生じており、本書は古活字版類とは相違している。

87（同「為而不恃」下注）不恃望其報也―古活字版及び慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・書陵各本、「恃」を「特」に作る。陽Ⅰ・武内・東大・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要各本は本書に同じく「恃」に作る。

108（安民第三「使民不為盗」下注）上化清淨―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東洋・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・梅沢・東急・治要各本「淨」を「静」に作る。東大・弘文・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は本書に同じ。字形の類似、或いは通用字の「瀞」との混用に拠ってか両様の伝本が生じ、本書は古活字版類とは相違している。

211（成象第六「是謂玄牝」下注）五味濁辱―古活字版及び陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本「味」を「性」に作る。異植字版・武内・東大・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急各本は本書に同じく「味」に作

る。文脈からは「味」が優か。

396（無用第十一「當其無有車之用」下注）人得載其上―古活字版及び陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版各本、此の句末に「也」字有り。武内・足利・敦煌・道蔵各本及び本書には無し。但、此の事例は本書誤脱の可能性も存する。

397（同「埏埴以為器」下注）為飲食之器―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急各本は「飲食」を「食飲」に作り、句末に「也」字有り。斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は本書と同じ。敦煌本は「食飲」に作って「也」字は無い。

444（厭耻第十三「寵辱若驚」下注）身辱亦驚―筑波・斯Ⅱ・敦煌・宋版・道蔵各本は本書に同じ。古活字版をはじめ陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ各本には句末に「也」字が有る。但、此の例も誤脱の可能性も有る。

511（贊玄第十四「此三者不可致詰」下注）問而得之―本書は慶Ⅱ本に一致。古活字版及び無窮・東急・斯Ⅰ・宋版の各本、「之」字下に「也」有り。其の他の旧鈔本及び道蔵本は「之」字を「也」に作る。敦煌本は「之」「也」両字共に無い。

577（顕徳第十五経）儼兮其若客―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は此れに同じ。古活字版ほか陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地各本は「若」を「如」に作る。本書はもと「如」と書しそれを塗抹して右旁に「若」字を加筆し訂正する。

596（同「曠兮其若谷」下注）無所不包容也―古活字版は異植字版共に「容」字を「客」に誤植。其の他の諸本は本書に同じく「容」に作る。宋版・道蔵両本は此の字無し。

694（淳風第十七「太上下知有之」下注）謂上古無名號之君也―古活字版のほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵・敦煌の各本は「號」字無し。異植字版及び無窮・斯Ⅰの両本にはこの字有り。

705（同「其次侮之」下注）故欺侮之―古活字版ほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・治要各本には「之」字の下に「也」字が有り、東洋本には「者也」の二字が有る。斯Ⅰ・敦煌・宋版・道蔵各本が本書に同じ。しかし、此の例も或いは脱字と考えるべきかもしれない。

750（還淳第十九「絶聖」下注）反初守元－「元」古活字版は「無」に誤る。異植字版はじめ諸本は本書に同じく「元」に作る。

754（同、同文下注）蒼頡造書－「造」字、古活字版ほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本「作」に作る。異植字版及び慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮の各本は本書に同じく「造」字に作る。

763（同「絶巧」下注）絶巧言詐偽乱真也－古活字版ほか陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東急・敦煌・治要各本は「言」字無し。異植字版及び武内・東大・慶Ⅰ・筑波・無窮・書陵・東洋・梅沢各本は本書に同じく「言」字が有る。又、道蔵・斯Ⅰ・宋版は「言」を「者」に作る。尚、斯Ⅰ・宋版両本は此注を経文次句「棄利」の下に配す。

765（同「棄利」下注）塞貪路－古活字版「貪」字を「貧」に作る。諸本は本書に同じく「貪」に作る。

777（同「見素抱朴」下注）見素守貞－古活字版ほか陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要各本「貞」字を「真」に作る。武内・筑波・慶Ⅱ・無窮・東洋各本は本書に同じく「貞」に作る。

779（同、同文下注）當抱其質樸－古活字版ほか陽Ⅰ・書陵・宋版・道蔵・治要各本「抱」字を「見」に作る。異植字版及び武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ各本は本書に同じく「抱」に作る。

829（異俗第二十「我獨若遺」下注）似於不足也－古活字版は「似」字を「以」に作る。諸本並びに本書に同じく「似」に作る。もっとも、「以」は「似」に通用される。

868（虚心第二十一「唯道是従」下注）不随世俗之所行－古活字版のほか陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は「之」字が無い。武内・東大・東洋の三本には本書と同じく「之」字が有る。

940（益謙第二十二「豈虚言哉」下注）正言非虚言也－古活字版ほか陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ各本は「虚言」を「虚空」に作る。武内・東大・筑波・弘文・東洋各本は本書に同じ。尚、慶Ⅱ本は「空虚」に、宋版は「虚妄」に作り、道蔵本は「言」字無し。

945（同「誠全而皈之」下注）實全其飢體－古活字版ほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵各本は「飢」を「肌」に作る。斯

Ⅱ・宋版両本は本書に同じく「飢」字に作る。

976（虚無第二十三「道亦樂得之」下注）道亦樂得之―古活字版のほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版各本は本句末に「也」字有り。弘文本は「之」を「也」に作る。道蔵本は此の句無し。斯Ⅱ本のみ本書に同じ。此れは或いは先に前項で指摘した978 980の例と同様に本書の誤脱と見做すべきか。

1004（苦恩第二十四「自見者不明」下注）自見其所行以為應道―古活字版のほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要各本「其」字無し。異植字版及び無窮・道蔵両本には本書と同じく「其」字が有る。

1033（象元第二十五「先天地生」下注）在天地之前―古活字版ほか陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢各本は此の句末に「也」字が有る。慶Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は本書に同じく「也」字は無い。

1173（巧用第二十七「不善人者善人之資也」下注）聖人猶教導使為善―「猶」字、古活字版及び陽Ⅰ本は「獨」に作る。武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵の各本は「猶」に作り本書に同じ。尚、治要本はこの字無し。本書は初め書写されていた文字を塗抹し、右旁に加筆訂正して此の字に作る。もと何字であったかは明らかでない。尤もこの場合「猶」「獨」両字は同義である。

1175（同、同文下注）得以為給用也―古活字版及び陽Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東急・宋版・道蔵各本は「為」字無し。異植字版ほか武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・斯Ⅰ・治要には本書と同じく此の字が有る。

1297（倹武第三十経文）故善者果而已―古活字版及び陽Ⅰ・書陵・六地・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要各本は「故」字無し。武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急各本には本書と同じく「故」字が有る。

1355（偃武第三十一経文）則不可得志於天下矣―古活字版のほか陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要の各本は「可得」の間に「以」字が有る。慶Ⅰ本のみが本書に同じく「以」字が無い。或いは本書の誤脱とも考えられる。

1357（同、右経文下注）樂殺人者―古活字版「殺」字を「教」

に誤植。異植字版は「殺」に改正。諸本並びに「殺」に作る。

1427（聖徳第三十二「猶川谷之與江海」下注）川谷之與江海流相通也―古活字版及び陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵各本は「之」字が無い。異植字版・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・杏雨の各本には、本書と同じく「之」字が有る。

1436（辨徳第三十三「勝人者有力」下注）不過以力也―「以」字の下に、古活字版及び陽Ⅰ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨各本は「盛」字が、武内・東大・東洋・筑波・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵（以字を有に作る）・治要の各本は「威」字が有る。慶Ⅱ本は「盛」或いは「威」字を塗抹した形跡がある。異植字版のみが「盛」「威」の何れの字も無く、本書と同じ。本書の誤脱とも考えられるが、異植字版と一致する事を考慮に入れれば、同様の伝写本が存在した可能性を容認しておくべきであろう。

1569（為政第三十七「侯王若能守之万物将自化」下注）言侯王若能守道―古活字版及び陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・道蔵・治要各本は「若」字を「而」に作る。異植字版・武内・東大・東洋・筑波・足利・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版の各本は本書と同じく「若」字に作る。

此処に挙げた三十五の箇所の事例を以て、直ちに、本書が古活字版以外の本を参照或いは依用したと即断出来るわけではないことは、先の誤写誤脱の挙例の場合と類同である。本書の如き本文伝写を主たる目的とはしない著述であれば、依拠底本に従っても忠実ではないことも充分に予想される。従って、63 396 397 444 511 705 868 976 1033の例に見える「也」字の有無、助辞の選択使用による異同の事例は、別本参照を裏付ける根拠としては薄弱である。また、596 750 829 1357の例は古活字版の明らかな誤植が訂正された場合で、他本を参照する迄もなく改正可能な範疇と認識すべきであろう。

しかし、108の例等は、別本を参照したことを示す好例と見做されよう。「浄」「静」の不同は、字形の類似の故に、伝写の過程で夙に生じた乖反が、継承された結果と考えられる。伝本はこの両字によって二類に分かれ、本書は、古活字版を含む同類伝本とは別の類の伝本に一致している。また940の例は、「虚言」と、「空虚」或いは「虚空」の語の不同によって、旧鈔伝本が両類に分かれ、本書は古活字版を含む類とは別類の伝本と一致している。更に1297の例では、経文の「故」字の有無に拠って、

諸伝本が両類に分かれ、本書は、古活字版の類とは別の類の伝本と一致している。以上の事例に加え、577 1173の例に見られるように、本書書写者の単なる誤写の訂正ではなく、別本参照による加筆訂正箇所が存在している等の点を勘案すれば、本書に掲出された経注本文は、古活字版とは極めて近接するテキストとは言えるものの、その転写本ではあり得ないと、相当の確実性のもとに危殆なく認定することが可能であろう。

縷述してきたように、諸伝本と比較して古活字版との近接関係は明瞭である。殊に古活字版の内でもその異植字版とより近い関係にある。この事実は、前掲の異同箇所累計の数字から類推され、又、先に指摘したように、古活字版との異同箇所のうち、37 211 694 750 754 763 779 1004 1175 1357 1427 1436 1569の十三の箇所については異植字版との乖違は認められないのであり、古活字版との異同検讎の結果として存疑なく了解されるであろう。但、異植字版は、校改された一方で新たな誤植も所出し、その為に、以上の挙例の他に190 298 901 1079 1089 1307 1323の如き異同が別途生じていることを付言しておく。

本書は、古活字版刊行後三十年に満たない寛永四年の書写年時を志している。そこに標掲された此の老子道徳經本文は、上古以来累次の伝写を経て継承されきたった河上公本テキストの収束期の状況を露呈していると見做すことも可能であろう。古活字版本文もまた、大局的には同様の事態にあったと推察される。寧ろ刊本としての性格から、錯綜雑糅していたテキストをそこに収斂固定化した意義に就いては、更めて考察されるべき内容を孕んでいるとも言えよう。然らば古活字版本文と本テキストとの関係はどの様に理解されるべきなのか。古活字版の刊行によって書写承襲の営みが途絶えてしまった訳ではなく、旧来の伝写本が雲散した訳でもない。伝写の営みが継承される過程で、結果として古活字版により近い伝本が孳生したものと推測したい。古活字版から派生した書写本ではなく、近世初期から江戸時代前期頃にかけて通行し、現在は逸失した伝写本の群類を想定した上で、その群類の或る本に拠って書写された本文と推考したいのである。そして、古活字版及び此のテキストは、当然その群類の内に包含され、当時のテキストの一様態を、辛うじて現在に伝えている本文なのである。

此の意味で、本書に写定された老子本文は、旧鈔本を肇とする諸伝本が錯綜紛糾した様相を生起している実状に鑑み、その紛綸を解きほぐし、各本の先後縦横親近疎遠の関係を詳察細考

するためには無視することのできないテキストである。旧鈔諸本に匹敵する伝本価値を内包する貴重図書として、謹々推重すべきであろう。

注釈史上に於ける位置づけ

邦人の撰述にかかる老子注釈書としては、室町時代中期に遡る伝存本は未だ知られておらず、清原宣賢撰かとされる『老子経抄』が最も古く、本書が、その『老子経抄』に次ぐ注釈撰述書であることは、既述した通りである。

勿論、著述として結実することは無かったが、『老子』の講習誦読の歴史は平安時代以来の事であって、その証跡は、現存する老子道徳経旧鈔本への加点並びに累時の標記傍注書入れを尋繹することによって、追考が可能であろう。そして、平安時代に遡る書写本は未だ発見されていないが、これら現存旧鈔本のテキストは、その殆ど全てが河上公章句本である。従って、中古以来室町に至って『老子』の誦読には専ら河上公章句本が依用された事実が、伝本の残存状況から確認されるのである。

また、一方で、中世以後、経学におけると同様に、宋学の影響を受けて、宋林希逸の口義本が新注として併用されるようになったことも、複数の古鈔本に見られる累加された書入から明らかである。(注2)『老子経抄』もまた、この様な情勢の下に撰述された注釈書であった。龍門文庫には〔室町末近世初〕書写の老子虞斎口義存巻下一冊が架蔵され伝存している。此の虞斎口義本は、慶長から元和年間にかけて、古活字版四種五版が刊行され、本書の書写年である寛永四年（一六一八）には、京都の安田安昌によって〔元和〕刊古活字版の覆刻整版本が刊行されている。近世初頭以後、河上公章句本に取って代わり急速に普及していった有り様が、伝本調査の結果として判明している。本書は、この様な河上公章句本から虞斎口義本への流行に、敢えて抗するかのごとく、河上公章句に旧然拘泥した著述である。かかる観点に於いて、本書は中世以来の老子学の伝統を猶濃厚に遺留した注釈書であって、以後近世に至って簇出する老子注釈とは、一線を画すべき性格を保有しているとを認識しておかねばならないであろう。

この事実は、注釈の内容からも窺うことができる。古鈔本の書入、及び『老子経抄』との類似箇所が少なからず認められる。この類似箇所を旧学承伝の例証として提示してみる。

初めに、本書巻末の附載部分（下78オ、以下同様に、上冊下

冊の別、本翻印欄脚に記した丁数、表裏、及び表裏内での行数を注記する、行数は空行は員数に入れない）において『事林広記』から引載された「老子変現之図」が注目される。これと同内容同形式の図表が、東京大学総合図書館蔵〔室町末〕写『老子道徳經』の巻前の書入にみられ、『老子經抄』では、序の抄の冒頭部分及び顕質章八十一後の補述の部分に於いて、此の図に基づいた講述が展開されている。このことが、先ず第一に指摘される。

次に、本書賛玄第十四經文「是謂二無一状之状」の章句「言一無二形一状一、而能為二万一物一作二形一状一也」の本書注に「柳為レ緑ト、花為レ紅ト、松一葉ハ細、荷一葉ハ圓者、所レ謂形一状ナリ也」（上64オ1）とあるが、『老子經抄』の該当箇所では、「無一状シヤウノ之状カタチト云ハ、无レ状カタチ状也、其故ハ、状ナキカトスレハ、為二万物ノ一、柳ハ緑リ、花ハ紅ト、形ヲナスホトニ、無レ状之状也」と極めて類似した講述がなされている。「柳緑花紅」とは、宋蘇軾の詩句を典故とすると言われ、意味上では転訛しながら後世まで通行している成語であるが、中世においても流行したもののようである。『老子經抄』では、自然無為を表す語として、屡、実に十箇所に渡って使用されている。本書でも上記の他、養身第二經文「而不レ辞」の章句「不二辞一謝而逆一止一也」下に「言ハ、柳ハ成レ緑ト花ハ成レ紅ト、松一葉ハ細ク、荷一葉ハ圓、鳥飛レ天ニ、魚躍レ渕ニ、獣走二山一林ニ、日一々夜一々、雖二千一変万一化スト一、道以不テノレ為ト方、能受レ之ヲ」（上19ウ1）と、また、賛玄第十四經文「無一物之象」の章句「言一無二物一質一、而能為二万一物一、設二形一象一也」の下に「為レ柳ト、為レ花ト、為レ松ト、為レ荷ト者、物一質ナリ也」（上64オ3）とみえ、修辞上言語基盤の共有性が窺察されるのではなかろうか。

更に『老子經抄』との類似点を挙げれば、體道章第一經文、「故常無一欲以観二其妙一」の章句「道讃一叙明二是一非一也」の注として「讃一叙　解一述ノ之義ナリ也、讃解ハナリ也、叙述也」（上9ウ1）と見えるところ『老子經抄』には、「道讃叙ト云ハ、万物カ、道ヲ讃ホメノヘテ叙、是テアル、非テアルト明ス也、一睦ハ、讃解ハノ字ノ心トアル也、道カ万物ヲ、讃叙メ、明二是非一也」とあり、この一睦の説と符合している。

また、養身第二經文「故有一無之相一生」の章句「見レ有而為レ無也」の本書注は「以二人我一対スルヲ之ニ、則見テレ有一便為レ無ト、見テレ無ヲ便為レ有ト也」（上17オ2）と、『老子經抄』は「注ニ見レ有而為レ無也ト云ハ、見テハレ有、無テアルト云、見レ無ヲ有テアルナト、云也」とあって両注同意であろう。

また、安民第三経文「使レ心不レ乱」に対する本書注は「上不レ見二可一欲一、則下使レ心不レ乱也」（上22ウ8）であり、『老子経抄』は「不乱ト云ハ、不レ見二可欲一、使レ心不レ乱也」とあって、殆ど同文である。

また、淳風第十七経文「其次侮レ之」の章句「禁一多令一煩」の本書注は「禁者、禁制也、令、號一令也」（上75オ6）と、『老子経抄』には「注二禁ハ々制、令ハ号令也」とあって此れも同文である。

また、虚無第二十三経文「希レ言自一然」下の本書注に「論一語陽一貨曰、子曰天何言哉、四一時行焉百一物生焉、天何言哉」（下20オ3）とあるところ、『老子経抄』は、「希レ言自然ト云ハ、天何ヲカ言哉、四時行レ、百物生ル義也」と同文の引証をもって講釈している。

また、巧用第二十七の経文「常善救レ物」の章句「教レ民順二四一時一者」の本書注釈は「教レ民順二四一時一者、春一耕、夏一耘、秋一収、冬一蔵等之謂」（下42ウ5）と、『老子経抄』は「教レ民、順二四時一ト云ハ、民ハ、春ハ耕、夏ハ耘、秋ハ収納シ、冬ハ蔵ス義教也」と、これも殆ど同文である。

また、同章末の経文「是謂二要一妙一」の章句「能通二此意一」の本書注には「能通二此意一者、能理二會雖レ智大迷之義一之謂」（下44オ8）とあり、『老子経抄』には「注二通此意一ト云ハ、雖レ智アリト、大迷ト知タルハ、通二此意也」と、文意全く同じである。

以上の如くに、注釈の文辞に於いて、古鈔本及び、『老子経抄』と一致若しくは類似する証例として確認されるのである。

しかしながら、本書は、如上の事実とは相反する側面、即ち、中世までの注説とは異なる、言わば近世を闊く新機軸とも言える注釈内容をも併有している。

その一つとして、字句の訓義において、従来とは異なった新たな解釈が認められる。『老子経抄』の講説との相違点を抄出例示してみることで、その一端が窺えるであろう。

無源第四の経文「同其塵」の章句の「別殊」の二字を、『老子経抄』は「別殊ノ二字ヲ、コトニト一ツニヨム也」と訓釈するのに対し、本書は「ワキコトニス」と訓んでいる（上26ウ9）。因みに旧鈔本の加点は「別ニシ殊ニス」（武内・慶Ⅰ）、「別ニ殊ス」（東洋）、「別ニ殊ナル」（斯Ⅰ）、「別殊ル」（筑波）、「別一殊ス」（東大）、「別一殊セ」（無窮）等であって本書の訓みと符合する例は無い。東大本は両様に解釈出来ようが「コトニス」

と訓んだものと考えられる。

異俗第二十の経文「我獨若遺」の「遺」字に就いて『老子經抄』は、「若レ遺ト云ハ、我ハ何ヲモ、ウチワスレテ、アル如クナト也、遺ト云モ同心也」と訓釈しているが、本書は、「ワスレタルカ」とあった振り仮名を「ステタルカ」と加墨して訂正している（下11ウ2）。旧鈔本の訓は「ワスレタルカ」（東急・斯Ⅰ・弘文）、「ワスル、カ」（東洋・斯Ⅱ・武内）、「ワスル、か」（無窮）、「ハスル、カ」（慶Ⅱ・東大・筑波）、「ハスル、」（書陵・足利）、「禾ータルか」（無窮）、「ール、か」（無窮）、「イスルカ」（武内）、「ワスレステタル」（梅沢）等である。

苦恩第二十四の経文「跨者不行」、『老子經抄』は「跨者ハ不レ行者也、跨ト云ハ、ヲコツタル心也、不レ行ト云ハ道不レ行ト云心也、句義ニハ、跨マタカルトアリ」と訓釈し、本書は「跨ガル者ハ行カズ」と訓んで、林希逸口義の新義に従っている（下24オ3）。旧鈔本は「アトコフ」（梅沢・書陵・陽Ⅰ）、「アフトコフル」（斯Ⅰ）、「アフトコフ」（梅沢）、「アフレコフ」（斯Ⅱ）、「アツー」（東洋）、「アツトコフ」（東急）、「アツトコフル」（筑波・慶Ⅱ・弘文）、「ヲコル」（慶Ⅰ）、「マタカル」（慶Ⅰ）、「マタガル」（無窮）等と訓む。

無為第二十九の経文「吾見其不得已」、『老子經抄』は「吾其ノ得ザル「ヲ見ラク已」と訓み、本書は「其ノ得ズメ已ヲ見ル」と訓む（下48オ4）。旧鈔諸本は概ね『老子經抄』に近く、管見の限りでは「已」を「ヤム」と訓む例は無い。

成象第六の経文「是謂玄牝」下の章句の「五気」に就いて、『老子經抄』は「五氣ト云ハ、木火土金水ノ五形也」と解し、本書は「風、熱、湿、燥、寒」と解釈している（上33ウ6）。本書には更に、六箇条に渡って素問馬蒔注が引用され、この馬注の「在天五気」説に従ったものと理解される。

検欲第十二経文「是以聖人為腹」の章句の「五性」を、『老子經抄』は「五性ト云ハ、五蔵ノ性也」と解し、本書は「五行之性也」と解す（上57ウ6）。また、同章句の「節」字を『老子經抄』が「節ハ竹ニ、上下ノフシノアル如ク、次才也」と解するのと異なって、本書は「操也、又制也」と解している（上57ウ7）。

還淳第十九経文「絶聖」下の章句中の「聖制作」、『老子經抄』は、「制作ト云ハ、文書ヲ制作スル義也」と解するのと異なり、本書は「所レ謂五帝畫象蒼頡造書等也」と解釈する（下4オ3）。

異俗第二十の経文及び章句の「儡々」を『老子經抄』は章句の二字を用いて「窮鄙ノ皃也」と解しているのに対し、本書は「無ニ分一別二之義、玉一篇ニ、儡ハ、相一敗也」と解し、「窮鄙」二字に就いては別に「困一窮鄙一薄ノ之義」と注解を加えている（下11オ9-10）。尚、旧鈔本の東洋・武内・慶Ⅱ各本の書入は『禮記』の「喪客儡々」の注を引証とし「羸皃」或いは「傷心皃」と、また別の解を示している。

偃武第三十一の経文「夫樂殺人者則不可得志於天下矣」の章句の「制人命」に就いて『老子經抄』は「制二人命一ト云ハ、人ノ命ヲ、助ルモ殺モ、王者ノ禁制ニ在ル故也」と、「制」字を禁制の制と解するのに対し、本書は、説文の「制、裁也」の解に拠り、「裁、剸也」として「制二人命一者、殺二人命一之義也」と解釈している（下54オ8）。

以上、挙げるべき証例の一端ではあるが、訓義解釈の面に於いて、改旧遷易の蹤迹を感知することができるであろう。

参照引用典籍に就いて

中世以来の伝統的訓釈と、近世的と見做してよいであろう新たに提起された訓解とが、交雑した様相は、証引された諸典籍の傾向からも容易に察知することが出来よう。後掲の「引用書目篇目一覧」を参照して頂きたい。引用典籍の大半は、室町以来旧刊本或いは古活字版として流布通行し、また諸注釈書或いは書入れに屢々引載されて馴染みのある漢籍である。四書五経の類は、注疏、章句集註、或いは大全からの引用であり、小学書は、古今韻会挙要が殆ど全てであり、史部書は史記、漢書、紹運図、史学提要等、室町期以来の通行漢籍で、子部、集部の書も同様である。

しかし、その一方で、引用された典籍群の中には新渡来の漢籍も混在している。即ち、明国より新しく舶載された幾部かの漢籍が含まれている。この新来漢籍の引証に着目すれば、本書に内在する斬新さが、更めて了解されるであろう。

本著者は、新渡来の明版若しくは朝鮮版等をいち早く、直接に利用したものと推察されるのである。本書の注解は、これら引用書籍に立脚しているのであって、当然の事ながら、加点訓読の作業を経た上で、その新しい学問内容が取り込まれている。この事実は江戸時代初期に於ける漢籍受容の実態を示す恰好の事例としても注目されよう。

具体的には、史部書には、明人王世貞編纂の『鳳洲綱鑑』の

引用[注3]が見られ、また、医書経典である『素問』『霊枢』に対する明人馬蒔の注釈『註證發微』の引用[注4]がある。何にも増して、本書注釈に精彩を与えているのは、新しく渡来した『老子』注釈書からの引証であろう。古鈔本の書入として前代から伝写承習されてきた、唐賈大隠の『述義』等の引文は全く見られず、『纂圖互註老子道徳經』及び新注としての宋林希逸の『鬳斎口義』に加えて、唐杜光庭の『道徳經廣聖義』、明林兆恩の『釈畧』[注5]、更に『道書全集』[注6]所載の元陳致虚上陽子の序並びに注、同じく明張位洪陽の『注解』が撮録されている。中でも『道徳經廣聖義』の引文は三百五十条近くに上り、本書注釈文の半ばを占めて根幹を成している。また、「前言」でも触れたことでもあるが、此処に抄録された同書本文は現今通行の道蔵本とは明らかに底本を異にし、その道蔵本以外には現存伝本は甚だ少ない。従って、この『道徳經廣聖義』に就いては特に、その引文並びに同書の伝来、受容承伝に関して若干の研討を加えておく必要があろう。

道徳經廣聖義

同書は、唐玄宗の御注、御疏を敷衍推広した注釈で、「注」「疏」と標記して玄宗注疏の全文を分段して掲げ、その下に、「義曰」の二字を冠して杜光庭自注を加えている。「引用書目篇目一覧」に示したように、同書からの引用は、「注曰」と冠する引文が二十四条、「疏曰」九十七条、「廣聖義」或いは「義曰」と称して二百二十二条、その他数条を数える。

編注者杜光庭[注7]は、字は聖賓（或いは賓聖、賓至とも伝える）、晩年には自ら東瀛子と号した。唐末五代の道士で、唐僖宗、昭宗、前蜀王建の時代、戦乱興起し世情昏迷する間に在って、道書の蒐集整理、道教教理の再建に努め、古典道教学の大成者と評価されている。著作は、神仙道家に関する仮託の書を雑えて夥しく、「杜撰」の語源の譌伝までも生じた。四庫全書は『廣成集』一二巻（道蔵本は一七巻）を収入著録し、存目に『杜天師了證歌』一巻（医家類）、『録異記』八巻（小説家類）、『道教靈驗記』十五巻、『神仙感遇傳』五巻、『墉城集仙録』六巻、『洞天福地嶽瀆名山記』一巻（以上道家類）を著録する。

杜光庭自序の末に「天復元年龍集辛酉九月十六日甲子序」と識され、この天復元年（九〇一）が書成年と見做される。

同書は道蔵に収められ、明正統刊道蔵では羔字号至行字号に収録、『道徳真經廣聖義』と題し、五〇巻。此の道蔵は江戸時

代に我が国にも舶載され、毛利高標旧蔵高翰献納本として現在宮内庁書陵部に一本が架蔵されている。此れが国内唯一の伝本である。此の明正統刊道蔵は、北京白雲観蔵本（現北京図書館蔵カ）を底本、上海白雲観蔵本を対校本とし、上海涵芬樓によって民国一二年（一九二三）から一五年（一九二六）にかけ影印出版された。その影印本が、所謂上海版道蔵[注8]として流布している。同書に就いてみても、その上海版道蔵所収本が、現今殆ど唯一の通行テキストである。[注9]

しかしながら、本書摘録する所の同書引文は、後に例示する如く、其の道蔵本とは処々字句に異同が見られ、更に道蔵本には見えない文辞が存在する。従って、道蔵本とは系統を異にする別本が江戸時代初期に存在した事を想定し、本書の引文はその別本から録出された事実を確認しておかなければならない。

我が国伝来本として、『經籍訪古志』巻五著録の求古楼蔵旧鈔本が知られている。しかし、現在その本の所在は杳として明らかでない。『古文旧書考』巻一著録の本は、その求古楼蔵本の如くで、島田翰は「慶長以上鈔本」と鑑定している。両解題に拠れば、道蔵本とは明らかに別本である。

筆者は近年、大東文化大学図書館高島蔵書の内に、その求古楼蔵本の転写と思われる一本を見出した。序跋の内容、分巻の次第、款式何れも森、島田の題記するところと一致する。概要は次の如くである。

道徳經廣聖義　三〇巻首一巻　〔唐玄宗〕注疏　杜光庭義

写　寄合書　市野迷庵自筆校合書入本　一〇冊

茶色表紙（二六・九×一九・七糎）、「道徳經廣聖義一之二（一廿八之卅終）」と左肩に朱書さる。扉無し。首一巻の次第は以下の如し、

新編連相搜神廣記（題下に「淮海秦　子晋　編」と、次行低二格「道教源流」と題す）

唐開元御賛／太上老君（顔真卿書）一丁

太上老君混元上徳皇帝瑞像（老子立像）

真宗皇帝御製／　太上老君賛并序

真宗皇帝御製太上老君古玉石像賛并／序

真宗皇帝御製　太上老君度關銘并序

孝宗皇帝御製原道論辨

侍講程尚書易老通言撮要

道徳經廣　聖義序（嘉定甲申四月丁卯朔二／茅山華陽洞天白

雲崇福観保寧大師賜紫／周觀復序）
進道徳經廣聖義狀／　廣徳先生臣杜　光庭（永平三年二月五日廣徳先生臣杜光庭　狀奏）
太上老君道徳經廣　聖義序／　廣徳先生杜　光庭　上（大蜀永平三年龍集癸酉正月／日　謹叙）
再雕道徳經廣　聖義疏後序（道士王洞應後序）
道徳經廣　聖義巻第一并序／　廣徳先生杜光庭述（天復元年竜集辛酉九月十六／日甲子序）
〔目録〕（首に題目無く、第一巻より第三十巻の細目を記す）

尚、各序毎に改葉はせず、概ね連続して書写されている。また、末の永平三年杜光庭自序、王洞應後序、天復元年自序の三序の間に錯簡がみられる。

巻末に、次の諸序跋を列載する。

廣聖義印板後序（特進檢校太保／前守眉州保勝軍團練使上柱國樂安縣開國子食邑五百戸任／知玄叙／　永平三年太歳癸酉二月甲戌朔八日辛巳／以下、左衛天長觀内殿講論大徳賜紫張延光等五名の官銜有り）
嘉定十有七年三月上休／日成紀李　劉謹書の序
嘉定癸未／十一月上休日清江徐天麟書の序
嘉定甲申暮春／既望如是堂韋興宗謹書の序
嘉定十七年／四月丁卯清江張洽題の序
（以上の首序尾跋のほぼ全文が『古文舊書考』に翻字転載されている）

首序末の目録後改葉せず直接して再度「道徳經廣　聖義巻第一」と題し、次二行低二格に「叙経大意解疏序所引／老君應跡本起降生祥異」と目録を掲出して本文に入る。巻二は、「釋老君應跡本起降生祥異」「釋　老君　聖唐冊號」、巻三は「釋疏序上」、巻四は「釋御疏序下」「釋疏題明道徳義」で、巻五以下、道徳經注疏文の釋義に入る。

尾題は首題に同じ。

四周単辺（二一・八×一七・三糎、版心部分に縦の界線が無く、小口より測定）無界、毎半葉十四行、行十九字、柱題署丁付け無し。経、注、疏、義等の標字は墨囲。処々、青筆の句点、眉上に、青、朱筆の譌脱訂正校語等の書入れ、希に道蔵本との校異書入れがあり、巻三十尾題下に青筆で次の校読識語がある。

文政六年癸未六月廿二日一讀／了　光彦

書入れは市野迷庵の自筆と見做して良いであろう。

「江戸市野光／彦蔵書記」（朱長方）、「高島蔵書」（朱長方）、

「大東文／化大学／図書館」（朱方）の印記有り。

同書の成立刊行流伝の経緯は、永平三年正月の杜光庭自序、同年二月の進状、同年同月の任知玄の印板後序、王洞應の再雕後序、宋嘉定十七年四月の周観復の序に拠って詳らかである。その梗概を記せば、同書は、唐末天復元年（九〇一）に著述され、前蜀王建の治下、内枢密使検校太保任知玄が武成二年（九〇九）より五年の歳月を費やして永平三年（九一三）に雕造刊成し、撰者杜光庭自ら上進した。印版共に四百六十餘版であったという。その刊版は、五代擾乱の間に損壊四散したようで、宋代になって道士王洞應が再刻した。その後、歳月を経るとともに、流伝殆ど堪えるに至り、宋末の嘉定十七年（一二二四）に崇福観保寧大師周観復が更に重刊した。

以上の五代蜀永平三年任知玄刊本、宋王洞應刊本、宋嘉定十七年周観復刊本は何れも伝存しないようである。しかしながら、本邦伝来の古抄本である求古楼旧蔵本が、『經籍訪古志』『古文舊書考』に指摘されている如く宋嘉定刊本を藍本としたことは、高島蔵書の伝写本に拠っても傍証され、疑いを入れる余地は無いものと思われる。従ってその古抄本の書写当時、島田翰の鑑定に従えば、慶長以前に、宋嘉定刊本其の物、若しくはその系統を継ぐ伝本が我が国に存在した事実も当然是認されなければならない。古抄本が失伝した今では、その伝写本と雖も、高島蔵書の一本は、宋刊本の系統を引く天壌間唯一の伝本として、優れて貴重である。

さて、本書に抄写されている『廣聖義』の引文は、道蔵本ではなく、宋刊本系の本文である蓋然性が極めて高い。江戸時代初期以前に、道蔵が舶載された形跡が窺われないこと、近世初期には確かに宋刊本系の古写本が存在し、その伝写本が現存しているという事実は有力な傍証となるであろう。更に、道蔵本、伝写本、本書引文を照校する事によって、宋刊本系本文であることが確認されるはずである。

先ず、本書冒頭の「廣聖義曰書之分卷以為上下云々」（上1オ）の一条及び、巻末附録部分の「道德經」「本易」「有無」「明矯正」の各論は共に「侍講程尚書易老通言撮要」からの摘録である。この「撮要」と、本書末尾に引載されている「孝宗皇帝御製原道論辨」の両篇は、宋嘉定刊本に刊行者周観復が特に編入付載した言わば参考資料であって、道蔵本には無い。

また、引文を両本と比校すれば、道蔵本との異同が遙かに顕著である。次に、道蔵本と異同のある箇所につき本書引文を掲

出し、伝写本を含め、三本間の相違を例示してみる。また、掲出文中に於いて、伝写本と異同がみられる場合は、それも併せて示しておく。掲出引文の訓点は省略し、道蔵本文は便宜上通行本即ち涵芬樓影印本に依拠した。

常見廃履為業居於河上（上1ウ6）

1「廃」、伝写本同じ、道蔵本「織」に作る

相生之名、由妄執起、如美悪非自性生（上17オ4）

2「起」、伝写本「起有無」三字に作る、道蔵本「亦」に作る

亦如工者易於木而難於陶、甄匠易於埴而難於木、故云難易相成（上17オ8）

3「陶」、伝写本同じ、道蔵本「埴」に作る

4「甄」、伝写本同じ、道蔵本「陶」に作る

5「相」、伝写本同じ、道蔵本「於」に作る

見長短相、猶美悪既無定体（上17ウ6）

6「長短」、伝写本同じ、道蔵本「短長」に作る

7「相」字の下、道蔵本「形」字有り、伝写本無し

8「猶」字の下、伝写本・道蔵本「如」字有り

故物失冲和之道、必致敗亡（上26ウ1）

9「冲」、伝写本同じ、道蔵本「沖」に作る

10「敗」、伝写本同じ、道蔵本「害」に作る

言人養気則与天為徒（上35ウ10）

11「養」、伝写本同じ、道蔵本「食」に作る

卿大夫有一於此、則賊乱其家（上41ウ2）

12「則」、伝写本・道蔵本この字無し

象既有歯而焚其身、鷄亦為犠而断其尾（上42ウ7）

13両「其」字、伝写本・道蔵本無し

14「為」、伝写本同じ、道蔵本「畏」に作る

徳、國家之基也、有基無壊、無亦是務乎（上43オ4）

15「家」、道蔵本同じ、伝写本無し

16「有基」、伝写本同じ、道蔵本無し

17「無亦」、伝写本同じ、道蔵本「亦無」に作る

貪利而忘其身、志不及鷄矣（上43ウ3）

18「忘」、道蔵本同じ、伝写本「應」に作る

19「志」、伝写本同じ、道蔵本「智」に作る

惠照之心照無遠近、煥然四達、所無隔遠（上49ウ7）

20「所無」、伝写本・道蔵本「無所」に作る

21 隔遠の「遠」、伝写本・道蔵本「礙」に作る

當其虚無、方有車之運用（上53オ6）

22「虚」、伝写本・道蔵本「空」に作る

畫卦観象、制以文字（上54オ9）

23「制以」、伝写本同じ、道蔵本「以制」に作る

制為宮室（上54ウ2）

24「為」、伝写本同じ、道蔵本「以」に作る

五味之設、本以調五行之和、以養於人（上56オ1）

25「調」、伝写本同じ、道蔵本「彰」に作る

々（道）非色声形法、故求竟不得（上62オ8）

26「色声」、伝写本同じ、道蔵本「聲色」に作る

27「求竟」、伝写本同じ、道蔵本「竟求」に作る

故謂之希微夷者、所謂明道而非道也（上62ウ2）

28「希微夷者」、伝写本同じ、道蔵本「夷希微矣夷者」に作る、但、伝写本は藍色の後筆で「希」字の右旁に「夷」字を、「微夷」両字の間右旁に「矣」字を加筆

由此而言、豈隨迎而可得也（上64ウ2）

29「而可」、伝写本「而」字無し、道蔵本此の両字共に無し

道徳微妙、應変玄通、其用冲深、難以智察（上65ウ5）

30「徳」、伝写本同じ、道蔵本無し

31「深」、伝写本同じ、道蔵本「寂」に作る

如彼空谷無不包容（上67オ3）

32「空」、伝写本同じ、道蔵本「虚」に作る

33「包」、道蔵本同じ、伝写本「苞」に作る

善士心照清濁、而能容物（上67オ6）

34「濁」、伝写本同じ、道蔵本「浄」に作る

形曲則影斜、源混則流濁（上76オ5）

35「斜」、伝写本同じ、道蔵本「邪」に作る

百姓所以親愛君之善仁、称誉君之功業者（上76ウ1）

36「善仁」伝写本同じ、道蔵本「仁善」に作る

五色不乱、孰為文采（上77オ2）

37「為」、伝写本・道蔵本「應」に作る

上下等衰以為信也、六粟為圭、十圭為抄（下2オ5）

38「衰」、伝写本同じ、道蔵本「差」に作る

39「六粟」、伝写本「六栗」に作る、道蔵本「六十四黍」に作る

上得臨御之美、下尽弼諧之道（下3オ6）

40「美」、伝写本・道蔵本「宜」に作る

乃翻為盗國之資也、老君戒之（下5ウ7）

41伝写本同じ、道蔵本「之資」の間に「盗」字有り
故悦於明者、是淫於見也（下8オ9）
42「見」、伝写本同じ、道蔵本「色」に作る
善悪以之兩相忘也（下9ウ2）
43「之兩」の間、道蔵本「謂」字有り、伝写本無し
44「相」、伝写本・道蔵本無し
募多聞而求多、苦志労神、役心損性、是乖真素也（下10オ1）
45「募」、伝写本同じ、道蔵本「慕」に作る
46「志」、伝写本同じ、道蔵本「忘」に作る
登臺肆目、煦然心蕩矣（下10ウ4）
47伝写本同じ、道蔵本「心」字無し
至人能順於道、徳乃顕矣（下13オ6）
48「顕」、伝写本・道蔵本「彰」に作る
彼必知慙反自修整者（下16ウ1）
49「反」、伝写本同じ、道蔵本「及」に作る
若剛佷躁戾之人、如飄風暴雨之行、即失道矣（下20ウ7）
50「若」、伝写本同じ、道蔵本「君」に作る
51「佷」、伝写本同じ、道蔵本「狼」に作る
取其殼則以柔帛拭之（下22オ7）
52伝写本同じ、道蔵本「則」字無し
以器類相感而能生水火（下22ウ1）
53「器」、伝写本同じ、道蔵本「氣」に作る
以此功深用廣無状無形（下27オ10）
54「無状無形」、伝写本同じ、道蔵本「無形無状」に作る
見其包含無體、將欲定其至無之體（下27ウ4）
55無體の「體」、伝写本同じ、道蔵本「外」に作る
秋主於成、而無長生閉蔵之用（下32ウ5）
56「長生」、伝写本・道蔵本「生長」に作る
刑徳仁義神之末也、非至人孰能定之（下33オ9）
57「人」、伝写本同じ、道蔵本「仁」に作り、其下に「其」字有り
運動不息、則健而文明（下33ウ5）
58「則」、伝写本・道蔵本「剛」に作る
清以之天、静以應地（下33ウ7）
59「之」、伝写本同じ、道蔵本「則」に作る
四鈞為碩、廿両為鎰矣（下41オ5）
60鎰の下、伝写本・道蔵本「是」字有り
何用籌算乎、何用計術乎、夫一者道也（下41オ7）

61「何用籌算乎」、伝写本「籌」、「等」に作る、道蔵本、此の五字無し

恍惚之象、窈冥之精、皆謂一也（下41オ8）

62「恍」、伝写本同じ、道蔵本「恍」に作る

63「窈」、伝写本同じ、道蔵本「杳」に作る

有之者必待暦數在躬（下48オ6）

64「之」、伝写本同じ、道蔵本「道」に作る

若暴乱之人、将欲以力取而為之者（下48オ6）

65之者の間、伝写本・道蔵本「主」字有り

有一於此、必為敗亡（下49オ10）

66「敗亡」、伝写本・道蔵本「亡敗」に作る

上將軍却居右者、言用兵之道同於喪禮（下54ウ8）、

67「却」、伝写本同じ、道蔵本無し

率土之賓、莫非王臣（下57オ3）

68「賓」、道蔵本「濱」に作る、伝写本、元「濱」に作り、胡粉を以てさんずい偏を塗抹

周設五等之爵、有公、侯、伯、子、男也（下57オ9）

69伝写本同じ、道蔵本「有」字無し

若弃徳不譲、是廃先君之挙也（下59オ8）

70「挙」、伝写本同じ、道蔵本「本」に作る

乃使其子馮出居于鄭以譲輿夷（下59オ9）

71「使」、伝写本同じ、道蔵本「以」に作る

72「于」、伝写本・道蔵本共に無し

73「輿」、伝写本・道蔵本共に「與」に作る

善養生者、若牧羊者乎、視其後者鞭之（下61オ8）

74「者乎」、伝写本同じ、道蔵本「然」一字に作る

75後者の「者」、伝写本・道蔵本共に「而」に作る

自思復其廉矣、此翕歛其心之権也（下66ウ4）

76「復」、伝写本同じ、道蔵本「獲」に作る

77「翕」、伝写本同じ、道蔵本「歛」に作る

78「也」、伝写本同じ、道蔵本「矣」に作る

魚之處泉也、失水則死、得水則生（下68オ3）

79「泉」、伝写本同じ、道蔵本「淵」に作る

起無始者、所言老子者老君也（下72オ3）

80「老子者」、伝写本同じ、道蔵本此の三字無し

體大無辺、相好兼備、自然之尊（下72ウ3）

81「兼」、伝写本・道蔵本並びに「衆」に作る

美目方口双柱三漏日角月玄（下74ウ4）

82「目」、伝写本・道蔵本並びに「眉」に作る
83「玄」、伝写本同じ、道蔵本「淵」に作る
其縣本名苦縣、漢魏以来名穀陽縣（下75オ1）
84「穀」、伝写本同じ、道蔵本「谷」に作る
一旦於所居霊竜下迎白日昇天（下75ウ9）
85「霊」、伝写本・道蔵本並びに「雲」に作る
因攀李樹生於左脇、生時髪白（下76ウ2）
86「時」、伝写本同じ、道蔵本「而」に作る
娶天水尹氏之女生子名利貞（下76ウ6）
87「利貞」、伝写本同じ、道蔵本「貞利」に作る
老君以殷陽甲之代、降神寓胎（下76ウ9）
88「殷」、伝写本同じ、道蔵本「商」に作る
89「陽」、道蔵本同じ、伝写本「湯」に作る
世人先幼而後老、々君先老而後子（下77オ5）
90「子」、伝写本同じ、道蔵本「幼」に作る
委迹和光以徇於世者、老者、以生而白首（下77ウ1）
91「徇」、伝写本同じ、道蔵本「循」に作る
92老者の「者」、伝写本同じ、道蔵本「君」に作る
玄妙玉女元君内傳云（下77ウ3）
93「内」、伝写本同じ、道蔵本この字無し
玉女捧接、祥風満庭、日童散暉、月妃擲華、衆眞来集（下77ウ7）
94「風」、伝写本同じ、道蔵本「雲」に作る
95「童」、道蔵本同じ、伝写本「星」に作る
96「眞」、伝写本同じ、道蔵本「聖」に作る
眞源舊里累降禎祥（下79オ4）
97「禎」、伝写本同じ、道蔵本「樹」に作る
上元々年枯檜樹於本梯上有朱書（下79オ7）
98「本梯」、伝写本同じ、道蔵本「木枝」に作る
寶應元年有紫気属天（下79オ8）
99「気」、伝写本同じ、道蔵本「雲」に作る
老君應現有黒気遍州、賊徒迷失道路（下79ウ3）
100「州」、伝写本・道蔵本「川」に作る
陰雲斗現、火滅雨降、賊徒奔潰（下79ウ4）
101「斗」、伝写本同じ、道蔵本「升」に作る
102「火滅雨降」、伝写本同じ、道蔵本「雨降火滅」に作る
逆賊遍地自圍逼亳州（下79ウ4）
103「自」、伝写本同じ、道蔵本「白刃」二字に作る
ここに挙げた一〇三の異同箇所の内、本書引文と伝写本が一

致している箇所は1 3 4 5 6 7 9 10 11 14 16 17 19 23 24 25 26 27 28 30 31 32 34 35 36 38 41 42 43 45 46 47 49 50 51 52 53 54 55 57 59 62 63 64 67 68 69 70 71 74 76 77 78 79 80 83 84 86 87 88 90 91 92 93 94 96 97 98 99 101 102 103の七二箇所、伝写本と道蔵本が一致する箇所は8 12 13 20 21 22 37 40 44 48 56 58 60 65 66 72 73 75 81 82 85 100の二二箇所である。単純にこの数値から見ても、本書引文が、道蔵本に比べて遙かに伝写本に近似していることが了解される。伝写本と道蔵本が同様に本書引文と異なる二二の箇所は、三本それぞれに異同が見られる2 29 39 61、伝写本だけが異なる15 18 33 89 95を含め、写本の宿命として避けがたい衍脱誤写を考慮に入れた上で、検討する必要があろう。誤写が生じていれば当然異同は増加する道理であり、この点を考え合わせれば、ここに示された本書引文と伝写本との異同は、本来はより少ない蓋然性を孕んでいると考えるべきで、両本の近似性は更に高いものと認識すべきである。

『廣聖義』の伝本は、現在、道蔵本系と本邦に伝来した旧抄本を含む宋嘉定刊本系との二系統が想定されうる。以上に示された異同の様相から推察すれば、本書注釈に摘録引載された同書の本文が、宋刊本系であることはほぼ確実であろう。しかしまた、宋刊本系である伝写本と乖反する箇所も二・三に止まらず、本書引文全文を伝写本と対校するならば、更に多くの異同が指摘されることを予想しなければならない。従って、本書引文の藍本と、伝写本の底本とは、当然別の伝本であったと推定するのが妥当であろう。近世初、江戸初期に於いて、現在は失われている宋刊本系の複数の伝本が存在した事実が確認されるのである。

しかしながら、宋本系としては、江戸時代後期の伝写本が唯一である今日の伝本状況では、本書引文の藍本を特定することは不可能である。しかし、失伝している宋版『廣聖義』の本文を伝えるこの引用は、全三十巻或いは五十巻という浩瀚な原書に対比すれば、分量的にはごく部分的で数少ない抄録ではあるが、書写年代の古さを勘案するならば、高島蔵書の伝写本に勝とも遜色の無い、貴重な本文資料と言えよう。このことは更に、本書自体の存在価値を高からしめている。本書の書写年代である寛永四年以前に、『道徳經廣聖義』の宋版系伝本（或いは宋刊本其の物である可能性もある）が日本に実在し、且つ利用されていた事実が、本書が遺存したことに拠って、改めて確認されるのである。

引用書目篇目一覧凡例

一、書名、篇名・章題等は引用記載の称名のままに標出する。

一、一覧表の形式を整える関係で、記載称名の通りに表記できない時は、（「　」）を以て附記した場合がある。

一、篇名章題等は書名より一字下げて、通行本の目録の順次に従って排列標出した。

一、古今韻會挙用の引文は、同書の聲韻字音の排列の順に従う。

一、各書の注釈書末書の類は、更に一字を下げて掲出する。

一、引証文中の引用文は「〔同書（注・疏）引〕某書（注・疏）」と標記し、同書（注・疏）の後に低格して掲出した。

一、省略、略記された書名、篇名・章題等は〔　〕内に推定補記した場合がある。

一、各書・各篇名等の下に、本書に於ける該引用文の所在箇所を以下の要領で示した。

○「上」「下」は、上冊、下冊の別を示す。

○「上」「下」の直ぐ下の数字は、本翻印欄脚に記した丁数、次に表裏の別を「オ」「ウ」で表す。

○「オ」「ウ」に続く数字は、その表裏内での、本翻印に於ける行数を表す。空行は員数に入れない。

○「上」「下」、丁数、「オ」「ウ」は、後出引用文に就いて前出のものと同じである場合には適宜省略した。

○行数下の（　）内の数字は同行内での同書からの引用文の数を表す。

○「・」は、その前後の箇所の引用文が、原書では、連続した一文章であることを示している。

引用書目篇目一覧

易

謙卦　下16オ1、17オ4

復卦　上70オ4

繫辞上　下13ウ2

繫辞〔下〕　下5オ8

〔王〕弼注（復卦）　上70オ4

〔孔穎達〕疏（繫辞下）　下5オ8

〔同疏引〕鄭康成注　下5オ8

進齋徐氏曰（繫辞上）　下13ウ2

書

大禹謨　下48オ8、50オ8
禹貢　下56オ7（2）
仲虺之誥　下64オ3
説命　上16ウ8
泰誓　上28オ8、下48ウ2
〔孔〕安國注（禹貢）　下56オ7
（仲虺之誥）　下64オ4
〔蔡〕沈氏注（大禹謨）　下48オ8
（益稷）　上24ウ8
（泰誓）　上28オ8、下48ウ2

詩
詩大序曰（〔国風周南〕）　下37オ1
〔孔穎達〕正義引曲禮　下37オ1
釋詁　下37オ2

周禮
天官　下34オ6
冬官考工記　上52オ6、ウ3、4
〔鄭玄〕注（天官）　下34オ6
（冬官考工記）　上52オ6
〔賈公彦〕疏（天官）　下34オ6
（〔秋官〕司寤氏）　下12オ1
（冬官考工記）　上52オ7
〔同疏引〕易説卦（冬官考工記）　上52オ8

儀禮
士冠禮　下28ウ6
鄉飲酒禮　下28ウ7
〔鄭玄〕註（士冠禮）　下28ウ6
（士昏禮）　下29オ1
（鄉飲酒禮）　下28ウ7

禮記
曲禮　下32オ6・7
檀弓　下30ウ6・8・31オ1、4
月令　下34オ7
内則　下27ウ11、28オ1・9・ウ1・2・8・29オ2・5・7・9・10・11・ウ5、28オ9
玉藻　下56ウ2
樂記（「禮記十一樂記曰」）　上22ウ5
雜記　下30ウ5

射義　下27ウ7
鄭〔玄〕注（檀弓）　上28ウ10（2）、下54ウ5
（内則）　下28オ1、9、ウ1、2、8、29オ2、5、7、9、10、ウ5、28オ10
（玉藻）　下56ウ2
注（非鄭注）（内則）　下27ウ11
〔孔穎達〕正義（曲禮）（「曲禮疏」）　上8ウ7
（内則）　下28オ2、ウ2、4、8、29ウ5
（射義）　下27ウ8
〔同正義引〕儀禮注（内則）　下28オ3
〔陳澔〕集説（曲禮）　下32オ6、7
（檀弓）　下30ウ6、9、31オ2、5
（内則）　下28オ6、29オ4、6、8、29ウ2
大全王氏子墨曰　下32オ8
大全厳陵方氏曰　下28オ7、31ウ1
春秋左傳
隱公三年　下59オ4、7、9、ウ1
桓公六年　下29ウ7・9・30オ1・3・5・7・8・9・ウ1・2・3・31ウ4・6・8・9・32オ1・2・4
〔僖公二十四年〕　上8オ4
〔襄公九年〕　下5ウ3
襄公三十一年　下43ウ1
昭公二十二年　上43ウ8
〔杜預〕注（隱公三年傳）　下59オ4・7
（桓公六年傳）　下29ウ8、9、30オ1、3、5、7、8、9、ウ1、2、3、31ウ4、6、8、9、32オ1、2、4
（襄公九年傳）　下5ウ3
（襄公二十四年傳）　上43オ2、3、4（2）、5、7（2）
（襄公三十一年傳）　下43ウ1（2）、2
（昭公七年傳）　下56ウ7、8、57オ2
（昭公二十二年傳）　上43ウ8、44オ1（2）、2、3、4、6、7
〔孔穎達〕正義（桓公六年傳）　下27ウ9、30オ1、3、5、10（2）、ウ1、31ウ3、4、7、32オ2、4
（昭公七年傳）　下57オ5

〔同正義引〕周本紀　下30オ1
孔子世家　下30オ3
魯世家　下32オ4
晉語　下32オ2
家語本姓篇　下30オ5
賈逵云　下27ウ9

孝經

〔開宗明義章〕　下19オ8
〔邢昺〕正義（〔三才章〕）　上7ウ2
（〔五刑章〕）　上74ウ2
（〔喪親章〕）　下31ウ2
〔同正義引〕孔安國注　上74ウ2、ウ3（2）、ウ4
朱子曰　下19オ8

大學

〔傳之九章〕　下22ウ5
〔朱子〕注（〔經一章〕）　上9ウ9
〔朱子〕集註（〔經一章〕）　上9オ1

中庸

〔章句第一章〕　上70ウ1
〔章句第十四章〕　上60ウ6
〔章句第二十六章〕　下11ウ7
〔朱子〕集註（〔第一章〕）　上70ウ1
朱氏注（〔第二十六章〕）　下11ウ7

論語

〔学而第一〕　下7オ4、9ウ5
八佾〔第三〕　上16ウ3
〔里仁第四〕　上10ウ8
雍也〔第六〕　下60オ9
述而第七　下43ウ4
泰伯〔第八〕　下19ウ1
顔淵第十二　上21オ8
陽貨第十七　上10ウ3、22オ7、下20オ3
論語古注序　上2オ9
〔何晏〕注（〔学而第一〕）　下37ウ5
〔邢昺〕疏（序）　上2オ9
正義（学而第一）　下37ウ8、38オ5
（為政第二）　上48ウ8
〔同正義引〕爾雅釋文・郭璞注　上48ウ8

漢書天文志　上48ウ9　（入陌怕）　下63オ5

集注（〔学而第一〕）（「朱氏注」）　下7オ4、9ウ5　（入昔益）　下16オ1

（八佾第三）（「朱注」）　上16ウ3　増韻　下16オ1

（雍也第六）　下60オ10　五音韻海　下31オ9

（述而第七）　下43ウ4　〔古今韻〕會〔舉要〕

（泰伯〔第八〕）（「朱子曰」）　下19ウ1　平東功　上16オ7、上19ウ9

（顔渕第十二）（「朱注」）　上21オ8　忠　下1オ6

（陽貨第十七）　上10ウ3（「集註」）、22オ8　聾　上55ウ2

大全朱子曰（八佾第三）　上16ウ4　窮　上30オ6

〔大全〕范氏曰（陽貨第十七）　上22ウ1　盅　上26オ3

大全双峯饒氏曰（陽貨第十七）　上22ウ3　沖　上26オ3

孟子　支馳　上56ウ7

〔梁惠王上〕　下3オ2　熙　下10オ6

〔告子下〕　下21ウ2　夷　上42オ2

梁惠王下　下64オ5　唯　上20オ7

爾雅〔釈訓第三〕　上33ウ9　辞　上19オ11、下62ウ3

玉篇　下11オ9、63オ5　楣　下28ウ7

廣韻（去換讃）　上62オ1　微歸　上9ウ8

（去過坐）　上60ウ4　魚車　上52オ5

徐　上67オ7　〔上47オ9〕
專
輿　上53オ3　緜　上36オ4
虞虞　下30ウ7（2）　蕭昭　上8オ4、下45ウ8
夫　上20オ7　超　下37オ5
芻　上28ウ4　豪韜　上37オ1
呼　上36オ6、56ウ7　歌阿　下8ウ8
齊谿　下45オ8　麻麻　下34オ9
灰殘　下11オ3　邪　〔上22ウ7〕
眞輪　上53オ3　陽堂　上42ウ5
臣　上73オ6　王　上71オ11
仁　上40ウ4　煌　上50オ2
文君　上65オ3、73オ5　庚兵　下50オ6
芸（「會平元」と標記、元は文の誤か）　上70オ2　名　上16オ7、73オ4
元魂　上33ウ9　情　下48ウ7
恩　下6オ3　嬰　上7ウ8
寒奸　下2オ3　盲　上55オ4
刪關　下41ウ4　營　上46オ6
頑　下12ウ4　青經　上1ウ1、下13ウ7
先權　上21オ6、下67ウ3　廳　上10ウ4

形	下10ウ7	賄乃
蒸能	上41オ2	軫牝
縄	下41ウ8	阮沌
應	下8ウ7	混
尤籌	下40ウ4	楗
侵音	上18オ5、62オ4	銑喘
姪	〔上22ウ7〕	篠兆（「上條」と標記）
鹽猒	上59オ1	夭
紙紀	上64ウ8	巧巧
止	上19オ11、下62ウ3	皓道
恃	上19ウ7	哿可
以	下12ウ2	果（「會上可」と標記、可は哿の譌か）
髓	上24オ1	養享
士	上65オ4	爽
唯	下8ウ8	梗騁
語黍	下34オ9	有有
麌午	下28オ5	牖（「上宥」と標記、宥は有の譌か）
武	下50オ1	狗
戸	上53ウ6	偶

上71オ9		
上33ウ3		
下11ウ6、26オ2		
上67オ5		
下41ウ4		
上36オ7		
下10ウ7		
下36オ6		
下40オ1		
上1オ9		
上22オ6		
下51オ2		
下10オ9		
上55ウ9		
上19ウ4		
上56ウ7		
上53ウ7		
上28ウ4		
下11オ2		

感　下51オ2
敢

咸　下65オ2
淡

琰　上55オ1
撿

忝　下50オ1
儉

豏　下34ウ6
湛

去宋　下45ウ2
惷

用　下40オ1、43オ9

寘　上61ウ1
寄

偽　下2オ2

未　上4ウ8
氣

屏　下4ウ8

御　上66オ6
豫

遇　下28ウ6
阼

霽　上3オ6
第

制　下54オ8

髻　下28オ6

鋭　上42ウ1

惠　下6オ3

隊　下8ウ7
對

問　上42オ1
運

願　下12オ6
悶

翰　下36ウ11
觀

渙　上66ウ4

煥　上50オ2

霰　下36ウ12
醼

嘯　下12オ11
漂

要　上8ウ9

妙　上8ウ9

效　下1オ6
孝

號　下6オ10
盜

操　下24ウ2

號　上73オ4

箇　上57オ9
貨

禡　下2オ3
詐

謝　上19オ11、下62ウ3

漾　上32オ7
臧

載　上46オ3

續　下56ウ2

敬政　上6オ3、40ウ9
宥荳　下34ウ2
姆（「會去有」と標記、有は宥の譌か）　下29オ1
陷氾　下62オ2
入屋穀　下34オ8、ウ2
轂　上52ウ5
福　上20ウ1
復　上70オ3
肉　上34オ5
沃欲　上8ウ11、22オ6
覺學　下8オ3
數　上30オ5
質一　〔上3オ7〕
術　上6オ2
月骨　上34オ5
點察　下12オ3
屑血　上34オ6
藥約　下41ウ8
簫　上29ウ4

槀　上29ウ3
泊　下34ウ6
索　下41ウ8
陌魄　上34オ8、46オ4
革（「入藥」と標記、藥は陌の譌か）　下50オ6
麥　下34ウ2
脉　上34オ6
策　下40ウ4
逆　上19オ11、下62ウ3
怕（同書「入陌」には此の字見えず）　下10ウ7
錫戚　下2ウ2
職稷　下34ウ1
息　上36オ7
黙　下45ウ8
徳　上1オ10、20ウ1
賊　下6オ10
緝汲　上37ウ2
給　下43オ9
翕　下66オ2

合荅　下11オ2
〔同書引〕書　下10オ9
詩序　上18オ5、62オ5
詩注　上29ウ5
〔禮記〕祭統・注　上28ウ4
禮記注　下2ウ2
禮記月令疏　上18オ6、62オ5
月令章句　下34ウ2
左傳　下12ウ4
左傳杜預曰　上40ウ9
孝經注疏　上1ウ1
孝經説　上73オ6
論語注　下50オ1
孟子（論語の譌カ）　上30オ5
同註　上30オ5
爾雅　上28ウ4、30オ5、下36ウ11
廣雅　上29ウ5
釈名　上1ウ1、29ウ5、34オ6、40ウ9、55ウ2、下28ウ7
説文　上1オ9、4ウ8、8オ4、16オ7（2）、19オ11（3）、ウ7、9、22オ6、〔ウ7〕、24オ1、26オ3、28ウ4、29ウ3、4、30オ6、34オ5、6、36オ7、37オ1、ウ2、42オ1、50オ2、52ウ5、53オ3（2）、ウ6、55オ4、ウ2、56ウ7（2）、59オ1、65オ3、4、66ウ4、67オ7、70オ3、71オ11、73オ4、5、6、下1オ6（2）、2オ2、8オ3、ウ7、10オ6、9、11オ3、12ウ2、24ウ2、28オ6、ウ6、29オ1、34オ8、9（2）、ウ2、6、37オ5、40オ1、41ウ4（2）、ウ8（3）、43オ9、50オ1、54オ8、56ウ2、62オ2、ウ3（3）、65オ2
〔同書引〕老子　上52ウ5
廣韻　上3オ6、〔オ7〕、4ウ9、6オ2、16オ7（2）、19オ11、〔47オ9〕、50オ2、56ウ7、70オ3、下10オ9、12オ3、ウ2、28オ5、ウ6、40オ1、62ウ3、66オ2
増韻　上8ウ9、37オ1、ウ2、41オ2、〔47オ9〕、56ウ7、67オ8、下1オ6、8オ3、ウ7、11オ2、12オ3、6、ウ4、24ウ2、34ウ6、50オ1
漢書注孟康曰　上3オ6
後〔漢書〕馬融傳　上32オ7

〔同注引〕韓氏外傳（氏は詩の譌か）　上32オ7
通志　下34ウ1
古史考　上52オ5
通論　上40ウ4、73オ6
三輔黃圖　下36ウ11
白虎通　上65オ3、73オ5
老子　上26オ3
莊子　上40ウ4
鄭康成曰　上57オ9
蘇氏瞻詩曰　上61ウ1
朱氏曰　上1オ10

史記
三皇本紀　下5オ5（2）
五帝本紀　下4オ6
〔齊悼惠王〕世家　上2オ1
〔曹相国〕世家　上2オ3（2）
樂毅列傳第二十　上1ウ7
亀策傳　上7ウ10、8オ1
注〔裴駰集解〕（曹相国世家）　上2オ3

注〔司馬貞〕索隱（樂毅列傳）　上1ウ8
〔張守節正義引〕孔安國尚書序　下4オ6、5オ6
皇甫謐帝王世紀　下4オ6、5オ6
孫子注世本　下4オ7、5オ6

漢書
武帝紀　下4ウ4
輿服志　上53オ4
翼奉傳　上49オ1
注應劭曰　上49オ4、下4ウ4
孟康注引詩内傳　上49オ4
〔顔〕師古注引白虎通　下4ウ5

鳳洲綱鑑　下73ウ5
同注　下73ウ5
十八史〔略〕　下5オ6
〔歴代帝王〕紹運圖　下5オ6
史学提要　下26オ3
歴代叙畧　下5オ6
〔文献通考〕經籍考三十八　下43オ2
家語

第四（五帝第二十四の譌か）　下4オ8

本命解　下11オ4

荀子

〔修身〕　上8オ4、下11ウ5

〔正名〕　下12オ9

〔楊倞〕注　下12オ9

説苑第一　下55オ5

〔北溪先生〕性理字義

〔命字、論人物皆本乎一氣〕　上11ウ9

〔仁義禮智信、論仁統四端〕　下1オ7

〔道字、題目闕〕論儒者道　上5オ6

〔道字〕論老莊〔言〕道〔之差〕　上5オ1

〔道字〕論仏氏〔言〕道〔之差〕　上5オ3

〔道字、論事物皆具此道〕　上5ウ3

〔德字、論人心有本然之德〕　上9オ3

性理大全〔巻之三十〕　上12ウ8、14オ9（2）、ウ6

巻之三十一　上12ウ3、6、13オ1、3、6、7、ウ3、14オ2、15オ4、7

六韜

〔文韜、文師〕　上26ウ7

〔文韜、大禮〕　下17ウ7

〔劉寅〕直解　上26ウ8

三畧

〔上略〕　下67オ9

〔中略〕　上75ウ5

〔下略〕　上20ウ6、下53ウ9

〔黄帝内經〕素問

第一上古天真論　上33オ8

第一陰陽應象大論　上11ウ3、34ウ7

第一六節蔵象論　上34オ10

王〔氷〕注　上11ウ3、33ウ2（「素問注」）

馬氏〔蒔〕注　上34ウ3、ウ7、11、35オ4、オ7、10

〔黄帝内經〕霊樞

第一本神篇　上32ウ1

馬氏〔蒔〕注　上32ウ6

〔同注引〕素問霊蘭秘典論　上33オ5

〔素問入式〕運気論〔奥〕　上46オ6

淮南子

〔本經訓〕 下5オ2
〔主術訓〕 上46オ3
注許慎曰 下5オ2
白虎通 上46オ3、56ウ5、下37オ4
世説〔德行〕 上22オ2
事文類聚高誘曰 下5オ4
韻府〔羣玉〕 上49ウ6
事林廣記老子変現之図 上1ウ3、下78オ2
〔老子道德經〕
體道第一章 下63オ6
無源〔第四〕章 上42ウ2
易性〔第八〕章 下13オ2
検欲第十二章 上55オ2（「經曰」）、下65オ8
〔厭耻第十三〕（「經曰」） 上59オ3
賛元第十四章 上50オ1、下65オ8
虛無第二十三章 下50ウ8、60オ6
象元〔第二十五〕章 下14ウ4
法本第三十九 上47オ3
道化第四十二章 上9オ5、6
偏用第四十三章 下67オ5
鑒遠第四十七章 下40オ3
戒強第七十六 下67オ7
任信第七十八章 下67オ8
〔河上公〕注（無源〔第四〕章） 上42ウ2
（成象第六） 上23オ8
（俗薄第十八章） 下42オ5
（道化第四十二章） 上9オ5、6（2）、7
（偏用第四十三章） 下67オ4
（鑒遠第四十七章） 下40オ3
纂圖互註〔老子道德經〕上3オ4、6オ1（「纂圖」）、7ウ2（「纂圖」）
李氏聖紀圖混元圖 下78ウ1
〔道德經〕廣聖義
唐玄宗詔〔叙經大意解疏序所引〕 上2ウ2、5、8
〔唐玄宗〕注
〔不尚賢章第三〕（「廣聖義曰」注字無標記） 上24オ8
〔道冲而用之章第四〕（同右） 上26オ7、27オ7
〔天地不仁章第五〕（同右） 上28ウ6、29ウ6
〔上善若水章第八〕（同右） 上40オ7

〔載營魄章第十〕 上46ウ2、48オ3
〔寵辱若驚章第十三〕 上59オ7
〔古之善為士章第十五〕 上67ウ10
〔致虛極章第十六〕 上71オ5、10、ウ6、11
〔絶聖弃智章第十九〕 下6オ6
〔絶學無憂章第二十〕 下11ウ8、9、12オ4、7、ウ6
〔將欲取天下章第廿九〕 下48オ6
〔夫佳兵章第三十一〕 下53ウ6
〔將欲翕之章第三十六〕 下68オ1
〔唐玄宗〕疏
〔道可道章第一〕 上8ウ11
〔天下皆知章第二〕 上16オ2（「疏」無標記）、11、17オ3、8、ウ5、9、18ウ5
〔不尚賢章第三〕 上23ウ7
〔道冲而用之章第四〕 上26オ2、ウ6、10、27オ4、9
〔天地不仁章第五〕 上29ウ8
〔谷神不死章第六〕 上32オ3、36オ9
〔天長地久章第七〕 上37オ4
〔上善若水章第八〕 上40オ8
〔持而盈之章第九〕 上42ウ7
〔載營魄章第十〕 上47ウ1、48オ3、ウ4
〔三十輻章第十一〕 上53オ6、ウ1、8
〔寵辱若驚章第十三〕 上60オ2
〔視之不見章第十四〕 上62オ8、63オ1、9、ウ8
〔古之善為士章第十五〕 上67オ1、3、6、ウ4
〔致虛極章第十六〕 上69ウ8、70オ6、ウ7、71オ7、ウ8、72オ1
〔太上下知章第十七〕 上73ウ8、76オ3、ウ1、7
〔大道廢章第十八〕 下2ウ6
〔絶聖弃智章第十九〕 下6ウ1、7オ6
〔絶學無憂章第二十〕 下8オ8、10オ4、7
〔孔德之容章第二十一〕 下14オ1
〔曲則全章第廿二〕 下16オ3、9、18オ2、4、7、ウ2
〔希言自然章第廿三〕 下20オ5、21ウ7、22オ6
〔有物混成章第廿五〕 下26オ5、27ウ4、34オ1、ウ3、35オ2、7
〔重為輕根章第廿六〕 下36オ4、ウ5、37オ7
〔善行無轍跡章第廿七〕 下40オ6、ウ2、41ウ5、9、42オ6、43オ5
〔知其雄章第廿八〕 下45オ5、ウ3、9

〔將欲取天下章第廿九〕 下49オ5、9
〔以道佐人主章第三十〕 下51オ4
〔夫佳兵章第三十一〕 下53オ10、ウ8、54オ4、ウ3、8、55オ8、ウ3
〔道常无名章第三十二〕 下58オ1
〔知人者智章第三十三〕 下60オ7、61オ1
〔大道泛兮章第三十四〕 下62オ5、63オ2
〔執大象章第三十五〕 下64ウ6、65オ3
〔道常无為章第三十七〕 下69オ3、70オ1
〔同疏引〕詩 上53ウ8
禮記檀弓 下54ウ3
春秋傳 下51オ4
莊子 下62オ6
西昇經 下35オ3
〔杜光庭〕廣聖義
〔序〕 下76ウ9
〔叙經大意解疏序所引〕 上1ウ4、2オ8、ウ2、5、8
〔釈老君應跡本義降生祥異〕 下72オ1・6・ウ2・5、73オ1・3・4・5・6・8、ウ2、4、7、74オ6・7・8・ウ2・3、4、6、8、75オ2、4・ウ8・76オ4、77オ4・5、7、9、ウ1、3、79オ4
〔道可道章第一〕 上11オ1（2）、14オ8
下46ウ8（2）、47オ2（2）
〔天下皆知章第二〕 上18オ7、ウ8、20オ3、7
〔不尚賢章第三〕 上23オ1、9、ウ1、3、5、10、24オ9、ウ4
〔道冲而用之章第四〕 上26オ9、27オ1、6
〔天地不仁章第五〕 上28オ5、ウ8、30オ1
〔谷神不死章第六〕 上32オ4、35ウ8
〔天長地久章第七〕 上37オ4、38オ1
〔上善若水章第八〕 上39オ4（標記「疏」、譌か）、7、ウ2、6、40オ1、5、41オ11、ウ5
〔持而盈之章第九〕 上42オ4、ウ4、9、44ウ5、45オ1
〔載營魄章第十〕 上46ウ1、3、47ウ6、48オ4、49ウ7、50オ6
〔三十輻章第十一〕 上53ウ2、54オ5、8
〔五色令人目盲章第十二〕 上55オ7・ウ5・56オ1、2、ウ9、57オ5、ウ1、58オ1、4
〔寵辱若驚章第十三〕 上59オ8、ウ6、60オ5、61オ2
〔視之不見章第十四〕 上62ウ4、63ウ3、64オ6、10、ウ6

〔古之善為士章第十五〕 上65ウ1、66オ3、7、ウ5、68オ4
〔致虛極章第十六〕 上69オ3、ウ4、70オ1、5、71オ3、ウ3
〔太上下知章第十七〕 上73オ7、74オ1、ウ5、75オ7、ウ2、76オ5、77オ1
〔大道廢章第十八〕 下1ウ4、2オ1、5、ウ8、3オ4
〔絶聖弃智章第十九〕 下5ウ4、6ウ6、7オ1
〔絶學無憂章第二十〕 下8オ9、9オ8、ウ8、10ウ1（標記「疏」、義の譌か）、3、8、12ウ10
〔孔德之容章第二十一〕 下13オ6
〔曲則全章第廿二〕 下16オ4、ウ1、8、17ウ1、18ウ5、19オ4
〔希言自然章第廿三〕 下20ウ3、7、21オ3、7、22オ1、7、ウ7
〔跂者不立章第廿四〕 下24ウ3、6、25オ2、6
〔有物混成章第廿五〕 下26オ7、ウ2、6、7、9、10、27オ3、5、8、ウ1、6、32ウ2、33オ2、3、5（2）、7、8、ウ2、5、9、34オ3（2）、ウ9、35オ5、9
〔重為軽根章第廿六〕 下36オ8、ウ7、37オ8、38ウ4、39オ6
〔善行無轍跡章第廿七〕 下40オ7、ウ5、41ウ6、42オ1、8、ウ7、43ウ7、8
〔知其雄章第廿八〕 下45オ7、ウ5、47ウ3
〔將欲取天下章第廿九〕 下49オ10
〔以道佐人主章第三十〕 下52オ2
〔夫佳兵章第三十一〕 下53ウ2、54ウ10
〔道常无名章第三十二〕 下56ウ5（標記「疏曰」、義の譌か）、57オ9、ウ5
〔知人者智章第三十三〕 下59オ3、ウ7、61オ4、8
〔大道泛兮章第三十四〕 下62オ7、ウ4
〔將欲翕之章第三十六〕 下66オ10、ウ2、68オ3
〔道常無為章第三十七〕 下69オ5、9
〔同義引〕易 下47オ1
易乾卦 上69ウ4
解卦 上43ウ5
繫辞 上37オ6
書 下16オ6
禮 上56ウ10
〔儀禮〕聘禮 下41オ3
禮記檀弓 上28ウ8

禮運　下1ウ5
王制　下37ウ3
春秋〔左傳〕　上42ウ9、43ウ1、76オ6、下56ウ7、59オ3
孝經援神契　下57ウ5
字林　下27オ5
德經第四十一章　上40オ1
太極葛玄仙公道德經序訣　上1ウ4
莊子　上61オ2
　斉物篇　下62オ7
　馬蹄篇　上77オ1
　天道篇　下33オ8
　達生篇　下61オ8
列子　上37オ5
冲虛眞經　上75ウ2
鶡冠子　下57ウ6
玄中記　下75ウ8
西昇經　上46ウ1、47ウ6、7、48オ6、下22オ5
内観經　上23ウ3
大唐天潢玉諜　下75オ4
李氏大宗譜　下76オ4
玄妙玉女元君内傳　下77ウ3
樓観先師傳　下75ウ6
河圖　下61オ5
本記云　下75ウ5
〔侍講程尚書易老通言撮要〕　上1オ1、下80オ3、7、ウ6、81オ1
孝宗皇帝御製原道論辨　下81ウ1
〔老子鬳斎口義〕
　林希逸口義序　上1オ6
　林希逸注　下66オ3
道書全集
　金丹正理大全〔金丹大要〕
　〔虛無巻第一〕上陽子道德經序　上1オ6、3オ2、4
　道德經上陽子註　上4オ2、6オ7（「上陽子曰」）
　〔上薬巻第二〕精氣神説　上4ウ3、6、6ウ1、8オ10、11ウ8
　〔同引〕黄庭經　上6ウ1
張洪陽註〔解道德經〕老子經自序　上1オ11（2）

〔林子道徳經釈略〕（「林兆恩注」）　下36オ10

〔同注引〕老子億　下36オ10

莊子

〔内篇〕人間世　下56オ3

外篇天運　上28ウ5

山木　下65オ5

〔莊子鬳斎口義〕林〔希逸〕注　上28ウ5、下56オ3、61ウ4、6、62オ8・9（2）

列子黄帝　上16ウ5

大惠武庫　上10オ2

文選三十七（劉越石勧進表）〔李周〕翰注　下67ウ4

山谷詩　上7ウ10

注

1　川瀬一馬『増補古活字版之研究』を参照。同書所載の菊亭家旧蔵大阪府立図書館所蔵本に就いては同館所蔵漢籍目録、稀書解題目録には著録されておらず、館内備付けのカード目録にも見当たらない。また同館担当者備考の館蔵貴重書関係文献類をも検索させて頂いたが、所蔵を確認することは出来なかった。

2　鬳斎口義の移写書入れが見られる古鈔本としては、杏雨書屋蔵（内藤湖南旧蔵）〔室町中期〕写本一冊（存徳経下）、東洋文庫蔵（和田維四郎旧蔵）〔室町〕写本一冊、慶応義塾図書館蔵大永五年（一五二五）写本一冊（存巻上道経）、瀧川君山・武内義雄遺蔵〔室町末〕写本一冊、慶応義塾図書館蔵（戸川濱男旧蔵）天正六年（一五七八）足利学校南春写本一冊、大東文化大学図書館蔵（小島寶素旧蔵）天正六年（一五七八）足利学校真瑞写本一冊（経籍訪古志著録本）、東京大学総合図書館蔵（南葵文庫旧蔵）〔室町末近世初〕写本一冊の伝本が管見に入る。そのうち、東洋文庫蔵本、慶応義塾図書館蔵（戸川濱男旧蔵）本及び大東文化大学図書館蔵本には巻首に林希逸自撰の老子解題を兼ねた序文である「老子経口

義発題」が冠され、また、瀧川君山武内義雄遹蔵本には、巻首部分の書眉に此の発題の全文が数葉にわたって移写されている。

これら書入れ各条の文頭には、「口義」と標記されていることもあるが、屢々「亲」、「新」或いは「新注」との略符が冠される場合がある。旧注即ち河上公章句に対する、新しい釈注であるとの含意が明らかに窺え、当時に於ける新学の潮流を端的に示している。

林注の受容が何時に始まるのか、享受伝授の実相如何に就いては、別途考察されるべき重要な課題であろう。夙に、阿部隆一は口義発題を附す旧鈔老子河上公章句本に着目し、論語発題、孝経直解、輯釈附注学庸朱序本との類型に就いて、足利学校を連環として示唆され、南北朝以来の口義受容の趨勢を洞察された（「室町以前邦人撰述論語孟子注釈書考 上」斯道文庫論集第二輯 昭和三十八年）。また、近時、住吉朋彦氏は岐陽方秀の『中峰広録鈔』及び『碧巖録鈔』の中に老子口義からの引用を指摘され、應永年間に遡る受容の事例を具体的に示されている（「不二和尚岐陽方秀の学績－儒道二教に於ける－」 書陵部紀要第47号 平成八年）。関連する論考として注目される。

3 『鳳洲綱鑑』とは、明王世貞（字元美、号弇州山人、又号鳳洲、嘉靖五年〈一五二六〉～萬暦一八年〈一五九〇〉）編纂編年体通史の雅名通称と思われる。世貞撰述の史書としては、『弇山堂別集』一〇〇巻が著名であるが、この『綱鑑』は、明清以来の主要な書目類には著録されていないようである。また、寡聞にして伝本の所在も未だ明らかでない。

明王世貞編と題する編年類通史には、以下の四種九部の伝本が管見に入る。

綱鑑大全三九巻首一巻 明王世貞編 〔明末〕刊（横秋閣）
唐大四〇冊東京大学東洋文化研究所蔵

同（改題「綱鑑會纂」、封面・序題「歴朝綱鑑會纂」）
〔清〕刊（或いは〔明末〕刊〔清〕修カ）
唐大二一冊合一〇冊東京大学総合図書館蔵（欠巻一）

同 附甲子紀元一巻 （附）〔清陳宏謀〕編 〔清乾隆〕刊
唐半二五冊静嘉堂文庫蔵

重訂王鳳洲先生綱鑑會纂四六巻同〔續宋元〕二三巻首一巻
明王世貞編 陳仁錫・呂一經校 〔明末〕刊〔修〕（湧泉堂童氏）

唐大三四冊蓬左文庫蔵（外題「鳳洲綱鑑」と墨書）

同　存〔續宋元〕二三巻〔清〕刊〔覆明末〕刊本

唐大二四冊東京大学東洋文化研究所蔵

王鳳洲先生綱鑑正史全編二四巻附紀一巻綱鑑圖略一巻　明

王世貞撰　陳仁錫評　林夢熊校　張睿卿等編　（圖略）

明王光魯等編　明崇禎一二（一六三九）序刊〔清〕修

圖略一部朱墨套印

大一六冊合七冊東京大学総合図書館蔵（有補鈔）

又（封面題「鳳洲綱鑑」）〔後印〕（友益齋）

大一六冊尊経閣文庫蔵

王鳳洲先生綱鑑正約會纂三六巻附記一巻首一巻附通紀會纂

四巻　明王世貞原撰　顧錫疇編注　陳繼儒批點(附)明鍾

惺撰　清康熙三（一六六四）序刊（呉門黄子敬五車樓）

唐半四〇冊尊経閣文庫蔵

しかし、何れも刪繁補要を嘔い、後人の評注標点を附贅して改修再編された俗書の類である。また、書成刊行年代は明末から清代に下り、本書が書写された江戸時代初期寛永年間に舶載されていた可能性は、まず考えられない。従って、当時舶載され通行利用されていた王世貞原撰本或いは其の本により近い別本が存在した事実を想定せざるを得ない。

因みに、本書引用の鳳洲綱鑑正文注文各一条は、上記伝本四種ともに削除していて、原文と照らし対校確認することが出来なかった。鳳洲綱鑑佚文として注目されよう。

4　成象第六の経文「谷神不死」及び「是謂玄牝」の両句下に見える。「霊樞第一本神篇」「素問第一六節蔵象論」を引き、その引文に続いて「馬氏注」とある（上32ウ6、上34ウ3、ウ7）。明馬蒔撰『黄帝内經素問註證發微』九巻補遺一巻、『黄帝内經霊樞註證發微』九巻補遺一巻合一〇巻からの引用。両書は書成後間もなく、萬暦一四年（一五八六）、同一六年（一五八八）に刊行されたようである。日本へは天正慶長の間にいち早く舶載されていたことは、慶長一三・一四年（一六〇八・〇九）梅壽刊の古活字版（翻明萬暦一四・一六年寶命堂刊本）が現存していることに拠って明らかである（『素問註證發微』には異植字版も存在する）。此の古活字版は更に、寛永五年（一六二八）に京都の書舎〔中野〕道伴によって覆刻されている（京武村市兵衛の刊記を持つ後印本がある）。しかし、両本の藍本となった明原刊本は未だ管見に入らない。内閣文庫蔵多紀氏躋壽館旧蔵の〔明末〕天寶堂刊本は『商船載來書

目』久字號正德元年の条及び『舶載書目』第九冊に記載されている正德元年（一七一一）の舶載書であろう。本注撰述者は慶長古活字版若しくは初伝の明版を使用したと考えられる。

5　重德第二十六冒頭部分書眉に追補加筆されている「林兆恩注曰」の一文は、『林氏道德經釋畧』からの引用である。兆恩、字は懋勛、号は龍江、又子谷子、三教先生と称された。儒道釈三教合一の説を唱導した明代後半期の思想家である。黄宗羲撰「林三教傳」（南雷文集巻九所収）に従えば萬暦二十六年（一五九八）卒、年八十二。

同書は首に萬暦戊子（十六年）の自序を冠し、同年に成立刊行されたと見做してよいであろう。同版は、兆恩卒後、弟子等によって『林子』或いは『林子全集』として他の著書を集成して合印された。現今目覩される伝本は、殆どがその『林子』亨字函所収本である。単行本としては、台北故宮博物院蔵楊氏觀海堂本（阿部隆一『中国訪書志』著録）を知るのみである（但し、此れも『林子』零本である可能性も否定出来ない）。

『林子』の伝本は、内閣文庫に四部架蔵されているのをはじめとして比較的多く、蓬左文庫の一本は、「尾陽文庫」の印記を有つ寛永七年買本であることから、日本への伝来も江戸初の早い時期に想定出来るであろう。此の引用が『林子』所収本に拠ったか、或いは単行本に依拠したものであるかの判定は困難である。何れにしても、同書が江戸時代初期には舶載され、老子の理解に参照利用された事実が確認される意味において、注目される。

尚、元和戊午（四年〈一六一八〉）孟春林羅山撰「老子口義跋」（『羅山林先生文集』巻五十四所収、同跋文は、『老子鬳斎口義』の林家旧蔵国立国会図書館現蔵〔慶長〕刊古活字版、内閣文庫及び大東文化大学蔵の〔江戸初〕写本等の巻末に羅山自筆識語として伝存し、また正保四年〈一六一八〉刊羅山点首書本巻末跋文も同文である）に、当時見存した老子注釈書数種を挙げ、その末に「又有林兆恩所解者」と記されている。当然、この『釋畧』を意味し、羅山も、既に同書を実見していたであろうことを、指摘附贅しておきたい。

6　新刊道書全集（序題）　明閻鶴洲編　明萬暦一九（一五九一）序刊

首に萬暦辛卯歳（一九年〈一五九一〉）中秋日の丁應麟の序を冠し、その年の刊行と見做される。編者名は此の序文の

記載に従う。鶴洲は恐らくは雅号であろう。閻氏の事歴は未考。伝本は少なくはないが、日本伝来本としては、静岡県立図書館葵文庫蔵の一七冊、蓬左文庫蔵三六冊が管見に入る。尊経閣文庫蔵の四四冊は未見。葵文庫本は「向陽軒」（林鵞峰）、「林氏／蔵書」の印記を有し、又、一部に「秘書監林信言子恭閲了」等と林鳳谷の識語が見え、林家旧蔵本。尚、前注で触れた羅山撰「老子口義跋」に、「余嘗見道書全書、載老子数家注」との記述がある。「道書全書」とは「道書全集」のことではあるまいか。若しそうであるならば、此の羅山跋文は同書初伝の下限を示す文献としても留意される。

7　杜光庭の伝記資料としては、『五代史補』巻一（旧五代史巻一三六僭偽列伝第三王衍伝末に同文を附載）、『蜀檮杌』光天三年八月の条（説郛巻四五）、『歴世真仙體道通鑑』巻四十（明正統刊道蔵　鱗八）、『四庫全書総目』巻一〇五医家存目杜天師了證歌一巻提要、『欽定全唐文』巻九二九、『全唐詩』巻三十一（巻次は清光緒一三年上海同文書局刊石印本に拠る）、『續刊青城山記』巻上古蹟記・同巻下事實記下方技（重刊道蔵輯要翼集十）等がある。また、吉岡義豊『道教経典史論』第一編第五章第三節、今枝二郎「杜光庭小考」（『吉岡博士還暦記念道教研究論集』東京　国書刊行会　昭和五二）の論考がある。

8　上海版道蔵と書陵部蔵明正統刊道蔵との間には、字句その他に少なからず異同が存在し、上海版とその底本と言われる北京白雲館旧蔵本及び書陵部蔵本との関係については、更に書誌学的検討が必要である点、夙に窪徳忠氏が指摘されている。「宮内廳書陵部所蔵の道蔵」（東方宗教第七号　昭和三〇年）、「涵芬樓影印本道蔵校勘記」（同第十号　昭和三一年）を参照。

9　書目上では、伝本として、丁丙『善本書室蔵書志』巻二十三及び莫伯驥『五十萬巻樓蔵書目録初編』巻十四著録の本が管見に入る。丁志は「明鈔道蔵本」と著録。『江南圖書館善本書目』『江蘇省立國學圖書館圖書総目』巻二十、『江蘇省立國學圖書館現存書目』巻七には六冊と記され、現在は、南京図書館に架蔵されているものと思われる。莫編は「道徳眞經廣聖義五十巻　明寫本」と著録。書名巻数からは此れも道蔵本の様である。しかし、解題に「巻前有唐開元御贊、次眞宗皇帝御製像贊并序、次老君度關銘并序、次孝宗皇帝御製原道論辨、次侍講程尚書易老通言撮要、次嘉定甲申周觀復序、第一巻序經大意解疏序所引老君應跡、第二巻叙老君事跡氏族・

降生年代・聖唐冊號、第三巻釋御疏序上、第四巻釋御疏序下・釋題訓明體用、第五巻已下釋經文」とあることを勘案すれば、以下に述べる日本伝存の宋刊本系の本に寧ろ一致する。即ち、上海版道蔵本と比べると、此の解題に挙げられた諸序は道蔵本には全て無く、また道蔵本では経文の注釈は巻六から始まっている点に於いて径庭が甚だしい。上海版が明正統刊本の忠実な複製では無い疑いが持たれることは、上記窪氏の報告に見えることであり、今の時点では莫編著録本の系統を云々は出来ない。道蔵そのものの書誌調査の必要性が痛感される。但し、此の莫編著録本は現存しないようである。

後書き

今次は、前稿『老子経抄』の紹介に引続くかたちで、天理図書館御所蔵の貴重写本『道徳經抄』上下二冊を翻印させて頂いた。同書は学術上、日本漢学史、漢籍受容史、老子注釈史といった観点から、是非とも詳究論討を要する資料であろう。にもかかわらず、学界未周知の現状で、或いは埋没したままに放擲せられ続けるのではとの危惧を懐き、浅陋をも顧みず敢えて翻字を試みた次第である。今後も、日本人撰述の老子注釈書類の発掘に心掛け、未完写本の翻印公刊を継続していきたいと願っている。

本解題篇での企図は、書誌形態上の概見を補述するとともに、本書を、日本に於ける老子享受史の中に位置づけるための試案を提供することにあった。江戸時代初期に成立した注釈書であること自体、既に稀少価値を有し、推重すべき文献である。しかし、本書の古文献としての資料的価値は、その稀覯性の一事を以て尽くされるものではなかった。中世以来の伝統的誦述伝習の掉尾を飾るとともに、以後近世に於ける老子講学の端緒とも濫觴ともなる学術著書として、注釈史上評価されるべき側面を看過してはならない。時代の趨勢に相応し、変容開展していく学問の動向を、此の両冊の内に垣間見ることもまた可能なのである。

拙論を進めていく上で、先ず初めに注目した一点は、全文が標記掲出されている道徳経経注本文であった。此の本文については、河上公章句本であることを認定し、当時伝存したであろう河上公本伝本を概観した上で、本邦伝来の旧鈔本と同系統のテキストと推定した。更に、諸旧鈔本本文との対校の結果、同

系統上の一伝本として、古活字版と共に最終末期の様態を顕出しているテキストであることを確認した。しかし、校合過程において再三にわたって逢着した、諸本の異同字句を認定することの困難を、間違いなく克服できたか否か、甚だ心もとないということを、此の場を借りて表白しておかなければならない。

加筆された一字を誤写の訂正字として本文と見做すか、或いは異本との校異の書入れであるのかの判定にはしばしば難渋を極め、各伝本に就いて、更に緻密な校勘が先ず必要であることを痛感させられた。今後の課題として銘記しておかなければならない。本論においても、繰言したように、異同字句一々に内在する意義の軽重に関わる判断は、素より厳正を期しがたい。更に、此処で、異同そのものの認定すらも曖昧さを克服できなかった点で、付載した校異表の確実性と、本論において導き出された結果の信頼性は無いとの誹りを受けるかも知れない。しかし、挙例の数量によって不確実性は一部捨象され、また事例の検証によって信頼性も概ね回復されたとの愚考を支えに、最終的な結論には誤りは無いものと確信している。

第二の視点は、本書の本命としての注釈内容にあった。しかし、内容に渡る検証は、比較を必要とする諸伝本及び旧鈔本書入れ等の考證検討を俟って、完璧を期すべきである。此処では主に、『老子経抄』と比較することで、旧釈、新釈交錯し、両釈包容した性格を有つことを、僅か例示できたに過ぎない。

第三点として、参照引用図書に着目し、引用書の研討によって、旧来よりの伝習に加えて、新渡来の漢籍が消化利用されている事実に就いて指摘した。特に宋本系の伝写本『道徳經廣聖義』に注目し、同書の道蔵本本文と通校することによって、本引文が現今失伝している宋刊本系本文の断章であることを明らかにした。この点においても、本書の資料価値は高まるであろう。頻見する引用書名は、孫引きの場合が多く、それと弁別することは、必ずしも容易では無い。付載した「引用書名篇目一覧」は、爾雅、廣韻、増韻等一部に未安の所もあるが、この点で配慮したつもりである。本書引文の索引を兼ねるとともに、江戸初の漢学趨勢の一面と、漢籍流通の情況を窺う為の補材ともなるであろう。

以上、浅論ながら、本書に纏着した文献資料としての意義の一端は提示することが出来たのではなかろうか。

しかしながら、これはつまるところ側面的価値の指摘に過ぎない。学問上本来的には撰述内容の学術的価値如何の考察が、

須要な課題であるべきであろう。本書に著された老子解釈の是非、優劣、守旧、斬新等の諸問題に立ち入った精察がなされるべきである。営々と持続継承されてきた老子への関心に伴い、その成果として累積されてきた著作の、滴露とも言える本書への正当な評価は、かかる学術思想史上の観点をも踏まえた上で下されるべきである。

但、稿者は、其の任を負うべくもなく、僅かに本篇に於いて呈示した書誌学上の鄙見が、更に踏み込んだ理解を得るための一助ともなればと、庶幾する次第である。

本書との邂逅の経緯については、「前言」に於いて述べた如くである。老子道徳経及び其の注釈書諸本の書誌調査を継続する過程での、予期せぬ収穫であった。旧鈔本に匹敵する貴重な図書資料であることは直感せられたが、当初、その老子注釈の内容如何に就いて、直ちに認識することは難しかった。河上公章句本を対象としていることは了解出来た。しかし、それまでに知見を得た諸書と照らしても類書は見出せず、学界未紹介の新出本であろうかと期待を懐き、一方で、老子注釈書として、諸伝本の中にどう位置づけ出来るのか皆目見当が付かず、当惑したことであった。後に、引用文を伴って頻出する略書名が、杜光庭の『道徳經廣聖義』の簡称であることに気付いたことによって、注釈形式の概略が把握せられ、他に類書の知られていない、天下無双の稀覯書であると理解せられたのであった。

また、時を前後して、大東文化大学図書館高島蔵書の老子関係図書を調査する機会を得て、『道徳經廣聖義』の伝写本に遭遇したことも、この上もない僥倖であった。

翻印を快諾して下さった天理図書館長、また金子和正先生をはじめとする館員の皆様へは重ね重ね深謝申し上げる。本篇作成に当たっては、関連図書の調査のため大東文化大学図書館、国立国会図書館、東洋文庫、宮内庁書陵部、大阪府立中之島図書館、静岡県立図書館、東京大学総合図書館、同東洋文化研究所、京都大学附属図書館、同文学部閲覧室、同人文科学研究所、筑波大学附属図書館、内閣文庫、名古屋市蓬左文庫、静嘉堂文庫、尊経閣文庫、無窮会図書館、陽明文庫、武田科学振興財団杏雨書屋へ閲覧申請願い上げた。閲覧に際し担当各位の御高配を忝けなくした。末筆ながら感謝申し上げる。

経注文校異凡例

一、此表は、本書『老子道徳經河上公解〔抄〕』に掲出写定された『河上公注老子道徳經』の経注文を諸本と比校し、相互に異同のある箇所の全てを、対照表示したものである。

一、異同字句は、前後の文意文節を勘案し、適宜断句して標出したが、それぞれの同異に対して、後に述べるようなポイント数を与える関係上、文脈上必ずしも妥当な区切り方にはなっていない場合がある。

一、標出字句の漢字は、支障の生じない範囲で、通行字体を用いている。

例：鋭→鋭　損→損　捐→捐　徳→徳　聽→聴

その他、本翻印における異体字の取扱いに準じる。本稿（中）巻頭の異体字一覧を参照されたい。

一、標出字句の■符は、以下に挙げる諸本異文に照らして、該当部分の文字が無いことを示す。

一、異同字句掲出に当たっては、畳字は本の漢字に改めている。

一、標出字句の下、－符に続いて同文を有つ諸本を略称で列挙した。

一、続いて、標出字句と対照し異文を掲げ、同様に同異文を有する諸本を列挙する。□符は、標出字句即ち本書掲出経注文と同字であることを示し、■符は、該当文字が無いことを示す。

一、各異文頭に冠した①②③の数字は、本書本文との隔たりを計量する為当該異文を有つ諸本に便宜上与えたポイントである。原則として一異文に対して一ポイントを与えているが、同文句内の異同の多寡によって、②或いは③を付与した。

一、標出字句に冠した数字並びに符標は、上から、本稿翻印の欄脚に記した原本の葉数、その表裏を「オ」「ウ」で示す（但し、原本には丁付けは無い）。オウに併記された数字は、本翻印の該当葉、表裏内での行数であって空行は員数に加えていない。次に「経」「注」で経文、章句の別を示し、その下に各標出字句に対して通し番号を与えた。

一、異同字句に就いて、虫損破損等で判読し難い場合は、最も蓋然性が認められる箇所に暫定措入し、該当本略称下に「？」符を付した。

一、己已巳、未末、旦且、日曰、等各字の判別が困難な場合が殆どで、また書写者が明確に弁別使用していたか疑わしい場合も多い。依って、これらの文字に就いてはその校異は概ね省略した。

一、楊揚、樸撲、楗捷、挺梃、等、てへん、きへんの別も同様で、校異の対象から原則として除いた。

一、ごく一般的な本字、古字、別体字、俗字、誤字等の異体字も、繁雑を避けて、原則として校異の対象から除外した。

例：事叀、兒児、効效、國国、圓員、壹一、爽奭、姦姧、富冨、寵寵竈、廢癈廢、犒弱、彊強、從従、應応、悪惡悪、德悳徳、恥耻、挙舉、棄弃、歸帰、氣気、淵渕、潔潔、爭争、獨独、稱称、答荅、第弟才、綿緜、総惣捻、繩縄、聲声、與与、華花、萬万、藏蔵、處虔処、號号、讓譲、隨随、釋釈、隣鄰、顯顕、靜静、飾飾、體躰体、髓髄等－其の他此処に掲出した字体に相似類型する種々諸様の異体字に就いても同様に取り扱う－

一、略称で示した校異対象本、及び校合作業に使用した主たる依拠本は次の諸本である。

活Ⅰ　〔慶長〕刊古活字版　拠斯道文庫蔵本
活Ⅱ　〔慶長〕刊古活字版　異植字版　拠天理図書館蔵本
陽Ⅰ　陽明文庫蔵〔室町末〕写本二冊　拠昭和卅六年本文庫撮影引伸写真副本
武内　瀧川君山・武内義雄旧蔵〔室町末〕写本一冊　拠本文庫蒐集引伸写真副本
東大　東京大学総合図書館蔵（南葵文庫旧蔵）〔室町末近世初〕写本一冊　拠本文庫蒐集引伸写真副本
東洋　東洋文庫蔵〔室町〕写本一冊　拠本文庫蒐集引伸写
慶Ⅰ　慶応義塾図書館蔵（戸川濱男旧蔵）天正六年（一五七八）足利学校南春写本一冊　拠昭和卅七年本文庫撮影引伸写真副本
慶Ⅱ　慶応義塾図書館蔵大永五年（一五二五）写本存巻上道経一冊　拠平成五年本文庫撮影引伸写真副本
筑波　筑波大学附属図書館蔵天文二一年（一五五二）写本一冊　拠昭和卅六年本文庫撮影引伸写真副本

斯Ⅱ　斯道文庫蔵（伊藤有不為斎・戸川濱男旧蔵）天文一五年（一五四六）写本二冊　　拠本文庫蒐集引伸写真副本
足利　足利学校遺蹟図書館蔵〔室町〕写本二冊　　拠昭和卅四年本文庫撮影引伸写真副本
弘文　戸川濱男・弘文荘旧蔵〔室町末〕写元和五年（一六一九）付与識語本合一冊　　拠昭和卅五年本文庫撮影引伸写真副本
無窮　無窮会図書館蔵（井上頼圀旧蔵）〔近世初〕伝写天文五年（一五三六）書写清家本一冊　　拠本文庫蒐集引伸写真副本
書陵　宮内庁書陵部蔵〔南北朝〕写至徳三年（一三八六）識語本二冊　　拠昭和四〇年本文庫撮影引伸写真副本
梅沢　梅沢記念館蔵（戸川濱男旧蔵）應安六年（一三七三）写本二冊　　拠昭和卅五年本文庫撮影引伸写真副本及昭和五三年東京梅沢記念館刊原装影印古典籍覆製叢刊本
東急　大東急記念文庫蔵〔室町〕写本二冊　　拠昭和卅七年本文庫撮影引伸写真副本
斯Ⅰ　斯道文庫蔵〔南北朝〕写康應二年（一三九〇）識語本二冊
宋版　北京図書館蔵（常熟瞿氏鐵琴銅劍樓旧蔵）〔南宋〕建安虞氏家塾刊本　　拠〔民国〕刊上海涵芬樓影印四部叢刊子部所収本
道蔵　明正統刊道蔵本　　拠〔民国〕刊上海涵芬樓影印道蔵舉要本
敦煌　大英図書館蔵〔唐〕写零巻（存第三章―二〇章有欠）　敦煌出土スタイン蒐集本（S477）　　拠昭和五四年福武書店刊敦煌道經圖録篇所収図版
杏雨　杏雨書屋蔵（内藤湖南旧蔵）〔鎌倉末南北朝初〕写存巻上道經残巻一軸　　拠本文庫蒐集引伸写真副本
治要　羣書治要巻卅四所収本　宮内庁書陵部蔵〔鎌倉〕写金沢文庫本　　拠昭和一六年宮内省圖書寮刊影印複製本
六地　六地蔵寺蔵（室町末近世初）写単経本一冊　　拠昭和四二年本文庫撮影引伸写真副本及昭和六〇年汲古書院刊六地蔵寺善本叢刊第六巻所収本
陽Ⅱ　陽明文庫蔵〔近世初〕写単経本一冊

以上の対校諸本のうち、敦煌、杏雨は零巻、治要は節略本であり、校異はそれぞれの残存部分のみに限られる。また、六地、陽Ⅱの二本は単経河上公本であり、当然校異は経文に限られる。

経注文校異　上冊

1オ1　1老子道經上―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・東大・筑波・斯Ⅱ・足利・東洋・六地・陽Ⅱ・弘文？」①□□□□上―慶Ⅰ」①□□□□■―梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」②□□經上道―慶Ⅱ」②■■■■■―武内」②道徳眞經註巻之一―道蔵」
1ウ3　2河上公章句■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・東大・筑波・梅沢・東急・六地・陽Ⅱ・道蔵」①□□□□第一■―書陵・斯Ⅱ・慶Ⅱ・足利・東洋・弘文・杏雨・斯Ⅰ・宋版」②□□□□第一品―無窮」②■■■■■■■■■■■―武内」
3オ3　3體道■■第一―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■章□□―武内・東大」②道可道章□□―慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■■■―無窮・書陵・斯Ⅱ・足利・東急・杏雨・六地・陽Ⅱ」
6オ2注4謂經術政教之道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□□□■―慶Ⅰ」
6オ8注5非自然長生乃道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□■―道蔵」
6オ10注6以無爲養神―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①□无□□□―武内・東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」
7無叉安民―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①无□□□―武内・東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」
8含光蔵暉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・

筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□□□輝―道蔵」

9滅跡匿端―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・道蔵」①□迹□□―宋版」

10不可称道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・道蔵」①□□□■―斯Ⅰ・宋版」

7オ9注11謂冨貴尊栄高世之名■―」①□□□□□□□□也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

7ウ6注12非自然常在之名■―道蔵」①□□□□□□也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□□□□ノ□也―弘文」

7ウ7注13當如嬰児之未言―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・斯Ⅱ・足利・筑波・慶Ⅱ・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・道蔵」①□知□□□□―無窮」①□始□□□□―弘文」①□□□□■□□―慶Ⅰ」①□□瓔□□□□―陽Ⅰ・斯Ⅰ」②愛□瓔□□□□―宋版」

14鶏子之未分―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・無窮・東洋・書陵・東急」①雞□□□―斯Ⅱ・足利・弘文・慶Ⅱ・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②雞□■□□―梅沢」

15明珠在蚌中―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□蟀□―無窮・書陵・梅沢」①□□□蚌□―斯Ⅱ・杏雨」

16美玉處石間―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□□在□―道蔵」

8オ3注17内雖昭々―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・筑波・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□照□―弘文・足利・無窮・慶Ⅱ」

18外如愚頑者也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・杏雨」①□□□□之■―東急」①□□□□□□々―東洋（見消ち有り）」①□□□□□□矣―慶Ⅱ（字間に書写）」①□□□□■■■―斯Ⅰ」②□□□頭■■■―宋版」②□□頑愚■■■―道蔵」

8オ6経19無名―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□―武内」

8オ7注20無名者謂道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・梅沢・杏雨・宋版」①无□□□―慶Ⅰ・斯Ⅱ・斯Ⅰ」①□□■□□―書陵・東急・道蔵」②无□■□□―武内・東大・東洋」

21道無形―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①□无□―武内・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」

22故不可名也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□■―慶Ⅱ」

8オ8注23天地始者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・斯Ⅰ」①■■□□―武内・東大・慶Ⅰ・東洋（行間に加筆）・梅沢・東急・宋版・道蔵」

24道■■■吐氣布化―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・杏雨」①□■■也□□□□―陽Ⅰ・東洋・東急・斯Ⅰ」②□■本也□□□□―宋版」③□之本也□□□□―道蔵」

25出於虚無―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・東急・杏雨・道蔵」①□■□□―梅沢」①□□□无―武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・宋版」

26爲天地■本始■也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・筑波・東洋・書陵・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□□□■□□■■■―武内」①

□□□之□□■□■—斯Ⅱ・足利・弘文・慶Ⅱ・無窮・東急」①□□□■□□□者□■—道蔵」②□□□之□□■□之—梅沢」

8ウ2注27有陰陽—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ」①■□□—宋版・道蔵」

28有柔剛—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□剛柔—道蔵」

29是其■名也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・東急・杏雨・斯Ⅰ・道蔵」①□□有□□—梅沢・宋版」①□■有□□—東大」

8ウ5注30万物母者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□—東急」

31天地含氣—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□合□—陽Ⅰ」

32長大成就—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・道蔵」①□□□熟—斯Ⅱ・足利・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版」

33如母之■養子也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・道蔵」①□□□■□□□矣—慶Ⅱ」①□□□如□□□■—弘文」①□□□■□□■■—斯Ⅰ・宋版」

8ウ7経34故常無欲—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无□—武内・東大・慶Ⅰ・六地」

8ウ8注35妙■要也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□者□□—斯Ⅱ・足利・弘文・慶Ⅱ」

36人常能無欲—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①□□□无□—武内・東大・慶Ⅰ・東洋・斯Ⅰ」②□□已无□—慶Ⅱ」

37可以観大道■之要—活Ⅱ・武内・慶Ⅰ・斯Ⅱ・無窮・杏雨」①□□□■■□□—活Ⅰ・陽Ⅰ・東大・足利・筑波・慶Ⅱ・東洋・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□□■□々□□—弘文」②■□□■□■□□—道蔵」

38要—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ」①■—弘文・宋版」①妙—道蔵」

39謂■一也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□之□□—慶Ⅱ」

40一出布名道—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・足利・筑波・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□也—斯Ⅱ・弘文・慶Ⅱ」

9ウ6経41■常有欲—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①故□□□—武内・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ」

42以観其徼—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□—無窮」

9ウ7注43徼帰也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□皈□—武内・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋」

44■■常有欲之人—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①常也□□□□□—足利」①故■□□□□□—筑波」

45■可以観—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・杏雨・斯Ⅰ・宋版・

道蔵」①則□□□—東急」

46世俗之所帰趣也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・弘文・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□皈□□—武内・筑波・慶Ⅱ・無窮・東洋」

11オ4経47此両者同出而異名—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□■□□—武内・東大・慶Ⅰ・東洋」

11オ5注48有欲無欲也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①□□无□□—武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」

49同出者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■—慶Ⅱ」

50■同出人之心也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・足利・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨」①■□□■□□—斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」①有□□□□□—武内・筑波」①■■■□□□—慶Ⅱ」②■■□■□□—弘文」③謂□於□■□■—道蔵」

51而異名者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□名異□—東急」①■□□□—道蔵」

52所名各異也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□□々□□—斯Ⅱ」②□□曰□■—道蔵」

11オ6注53名無欲者長存—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・宋版・道蔵」①□无□□□—武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」

54亡身者也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ」①□□□矣—慶Ⅱ」①□□■□■—宋版」①□□■■■—道蔵」

11ウ2注55玄■天也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□者□□—慶Ⅱ」

56言有欲之人■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□者—東洋」①謂□□□□■—道蔵」

57与無欲之人—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・弘文・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□无□□□—武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・筑波・慶Ⅱ・斯Ⅰ」

58同受■気於天也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・梅沢」①□愛■□□□—慶Ⅰ・書陵」①□□於□□□□—斯Ⅰ」①□□■□□□■—東急・宋版・道蔵」

12オ8注59稟気有厚薄—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□薄厚—武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急」

60夫人得中和滋液—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・東洋・書陵」①■■□□□□—斯Ⅱ・足利・弘文・慶Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

61則生賢聖—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□聖賢—慶Ⅱ」

62得錯乱濁辱—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・東急・道蔵」①□□□□溽—武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・斯Ⅰ」①□□□汚□—宋版」

63則生貪淫■—筑波・道蔵」①□□□也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」

14オ5注64稟気有薄厚—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・東洋」①天□□□—陽Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急」①■□□□□—慶Ⅱ」①□□□厚薄—宋版・道蔵」②天□□厚薄—

斯Ⅰ」

65謂知道要之門戸者也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□和□□□□□□―書陵」①□□□□□□■□―宋版」①□□□□□□■■―道蔵」

16オ1 66養身■■第二―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■章□□―武内・東大・東洋」②天下■章□□―慶Ⅰ」②天下皆章□□―筑波・弘文・慶Ⅱ」②■■■■■■―斯Ⅱ・足利・無窮・書陵・東急・六地・陽Ⅱ」

16オ5注67有危亡也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□□者―慶Ⅰ」①□□巳□―斯Ⅰ」

16オ10注68人所■争也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■尚□―弘文」①□□故□□―無窮」

16ウ9経69故有無之相生―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急」①□□无□□□―武内・慶Ⅰ・六地」①□□□■□□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

17オ6経70難易之相成―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□■□□―宋版」①□□□□生―武内」

17ウ3経71長短之相形―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵」①□□■□□―斯Ⅰ・宋版」

17ウ4注72見短而為長也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□之相形□―道蔵」

17ウ7経73高下之相傾―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵」①□□■□□―斯Ⅰ・宋版」

17ウ8注74見高而爲下也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■■■―東急」

18オ1経75音聲之相和―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵」①□□■□□―東大・斯Ⅰ・宋版」

注76上唱下必和也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□□如□□―斯Ⅰ」

18オ2経77前後之相隨―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急」①□后□□―慶Ⅱ」①□□■□□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注78上行下必隨也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■―道蔵」

18ウ5経79處無為之叀―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□□□―武内・慶Ⅰ・六地・治要」①□□□■□―梅沢・陽Ⅱ」

18ウ7注80以身師導之也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□道□□―武内・書陵・治要」①□□□□□■―慶Ⅰ」①□□帥□□□―陽Ⅰ・東大・弘文」①□□帥之導□―斯Ⅱ」①□□□□■■―東急」②□□道■■―道蔵」

19オ8経81万物作焉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□■―斯Ⅱ」

19オ9注82各自動作也―活Ⅰ・活Ⅱ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ」①□□□■―陽Ⅰ・武内・東洋・東急・治要・道蔵（此の注、次の経文句下に有り）」①□□□■□―宋版」

19オ10経83而不辞―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘

文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□□－治要」

19オ11注84不辞謝而逆止也■－活Ⅰ・活Ⅱ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮」①□□□□□□之■－筑波」①□□□□□□之－梅沢」①□□□□□□之也－治要」①□□□□□□■■－陽Ⅰ・武内・東洋・書陵・東急・斯道Ⅰ・宋版・道蔵」

19ウ4注85元気生万物而不有也－活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・無窮・東洋」①无□□□□□□□－斯Ⅱ」①□□□□□□■－陽Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・梅沢」①□□□□□□□■－東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

19ウ6経86為而不恃－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□特－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ」

19ウ7注87不恃望其報也－陽Ⅰ・武内・東大・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・治要」①□特□□□－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・書陵」②□□■□□■－東急」②■□□■－道蔵」

19ウ8経88功成而不居－弘文・足利・斯Ⅱ・無窮」①□□□弗□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽明Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・書陵・東洋・梅沢・東急・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

19ウ9注89功成支就－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①成功□□－梅沢」

90退避不居其位也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□辟□□□□－東大」□□□□□■－東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

20オ7経91夫唯不居－」①□□弗□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①□惟□□－道蔵」②□惟弗□－宋版」②■■■■－斯Ⅱ」

注92夫唯功成不居其位也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ」①□□□□□□□□□□々－東洋」①□□□□□□□■－東急」②□惟□□□□□□■－宋版・道蔵」②■■■■■■■■■■■－斯Ⅱ」

20ウ1注93不去其身也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□□■－東急・道蔵」

20ウ2注94不言不可知－活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・宋版・道蔵」①□□□和－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東急・斯Ⅰ」

20ウ6注95君開一源－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①若□□□－道蔵」

20ウ7注96生百端百端之変－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□□■□■□－斯Ⅱ」①□■□□□□－斯Ⅰ」

97無不動乱也■－活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①无□□□■－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ」①□□□□■■－道蔵」②无□□□之－東洋」②无□□□■■－斯Ⅰ・宋版」

21オ1 98安民■■第三－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■章□□－武内・東大・東洋」②不尚賢章□□－筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文」②■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

21オ3注99賢謂世俗之賢－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□欲□□－足利」

100辯口明文離道行権－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅰ・書陵・東急・宋版・道蔵」①辨□□□□□□－陽Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・斯Ⅰ」①弁□□□□□□□－武内・東大・東洋」②■

■■■

道蔵」①□□慾－無窮」

117 去乱煩也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・東急」①□□□□之－梅沢・東洋」①□□□■■－斯Ⅰ・宋版」②□煩亂■■－道蔵」

23 オ7 経118 實其腹－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・杏雨・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□腸－慶Ⅱ」

注119 懐道抱一－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・杏雨・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□於□－斯Ⅰ」

23 ウ6 注120 不處権也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・杏雨・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■－慶Ⅰ・弘文・敦煌」

23 ウ8 注121 髄満骨堅也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□□□ミ－東洋（見消ち有り）」①□□□□■■－東大・弘文・足利・斯Ⅱ・宋版」①□□□陞□■－武内」①□□□賢□■－筑波」②□□□賢■■－慶Ⅰ」

24 オ4 注122 反朴守淳■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・無窮・書陵・東急」①□樸□□■□－慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・杏雨」①□□□□也ミ－東洋（ミに見消ち）」①□□□□■■－斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□撲□□之□－梅沢」②□樸□□■■－治要」

24 オ5 経123 使夫知者不敢為也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□□□□■－東洋」

24 オ9 注124 不輕言也■－活Ⅰ・活Ⅱ・東大・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・杏雨・東急」①□□□□之－梅沢」①□□□■■－陽Ⅰ・武内・書陵・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

24 ウ1 経125 為無為－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・杏雨・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□无□－武内・東大・慶Ⅰ・敦煌・六地・陽Ⅱ」

注126 動因循■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・書陵・東洋」①□□□之□－無窮」①□□修■□－足利（作「徃」）・斯Ⅱ（作「脩」）・杏雨」①□□□■■－筑波・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□□脩■■－治要」

24 ウ2 経127 則無不治矣－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・陽Ⅱ」①□无□□－武内・東大・慶Ⅰ・六地」①□□□□■－東洋・梅沢・敦煌（「則無」二字欠）・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

注128 徳化厚－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・杏雨・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①惠□□－治要」①□□原－弘文」①□□淳－敦煌」

129 百姓安■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・慶Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・杏雨・斯Ⅰ・治要」①□□□之■－武内」①□□□之□－梅沢・東急」①□□□■■－書陵・東洋・宋版・道蔵」

26 オ1 130 無源■第四－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□章□□－東大・東洋」②无□章□□－武内」②道沖章□□－慶Ⅰ」②道沖章□□－筑波・慶Ⅱ・弘文」②■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

26 オ2 経131 道沖而用之－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□冲□□－武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・東洋・杏雨・宋版」

26 オ4 注132 沖中也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①冲□□－武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・東洋・杏雨・宋版」

133 其用在中者也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・斯Ⅰ」①□□□□□之－梅沢」①□□□□■□■－無窮・東急」①□□□□■■■－宋版・道蔵」

26 オ5 注134 或常也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘

文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①域□□―足利」

135不盈満也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨」①□□□■之―慶Ⅱ」①□□□□之―梅沢」①□□□■■―武内・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

26オ7経136渕兮―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□乎―宋版」

26オ8注137道渕深―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□除―陽Ⅰ」

138不可知也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―敦煌・東急」

139似為万物■宗祖也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨」①□□□□□■■―東急」②□□□□之□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

26ウ4注140欲鋭情進取功名―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□精□□□―宋版」

141當挫止之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□上□―宋版」

142法道不自見也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・道蔵」①（欠）□■―敦煌」①□□□□■□―斯Ⅰ」②□□□□■■―宋版」

26ウ5経143解其紛―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□忿―敦煌」

注144紛結恨也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ・道蔵」①忿□□□―敦煌」①□□根□―宋版」

145以解釋之也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急」①□□□■―斯Ⅱ・無窮・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

26ウ7注146獨見之明―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□―足利」

147當如闇昧―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□知□―宋版」□□暗□―足利」

148不當以曜乱■人也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□擢□■□□―宋版」①□□□□□於□□―東洋」①□□□□■□■―敦煌」

26ウ9経149同其塵―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■―斯Ⅱ」

注150當與衆庶同垢塵―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□塵□□―斯Ⅱ・杏雨」②□□□塵洞□□―足利（洞右旁見消ち、眉上に「同」字を加筆）」②□□□□□■■―道蔵」

151不當自別殊■也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・杏雨」①□□□□之□―東急」①□□□□□■■―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」②□□□殊別■■―道蔵」

27オ2経152湛兮似或存―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□□□若□―宋版・道蔵」

27オ3注153道湛然安静―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①當□□□―宋版」

154故■長存―」①□能□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ・道蔵・宋版」

155不亡也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・杏雨・東急」①□□□之―梅沢」①□□人■―慶Ⅱ」①□已□■―足利」①□□■■―武内・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

27オ4経156不知其誰之子―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□■□□―宋版」

27オ5注157不知道所従生也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・杏雨」①□□□□□□之―梅沢」①□□□□□之也―東急」①□□□□□■■―慶Ⅰ・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□之矣―道蔵」

27オ7経158象帝之先―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□常□□―六地」

27ウ2注159道似存―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ」①□□在―敦煌」②□自在―宋版・道蔵」

160天帝之前―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□先―慶Ⅰ・足利・無窮・杏雨」②□□者先―弘文・斯Ⅱ」

161此言―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□―東大・東洋」

162先天地生也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■■―斯Ⅱ・杏雨・敦煌」

163至今存者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ」①□□在□―敦煌・宋版」①□□■□―道蔵」

164以能安静湛然不勞煩也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨」①似□□□□□□□―慶Ⅱ」①□□□□□□□■―武内・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

27ウ3注165欲使人脩身法道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急」①□□□□□■―敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

28オ1166虚用■第五―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□章□□―武内・東大・東洋」②天地章□□―慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文」②■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

28オ3注167任自然也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・杏雨・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①住□□□―慶Ⅱ」①□□□■―道蔵」

28オ7経168以万物爲芻狗―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・六地・敦煌・道蔵・治要」①□□□□芻□―武内・東大・弘文・梅沢・東洋・東急・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」

28オ8注169人最為貴―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■―治要」

28ウ3注170天地視之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―斯Ⅱ・無窮」①■■□□―治要」

171如芻草狗畜―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・敦煌・道蔵・治要」①□芻□□□―武内・東

大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□中□□—慶Ⅱ」

172不責望其■報也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ」①□□□□■□□之—梅沢」①□貴□□■□□■—宋版」①□□□□於□□■—弘文」①□□□□■□■■—敦煌・道蔵・治要」

29オ3注173愛養万民—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□物—筑波・梅沢」

174法天地■行自然者也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋」①□□■□□■□—慶Ⅰ・足利・梅沢・杏雨・無窮」①□□□■□□■■—敦煌・斯Ⅰ・宋版・治要」②□□□之■□□■□—東急」②□□□之□□■■—道蔵」

29オ4経175以百姓為芻狗—武内・東大・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□蒭□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・六地・敦煌・道蔵・治要」

注176如芻草狗畜—武内・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□蒭□□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・敦煌・道蔵・治要」

177不責望■其禮意■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・東急」①□□□■□□□者□—東洋」①□□□■□□□也之—梅沢」①□青□■□□□■□—筑波」①□□□■□□□■■—敦煌・斯Ⅰ・宋版」②□□於□□■■—道蔵」

29オ5注178万物自生—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□—弘文」

29オ6注179人能除情欲—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・東洋・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□慾—弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨」

180節滋味—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①却□□—道蔵」

181清五臓—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・道蔵」①□□蔵—武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」

182則神明居之也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□矣—東洋」①□□□□■—武内・慶Ⅰ・敦煌」①□□□□■■—道蔵」

29ウ1経183其猶橐籥乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□囊□□—敦煌」①□□□□兮—無窮」

注184橐籥中空虚■■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・書陵・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□虚空■■—武内・東大・東洋」①□□□□□无虚—斯Ⅱ」

185故能有聲気也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・東急」①□□□□□之—梅沢・東洋」①□□□□□■■—敦煌・斯Ⅰ・道蔵」②人□□□□■■—宋版」

30オ3注186無有屈竭—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版」①□□■□—道蔵」

187時揺動之益—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・斯Ⅰ」①□瑶□□□—筑波」①□□□■□—東急」①■□□□□—慶Ⅰ」①□動揺□□—宋版・道蔵」

188■出声気也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・東急・杏雨・無窮・斯Ⅰ・宋版」①■□□□之—梅沢」①時□□□□—慶Ⅰ」①■□□□■—敦煌・道

蔵」

30オ5経189多言數窮―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①夢□□□―足利」

30オ7注190有禍患也■―活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・東急」①□□忠□■―活Ⅱ」①□□□□之―梅沢」①□□□■■―敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

30ウ1注191愛気希言也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急」①□□□□□□之―東洋」①□□□□■■―敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

32オ1 192成象■■第六―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■■章□□―武内・東大・東洋」②谷神■■章□□―慶Ⅰ」②谷神不死章□□―筑波・慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

32オ2経193谷神不死―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①浴□□□―書陵」

注194谷養也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①浴□□―書陵」①□□神―敦煌」

195則不死也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・宋版」①□□□■―敦煌・斯Ⅰ・道蔵」

32オ5注196謂五臓之神也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①□□蔵□□□―武内・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文？・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□蔵魂□□―東大」②□□蔵□□■―敦煌」②□□蔵■□□―道蔵」

197■腎蔵精―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①賢□□□―足利（見消ち有り）」②■脾□意―道蔵」

198脾蔵■■志―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」②腎□精與□―道蔵」

199五臓尽傷―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①□蔵□□―武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

200則五神去也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・無窮・書陵・東洋・杏雨」①□□□□矣―慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ」①□□□□■矣―梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■■―道蔵」

33ウ2注201言不死之道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□有―宋版」

202在於玄牝―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□―慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・杏雨」

203玄天也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□世―慶Ⅰ」

33ウ4注204從鼻入蔵於心―活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①徙□□□□―活Ⅱ」

205五気清微―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□徴―東急」

206其鬼曰魂―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□魄―敦煌」

207魂者雄也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□－弘文」

33 ウ5注 208於人鼻－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨・無窮」①■□□－東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

209與天■通－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□道□－道蔵」

34 オ1注 210從口入蔵於腑－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・書陵・無窮」①□□□□胃－武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

211五味－活Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急」①□性－活Ⅰ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

212濁■辱－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・弘文・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□乱□－梅沢」①□■溽－武内・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮」

213為形體－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①□□骸－武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

214骨肉－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□内－筑波」①□宍－敦煌」

215魄者雌也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■□□－道蔵」

216主出入－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・斯Ⅰ・宋版」①■□□－敦煌・東急・道蔵」

217於人口－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・道蔵」①■□□－敦煌」①□■□－宋版・道蔵」

218與■地通－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□天□□－宋版」

219口為牝也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□之－梅沢」①□□□■■－敦煌・道蔵」

36 オ1経 220謂天地之根－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□■□－宋版」

36 オ2注 221根元也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□天□－慶Ⅱ」

222是乃－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①乃是－道蔵」

223■天地之元気－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ」①通□□□□－杏雨・宋版・道蔵」

224所従往来也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ」①□□□□■－敦煌・宋版・道蔵」

36 オ4経 225綿々乎若存－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・六地・東急」①□□■□□－慶Ⅰ・梅沢・陽Ⅱ・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

36 オ6注 226呼吸喘息－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・道蔵」①□嗡□□－敦煌・斯Ⅰ・宋版」

227復若■無有■也－活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・書陵・杏雨・無窮・

東急」①□□■无□■□－武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」①□□■□□之□－梅沢」②□□■无□■■－陽Ⅰ・敦煌・宋版」②□□可□□■■－道蔵」

36ウ1 注228■急疾勤労也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□□□■－武内・敦煌」②爲□□□■－道蔵」

37オ1 229韜光■■■第七－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■■章□□－武内・東大・東洋」②天長■■章□□－慶Ⅰ」②天長地久章□□－筑波・慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■－足利・斯Ⅱ・書陵・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

37オ3 注230諭教人也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮」①□□□■－筑波」①論□□□－足利」①喻□□□－東急・斯Ⅰ・宋版」②喻□□■－敦煌」②教喻□□－道蔵」

37オ9 注231独■長且久者－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□能□□□－道蔵」

37オ10 注232以其安静■■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■□□■■－武内・東大・慶Ⅱ」①□□□□自然－道蔵」

233施不求報－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□■□－慶Ⅱ」①□□榮□－宋版」

37ウ1 注234自與也■－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮」①□□□之－梅沢」①□□之也－陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東洋」①與自□■－東急」①□□矣■－道蔵」①□□■■－敦煌・斯Ⅰ・宋版」

37ウ3 経235故能長生－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□自□－弘文」

注236長生不終也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■－敦煌」

37ウ5 注237後己也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ」①□□■■－敦煌・道蔵」①□□者□－宋版」

37ウ6 注238天下敬之－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□地□□－梅沢」①□□欲□－武内・筑波」

239為官長也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急」①□□□■－敦煌・斯Ⅰ」②□■□■－宋版・道蔵」

37ウ8 注240厚人也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①原□□－弘文」①□□■－敦煌・道蔵」

37ウ9 注241■■■神明－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①敬之如□□－道蔵」

242祐之若赤子－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□□－無窮」

243故身常存也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・道蔵」①□□□■－敦煌・斯Ⅰ・宋版」

38オ8 経244非以其無私耶－活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・無窮・東急・斯Ⅰ・弘文？」①□□□无□□－武内・東大・慶Ⅰ・敦煌」①□□□□邪－宋版」①□□■□□□－梅沢」②□□□无□邪－陽Ⅰ・六地」②□□■无□□－陽Ⅱ」②■□□□■－道蔵」

注245非以其公正無私■所致乎－活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・書陵・無窮・

宋版・道蔵」①□□□□□□无□■□□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・敦煌」①■□□□□□□不□□□—梅沢」②□□□□□□双■□□耳—東急」

38 ウ2 注246人所以為私者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ」①□□□□和□—筑波」①□■□□□□□—敦煌・宋版」②□■□■□□—道蔵」

247欲以厚己也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□原□□—弘文」

38 ウ3 注248無私而己自厚—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・書陵・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・道蔵」①无□□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・足利・東洋・敦煌・宋版」①□□□□□原—弘文」②无□□耳□□—慶Ⅱ」

249故能成其私■也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□□□■■—敦煌」①□□□□□者□■—筑波」①□□□□者□矣—慶Ⅱ」①□□□□□之矣—梅沢」

39 オ1 250易性■■第八—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■■章□□—武内・東大・東洋」②上善■■章□□—慶Ⅰ」②上善如水章□□—筑波・慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■—足利・斯Ⅱ・書陵・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

39 オ6 経251上善若水—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・書陵・東洋・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□如□—慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・無窮」

注252如水之性也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急」①□□姓□—慶Ⅱ」①□□□□■—慶Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・敦煌・道蔵」

39 ウ1 注253水在天為霧露—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□露々—筑波」

254在地■為泉源也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□衆□□—書陵」①□□而□□□—東大」①□□■□□□■—敦煌」②□□■□□■■—道蔵」

39 ウ5 経255而不争—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・無窮・六地・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①又□□—武内・東大・梅沢・陽Ⅱ・東急」

注256水獨静—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□争—陽Ⅰ・梅沢・無窮・東急」①□□殫—筑波・足利・斯Ⅱ・書陵」①□□殫—慶Ⅰ・弘文」

257流居之也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■—敦煌」①□□□矣—道蔵」

40 オ7 経258故幾於道矣—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」①□□□□■—斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注259水性—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■—梅沢」

260幾■与道同也—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・無窮・東急」①□于□□□—慶Ⅰ」①□■□□□■—陽Ⅰ・武内・東大・書陵・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

40 オ9 注261水性善喜於地—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□嘉□□—無窮」

262在草木之上—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①■□□□—宋版」

263即流而下—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・宋版・道蔵」①則□□□—斯Ⅰ」

40ウ1 注264 有似—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①在□—慶Ⅱ」

265 於牝動—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・宋版・道蔵」①■□□—斯Ⅰ」

266 而■下人■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□者□—筑波・梅沢」①□従□□■□—無窮」①□■□□■■—敦煌」

40ウ2 経267 心善渕—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①善心□—敦煌」

注268 水性空虚—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮」①□心□□—東急・敦煌」①□深□□—斯Ⅰ・宋版・道蔵」

269 渕深清明也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・無窮」①□□□□之—梅沢」①□□□□者也—東洋」①□□□□■—東急・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

40ウ4 経270 與善仁—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□人—道蔵」

注271 不與盈也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■—敦煌」

40ウ6 注272 水内影■照形—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□々□□—筑波」

273 不失其■情也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■□■—道蔵」②□□□物□■—敦煌」

40ウ9 経274 政善治—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵」①正□□—敦煌・斯Ⅰ・宋版」

40ウ10 注275 無有—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・無窮・東急・道蔵」①无□—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版」

276 不洗清且平也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□流□□□—足利」①□□□□■—敦煌」

41オ3 注277 能方能圓—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□—弘文」

278 曲直随形也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・無窮」①□□□之—梅沢」①□□□■—東急・斯Ⅰ・宋版・敦煌・道蔵」

41オ4 注279 應期而■動—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□上■□—筑波」①□□□能□—弘文」①□斯□■□—足利（右旁に見消ち、眉上に「期」字を加筆）」

280 不失天時也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・道蔵」①□□□□■—斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」②□□■□■—敦煌」

41オ7 注281 壅之則止—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□上—陽Ⅰ」

282 聽從人也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・

足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
①听□□□－慶Ⅰ」①□□□■－敦煌」
41オ9経283故無尤■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・
東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□■－武内・東大・慶Ⅱ・六地・
敦煌」①□□□矣－筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・無窮」
284無有－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・杏雨・東急・
道蔵」①无□－陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東
洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版」
285怨尤水者也－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅰ・足利・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・
斯Ⅰ・宋版・道蔵」①悪□□□－陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶
Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・東急」
42オ1
286運夷■■■第九－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
①□□■■章□□－武内・東大・東洋」②恃而■■章□□－慶Ⅰ」
②特而盈之章□□－慶Ⅱ・弘文」②恃而盈之章□□－筑波」②■
■■■■■■－足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・敦
煌・東急」
42オ3経287持而盈之－陽Ⅰ・東大・無窮・梅沢・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・道蔵」①恃□□□－活Ⅰ・武内・慶Ⅰ・筑波・足利・書陵・
東洋・杏雨・六地」①特□□□－活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ」
288不如其已－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・
東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□也－書陵」
注289持滿必傾－陽Ⅰ・東大・無窮・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵」①恃□□□－活Ⅰ・活Ⅱ・武内・慶Ⅰ・筑波・足利・書陵・
東洋・杏雨」①特□□□－慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ」
290不如止■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵」①□□□者□－東洋」①□□□之□－敦煌」
42ウ1経291揣而鋭之－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・
東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□捻□－敦煌」
42ウ3注292先揣之後－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・
斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵」①□惴□□－慶Ⅰ」①□■□后－筑波」
293必棄捐也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・
足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・東急」①□□指□－筑波」①□
□損□－梅沢・東洋」①□□□■－敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
42ウ6注294嗜欲傷神－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・
足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・
治要」①□慾□□－筑波・無窮」①耆□□□－道蔵」
295財多■累身也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・
慶Ⅱ・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・東急」①賤□■□□□■－足利
（左旁に見消ち、眉上に「財」字を加筆）」①□□■□□□之－梅
沢」①□□則□□□■－東洋」①□□■□□■■－弘文・斯Ⅰ・
宋版・敦煌・道蔵・治要」
44ウ3経296■自遺其咎－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・弘文・書陵・東洋・
梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・宋版・道蔵」①還□□□□－武
内・筑波・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・杏雨・斯Ⅰ」②還□□■□－
治要」
44ウ4注297夫富－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・
足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・
道蔵・治要」①大□－宋版」
298當賑貧貴－活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・
足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵・治要」①□□貪□－活Ⅱ」①■■■■－敦煌」
299當憐賤－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・足利・斯
Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」
①□□財－弘文」①□矜□－慶Ⅰ・敦煌・道蔵」
300被禍患者也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・書陵・
梅沢」①□□□■□－慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・杏雨・東

急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■―東洋（地脚に「也」字加筆）」
①□□□■■―敦煌・治要」②□□害■■―道蔵」
44ウ7 経301 退天之道■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・
東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□■―足利」①□□□□也―
治要」
44ウ8 注302 名跡称遂―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・
書陵・杏雨・無窮・敦煌・道蔵」①□迹□□―梅沢・武内・東大・
東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□□逐―弘文」
303 不退身避位―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵・治要」①□□■■□―弘文」①□□□辟□―書陵」
304 天之常道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・
宋版」①□□□□■―敦煌・道蔵・治要」
305 譬如―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・
足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・治要」①□■―道蔵」
306 月満則虧―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・
足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵・治要」①満月□□―梅沢」①因□□□―筑波」
44ウ9 注307 物盛則衰―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・
足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・道蔵・治要」①□□□哀―慶Ⅰ」
308 樂極則衰■也―活Ⅰ・活Ⅱ・東急」①□□□哀■□―陽Ⅰ・武内・
東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮・
斯Ⅰ」②□□□哀之□―梅沢」②□□□哀者□―東洋」②□□□
哀■■―敦煌・宋版・道蔵・治要」
46オ1 309 能為■■第十―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①
□□■章□□―武内・東大・東洋」②載營■章□□―慶Ⅰ」②載
營魄章□□―慶Ⅱ・筑波・弘文」②■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・
書陵・杏雨・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」
46オ6 注310 営魄魂魄也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・宋版・道蔵」①□
□■■□―無窮」①□■□■□―東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・
斯Ⅱ・書陵・梅沢・東洋・東急・杏雨・敦煌・斯Ⅰ」
46オ8 注311 ■當愛養之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・道蔵」①或□□□―梅沢」
46ウ2 注312 喜怒亡魂―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
①憙□□―弘文・無窮」②憙□巳□―足利（右旁見消ち「亡」
字を加筆）」
313 魂在肝■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・斯Ⅰ・
宋版・道蔵」①□□□肺―東急（右旁見消ち）」
314 魄在肺―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足
利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・道蔵」①□□肝―筑波」
315 美酒甘肴―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・
足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・道蔵」①□□□者―筑波」
316 腐人肝肺―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ」
①□□肺肝―足利」①□□膵□―宋版」①傷□□□―道蔵」
46ウ8 注317 魂静志道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・道蔵」①魄□□□―杏雨」
318 魄安修德■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ」
①□□□□壽―敦煌」①□□■得壽―宋版・道蔵」

319延年也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□矣—梅沢」①□□長■—敦煌」

46ウ9経320能無離乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□无□□—東大・六地・陽Ⅱ・敦煌」①□□□■—宋版」

47オ1注321則■長存也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ」①□■□□■—宋版・道蔵」②□身□□■—敦煌」

322一者道始所生—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・敦煌・東急・宋版」①□□□治□□—無窮」①□□■□□□—斯Ⅰ」①□□□徳□□—道蔵」

323太和之■精気也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨・無窮・斯Ⅰ・道蔵」①大□□■□□□—慶Ⅰ・東洋・宋版」①天□□■□□□—東大」①□□□元□□□—東急」①□□□■□□■—敦煌」

324曰一■布名於天下—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□以□□□□—弘文」①□□一□□□□—道蔵」①□□■□□下□□—敦煌」

47オ3注325地得一以寧—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■□—慶Ⅱ」

47オ8注326出為行—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□法—弘文」

327布施為徳—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□得—武内」

328一之為言—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅱ・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□—東大・梅沢・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」②■□□—書陵」

329至一—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ」①志□—宋版・道蔵」

330■無二也■—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・杏雨・無窮」①■无□□■—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ・宋版」①■□□□之—梅沢」①■□□□矣—東急」①而□□□■—道蔵」②■无□■■—敦煌」

47オ11注331■専■精気—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ」①■□守□□—宋版・道蔵」①能□■□炁—敦煌」

332形體能應物—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①□□□之—武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

333而柔順也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急」①□□■—敦煌・斯Ⅰ・宋版」①□□□矣—道蔵」

47ウ3経334能如嬰児乎—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵」①□□攖□□—陽Ⅰ・杏雨・斯Ⅰ」①□■□□□—敦煌」③□■攖□■—宋版」

47ウ4注335能如嬰児—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急」①□□攖□—陽Ⅰ・杏雨・斯Ⅰ・宋版」①■■■—道蔵」

336内無思慮—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急・道蔵」①□无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版」

337外無政支—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・書陵・梅沢・杏雨・無窮・

東急・宋版・道蔵」①□无□□—武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」②□无正□—敦煌」

338精神不去也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□之—梅沢」①□□□□■—敦煌・道蔵」

47ウ10注339使潔清也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□■—敦煌」①□□淨□—宋版」

340居玄冥之處—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■□—武内」

341謂之玄覧也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■—敦煌・道蔵」

48オ1経342能無疵乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□无□□—武内・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ・敦煌」①□□□■—宋版」②无能□□—東大」

48オ2注343■■■■■■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・道蔵」①淨能无疵病乎—東大・斯Ⅰ・宋版」

48オ9注344則國安也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急」①□□□■—敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

48オ11経345能無知乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①□无□□—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・六地・敦煌」①□□□■—宋版」①□□爲□—道蔵」

48ウ1注346治身者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■—敦煌」

347無令耳聞也—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・書陵・杏雨・無窮・東急」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■—道蔵」②无□□□■—敦煌」

348布德施惠—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□施德□—道蔵」①□施惠德—宋版」

349無令下知也—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・書陵・梅沢・杏雨・無窮・東急」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■—道蔵」②无□□□■—敦煌」

48ウ7注350天門—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■—敦煌」

351謂北極紫■宮—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・敦煌・東急」①□□□□微□—斯Ⅰ・宋版」②■□□□微□—道蔵」

352謂終始五際也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・杏雨・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□■—弘文・敦煌」①■□□□□□—道蔵」

49ウ1注353■■■天門—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅰ・無窮」①治身■□□—陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版」①於身■□□—東急」②治身之□□—道蔵」

354謂鼻孔—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□吼—弘文」

355謂呼吸也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■—敦煌・東急」

49ウ2 経356能為雌乎―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□無□□―道蔵」②□無□■―宋版」

49ウ3 注357當如應変―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅱ・書陵・東洋」①□■□□―慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・無窮」②■■□□―敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

358和而不唱■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・無窮」①□□□□之□―東急」①□□□□■■―敦煌・斯Ⅰ・宋版」①■□□□■□―道蔵」

49ウ6 注359言道明白―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□達□□―宋版」①□□□■―道蔵」

49ウ8 注360聴之不聞―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①听□□□―弘文」

361彰布之於十方―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②■□□■□□―敦煌」②□□■■□□―道蔵」

362煥々煌々也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①煖□□□―弘文」①煖□□□―足利」①□□□□■―敦煌」①□□□□矣―道蔵」

50オ4 経363能無知乎―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□无□□―六地・陽Ⅱ・敦煌」①□□□呼―無窮」①□□□■―宋版」

50オ5 注364無有能知―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版」

365道満於天下者也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・無窮・書陵・東洋・東急」①□□□□□□之―梅沢」①□□□□□□■■―敦煌・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□■矣■―道蔵」

50オ8 経366生之畜之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■―弘文」

注367道生万物而畜養■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□□□□□□之□―筑波・東急」①□□□□□之■―敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②■■■■■■■■■―弘文」

50オ9 経368生而不有―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■―弘文」

注369道生万物―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■―弘文」

370無所取有也―活Ⅰ・活Ⅱ・足利・無窮・書陵・東急」①无□□□―陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ」①□□□■―道蔵」②无□□■―武内・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」③无有所取■―敦煌」③■■■■■―弘文」

50オ10 経371為而不恃―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□時―梅沢」①□□□特―武内・東大・慶Ⅰ」

注372不恃■其報也―」①□□望□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□特望□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ」②□□望□□■―筑波・敦煌」

50オ11 注373道長養万物■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・

宋版・道蔵」①□■□□□長大－敦煌」

374 為器用也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□■－敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

50 ウ4 注 375 道行徳－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■□－道蔵」

376 欲使人如道也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■－敦煌」①□□□知□□－道蔵」

52 オ1 377 無用■■第十一－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■章□□□－武内・東大・東洋」②三十輻章□□□－慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文」②■■■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

52 オ3 経 378 三十輻－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①卅□－武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌」

379 共一轂－活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□轂－陽Ⅰ」

52 オ4 注 380 古者車－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□車者－筑波」

381 三十輻－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①卅□－武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌」

382 法■月數也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□同□□□－筑波」①□■日□□－慶Ⅱ・梅沢」①□■□□■－敦煌」

383 共一轂者－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■－斯Ⅱ」

384 轂中有孔－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□□□－弘文・斯Ⅱ・道蔵」

385 故衆輻■湊之－道蔵」①□□□共□□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・宋版」②□□□共□也－斯Ⅰ」

52 ウ7 注 386 五臟－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①□蔵－武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

387 神乃皈之也－慶Ⅱ・筑波・東洋」①□□歸□□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□歸□■－敦煌・道蔵」②□及帰□□－東大」

388 治國者寡能惣衆－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①■■■■■■■－道蔵」

389 弱共扶強■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□□□□之□－武内・筑波・梅沢」①嶋供□□■□－足利」②□□使□■－宋版」②■■■■■■－道蔵」

53 オ1 経 390 當其無－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无－武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ・敦煌」

53 オ2 注 391 無－活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①无－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版」

392 謂空虚也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□■－斯Ⅰ・宋版・敦煌」②爲□□■－道蔵」

393 轂中空虚—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①轂□□□—陽Ⅰ・東洋」

394 輪得轉行—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・道蔵」①□□□■—東急」②車□去□—宋版」

395 轝中空虚—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□—武内・慶Ⅰ・弘文・書陵」

396 人得載其上■—武内・足利・敦煌・道蔵」①□□□□也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」②□能□□也—宋版」

53 オ8 注397 為飲食之器■—斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□食飲□□■—敦煌」②□食飲□□也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」

53 オ9 経398 當其無有器之用—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ・敦煌」①■■■■■■■■—弘文」

53 オ1 注399 ■器中空虚—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①挺□□□□—東急」①■■■■■■—弘文」

400 故得有所盛受也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①■■■■■■■■—弘文」①□□□□□□■—宋版」②□■□□□■—敦煌」③□■□□■□■—道蔵」

53 ウ4 注401 謂作室屋■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢」①□空□■□—書陵」①□□□□之□—東急」①□□□□■■—敦煌・道蔵」②□□屋室■■—斯Ⅰ・宋版」

53 ウ5 経402 當其無—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・東洋・六地・陽Ⅱ・敦煌」

注403 言戸牖空虚—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□□□—道蔵」

404 人以得出入観視—」①□得以□□□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」②□得以□□■■—道蔵」

405 是其用也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□■—敦煌・宋版」①■■■■—道蔵」

54 オ2 注406 ■物■利於形—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①利□也□□□—宋版」②利□也□■□—道蔵」

407 ■器中有物—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①用□□□—宋版」①於□□□—道蔵」

408 恐其屋之破壊—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵」①□□□□懐—足利」①□□■□□—武内・東大・筑波・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

409 腹中有神—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・宋版・道蔵」①腸□□□—斯Ⅰ」

410 畏■形之消亡也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□■□□□■—敦煌」①□其□□□□■—東急」②□其□□□□之—梅沢」③□其□■□□■■—道蔵」

54 オ4 経411 無之以為用—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□□□

□－武内・東大・東洋・六地・陽Ⅱ・敦煌」

注412言虚無者－」①□□空□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・弘文・斯Ⅱ・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□空虚□－慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・東洋」①□室虚□－慶Ⅰ」

413乃可用盛受■物也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□■□■－斯Ⅰ」①□□□□万□□－武内・東大・敦煌」②□□□□□萬□■－宋版」③謂■■□□萬□■－道蔵」

414虚無－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□无－陽Ⅰ・武内・東大・筑波・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版」

415能制有形－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・宋版・道蔵」①■□□□－武内・東大・慶Ⅱ・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ」①者□□□－筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・東急」

416道者■空也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□虚□□－道蔵」

55オ1

417撿欲■第十二－活Ⅰ・活Ⅱ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□慾■弟□□－陽Ⅰ」①□□□章□□□－武内・東大・東洋」②五色章□□□－慶Ⅱ・筑波・慶Ⅰ・弘文」②■■■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

55オ5

注418貪淫好色－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□姪□□－筑波・敦煌」①□好淫□－道蔵」

419失明也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■－敦煌・道蔵・治要」

55オ9

経420五音令人耳聾－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□耳人□－東大」

55ウ3

注421好聴五音－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□聾□□－足利」①□听□□－弘文」

422不能聴－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□听－弘文」①■■■－治要」

423無声之－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵・東急・宋版・道蔵」①无□□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ」①■■□－治要」

424声■－敦煌・宋版・道蔵」①□也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①■也－治要」

55ウ6

経425令人口爽－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□■□□－弘文」

55ウ8

注426爽妄也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□亡□－敦煌・道蔵」

427人嗜於五味－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・治要」①□者□□□－東大」①□□■□□－宋版・道蔵」

428■■則口妄－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①■■□□亡－敦煌」②■■□■亡－道蔵」②於口□□亡－宋版」

429言失於道■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□□■■－敦煌・治要」①□□□□味□－宋版」②■□□□味■－道蔵」

56ウ6

注430精神散亡－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・

道蔵・治要」①□□□巳－足利」
431故發狂也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵・治要」①□□□■－敦煌」
57オ8注432難得之貨謂－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版・
治要」①□行□□□－東急」①■■■■■－道蔵」
433心貪意■■欲－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑
波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・道蔵・治要」①□□□玉心□－足利」
434不知厭足－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版・道蔵」①■■■■－治要」
435身辱也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵・
治要」①□□□矣－東急」①□□■■－敦煌」
57ウ4経436聖人為腹－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・
足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・宋版・
道蔵①□□□腸－筑波・斯Ⅱ・斯Ⅰ」
57ウ5注437養神明也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□■－
敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
57ウ8注438不妄視■■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・筑波・足利・斯
Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□□妄視■－東
大・慶Ⅱ・弘文・敦煌・宋版」②□□□妄視則－道蔵」
439泄精於外■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無
窮・斯Ⅰ」①洩□□■□－筑波・梅沢」①□□□□者□－武内・
東大・慶Ⅱ・書陵・東洋」①□□□□之□－東急」①□□□□■
■－敦煌・宋版・道蔵」
58オ3経440去彼取■此－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・
斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□取□－敦煌」
注441腹之養性也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①腸□□□□－東
洋・斯Ⅰ」①□□□□■－敦煌・宋版」②□□□神■－道蔵」
59オ1
442厭耻■第十三－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①
□□章□□□－武内・東大・東洋」②寵辱章□□□－慶Ⅰ・慶Ⅱ・
筑波・弘文」②■■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・
陽Ⅱ・敦煌・東急」
59オ5注443身寵亦驚－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵」①□□安□－弘文」
444身辱亦驚■－筑波・敦煌・宋版・道蔵・斯Ⅱ・弘文？」①□□□
□也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・無窮・
書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」
59オ11注445故皆驚也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・弘文？」
①□□□■－敦煌・道蔵」
59ウ3注446問何謂■寵－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」
①□□為■□－宋版」①□□□之□－道蔵」
447何謂■辱－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①□
為■□－斯Ⅰ・宋版」①□□之□－道蔵」
448寵者尊栄■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版」②□■□□也－道蔵」
449辱者耻■及身－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑
波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①□□
□之□□－弘文」①□□□辱□□－斯Ⅰ・宋版」②□■□辱也■－

道蔵」

450以暁■人也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版」①□□人□□―筑波」①□□■□■―斯Ⅰ・敦煌」③為□於□■―道蔵」

59ウ4経451寵為上―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・東急・斯Ⅰ」①■■■―陽Ⅱ・敦煌・宋版・道蔵」

注452寵為尊栄也―活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文」①□□□■―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」②■■■■―敦煌・宋版・道蔵」

59ウ5注453辱為下賤也■―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」①□□□□之―梅沢」①□□□□■■―陽Ⅰ・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

59ウ7注454得寵栄驚者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□者驚―道蔵」

455如臨■危也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・道蔵」①□□■□■―武内・東大・東洋・東急・敦煌」①□□深□□―宋版」

456冨不敢奢■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ」①□□□者□―梅沢」①□□□者■□―武内」①□■□□■□―慶Ⅰ」①□□□□■■―敦煌・宋版・道蔵」

60オ1注457失寵處辱也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■―武内・東大・東洋・東急・道蔵」

458■恐禍重来也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①敢□□□□―梅沢」①■□□□■―武内・東大・書陵・東洋・敦煌・道蔵」

60オ6注459得之■而驚―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①□□驚□□―弘文」①□□■■□―斯Ⅰ」①□□■若□―宋版・道蔵」

460失之而驚■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□■■―敦煌」①□□□者□―慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ」②□□■□者□―無窮」②□□■□■■―斯Ⅰ」②□□若□■■―宋版・道蔵」

60オ7注461何故畏大患至身也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□□□■―斯Ⅰ・敦煌」②□□□人若■□■―宋版」②■■■■■■■■―道蔵」

60ウ2経462吾所以有大患者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①五□□□□□□―筑波」①□□□□□□■―東洋・東急」①■■■■■■■■―弘文」

60ウ3注463坐吾有身―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①爲□□□―宋版・道蔵」

464■■憂其勤労―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①有身□□□―武内・東大・敦煌・宋版・道蔵」

465從欲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①縦□―武内・東大・東洋」①□辱―道蔵」

466遇禍患也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―敦煌・道蔵」

60ウ8経467及吾無身―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无□―東大・六地・陽Ⅱ・敦煌」①□無吾□―筑波・足利・斯Ⅱ・無窮」②□无吾□―慶Ⅰ・弘文」

468吾有何患乎―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□□□□■―宋版・道蔵」

60 ウ9 注469 吾無■身―活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・東急・道蔵・弘文?」①□无■□―陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・斯Ⅰ」②□无有□―東大・敦煌・宋版」

470 體■道自然―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□■■□□―陽Ⅰ・書陵」①□通□□□―斯Ⅱ」①□得□□□―敦煌・宋版」

471 出入無間―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□□无□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版」

472 當有何患也■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋」①□□□□之矣―梅沢」①□□□□之也■―東急」①□□□□矣■■―斯Ⅰ」①□□□□■■■―敦煌・宋版・道蔵」

61 オ6 経473 為天下者―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―陽Ⅰ・弘文・書陵・六地」

474 則可以―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・敦煌・斯Ⅰ・道蔵」①■□□―陽Ⅱ・東急」□□■―宋版」

475 寄於天下矣―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急」①□□□□■―東大・敦煌・宋版・道蔵」②□■□□■―斯Ⅰ」

61 オ7 注476 人君自貴其身―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□故□□□―敦煌」①□□■□□□―宋版・道蔵」

477 欲為天下■主■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東急」①□□□□■□者―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版」②□□□□之□者―道蔵」

478 則可寄立―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□―梅沢」①□□□止―道蔵」

479 不可以■久■―敦煌」①□□□■□也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□□長□也―慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢」③□□■■託也―道蔵」

61 ウ2 経480 愛■以身―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□身□□―筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ」②□身■■―敦煌」

481 ■為天下者―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・無窮・書陵・東洋・六地・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□□□■―陽Ⅰ」①以□□□―足利・斯Ⅱ・梅沢・陽Ⅱ・敦煌」

482 乃可以託於天下矣―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ」①□■□□□□□―東急」①□□□□□□■―敦煌・宋版・道蔵」

61 ウ3 注483 人君能愛其身―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■■―弘文」

484 非為己也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―敦煌」

485 以此德―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□□得―敦煌・斯Ⅰ・宋版」

486 為天下■主者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□□之□■―道蔵」

487 乃可以託其身―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘

文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□以可□□□—慶Ⅱ」①□□□□■□—道蔵」

488於万民之上—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」②□■□■□—道蔵」

489長無咎也—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・道蔵」①□无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□□□■—書陵」②□无□■—敦煌」

62オ1

490賛玄■■■第十四—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■■章□□□—武内・東大・東洋」②視之不見章□□□—慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文」②■■■■■■■—足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

62オ3注491無色曰夷—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋・敦煌」

492言一無—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・東洋・敦煌」

493彩色—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・書陵・道蔵」①綵□—武内・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・斯Ⅰ」①采□—梅沢・敦煌・東急・宋版」

494不可得視而見之也—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋」①□□□□□□■□—陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・書陵・梅沢・東急」①□□□□□□□■—敦煌・斯Ⅰ・宋版」②□□□而視■□矣—道蔵」

62オ4注495無声曰希—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・東洋・敦煌・斯Ⅰ」①□音□□—筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮」②无音□□—慶Ⅰ」

496言一—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□—弘文」

497無音声—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ」

498不可得聴而聞之也—活Ⅰ・活Ⅱ・無窮」①□□□□□□■□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□□□■—斯Ⅰ・宋版」①□□□□□■■—敦煌」②□□□听□□■□—弘文」②□■□□□□□矣—道蔵」

62オ7経499名曰微—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□徵—東急」

注500無形曰微—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・宋版・道蔵」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・東洋・敦煌・斯Ⅰ」①□□□徵—東急」

501言一無形體—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版」①□□无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・敦煌・斯Ⅰ」①□□□■□—道蔵」

502搏持而得之也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□□□也之—武内」①□□□□■□—東急」①□□□□□■—敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

62ウ7経503不可致詰—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□詰—足利・無窮」

注504謂夷希微也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版」①□希夷□□—足利」①□□□徵□—東急」①■□□□—道蔵」

505不可致詰者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

①□□□誥□—足利・無窮」

506夫無色—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版」①□无□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・東洋・敦煌・斯Ⅰ」①■□□—道蔵」

507無声—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ」

508無形—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ」

62ウ8注509當受之以静—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版」①□愛□□—武内・慶Ⅰ・筑波・弘文・東急」①■□□□—道蔵」

510強詰—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□誥—足利・無窮」①■□—敦煌・宋版・道蔵」

511問而■得之■—慶Ⅱ」①□■□□也—活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□■也—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢」①□□■□■■—敦煌」②□□能□■也—道蔵」

63オ2注512合■於三■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■□□者—弘文」①□而□□■—無窮」②■■■□■—道蔵」

513名之■—敦煌」①□□而—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□合而—道蔵」

514為一■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ」①□□之□—慶Ⅰ」①□□也之—梅沢」①□□■■—武内・東大・東洋・敦煌・宋版・道蔵」

63オ7経515其上不皦—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・斯Ⅱ・宋版・道蔵」①□□□皦—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□□□皦—足利」

注516不皦々—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・斯Ⅱ・宋版」①□皦□—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□皦□—足利」①□皎□—道蔵」

517光明■■■■■■■■■也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急」①□□■■■■■■■■■

524不可以宮商角徵羽聽■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□微□□■—慶Ⅰ・書陵」①□□□□□□□□听■—弘文」①□□□□□□□也—道蔵」

525一非形也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①非一□□—敦煌・宋版・道蔵」

526不可以長短大小度■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□□□□之□—斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□□■■—敦煌」①□□□□□□少□■□—弘文」①□□□□□小大□■□—道蔵」

63ウ7経527復皈—慶Ⅱ・筑波」①□歸—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

528於無物—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□—東大・慶Ⅰ・六地・敦煌」

注529復當皈之—武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」①□□歸□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急・宋版」②物□歸□—道蔵」

530於無實也—」①□□質□—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮」②□无質□—筑波・慶Ⅰ」②□□質■—慶Ⅱ・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」③□无質■—陽Ⅰ・東大・東洋・敦煌」③无於質■—武内」③以□質■—道蔵」

64オ1経531是■謂—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□以□—東大」

532無状之状—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□□□—慶Ⅰ・六地・陽Ⅱ・敦煌」①□將□□—筑波」

注533一無形状—活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌」①□□□質—弘文」

534作形状也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①形状作□—弘文」①□□□■—敦煌・道蔵」

64オ3経535無物之象—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□□□—東大・六地・敦煌」

注536言一無物質—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ」①■□□□□—宋版・道蔵」

537而能為万物—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□■□□□—敦煌・宋版・道蔵」

538設形象也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■—敦煌・道蔵」

64オ4経539是謂忽怳—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵・弘文?」①□□□恍—東大・敦煌」①□□□愰—慶Ⅰ」②□爲□恍—宋版」

64オ5注540言一—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①■□—宋版」

541忽々怳々■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□□恍□■—東大・敦煌」①□□愰□■—慶Ⅰ」①□□□□者—斯Ⅰ」②□□恍恍者—宋版」

542若存若亡—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・

斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
①□有□□―慶Ⅱ」①□□□已―足利（右旁に見消ち、眉上に「亡」字を加筆）」
543 不可■見■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□■□■■―敦煌」①□□■□之□―斯Ⅰ・宋版」②□□得□■■―道蔵」
64 オ8 経544 隨之不見其後―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」①迎□□□首―斯Ⅰ・宋版・道蔵」
注545 言一無影迹―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版」①□□无□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ」①□□□□跡―道蔵」②□□无景□―筑波」
546 不可得―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵・弘文？」①■□□―東大・慶Ⅱ・筑波・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急」
547 而隨也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□之―無窮」②□看■―敦煌・宋版」②□見■―道蔵」
64 オ9 経548 迎之不見其首―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」①隨□□□□後―斯Ⅰ・宋版・道蔵」
注549 一無端末―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□无□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」②□无□■―陽Ⅰ」②□端无未―敦煌」
550 不可預待也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□□□―東洋・東大」②■□須□□―武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」③■□須□■―敦煌」
551 除情去欲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

①□■□□―梅沢・敦煌」
552 一■自皈己也―武内・慶Ⅱ・弘文・東洋・斯Ⅰ」①□■□歸□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢」②□曰□歸□□―無窮」②□■□歸□■―東急・敦煌」②□■□歸之□―宋版」③■■□歸之■―道蔵」
64 ウ4 注553 執守古■道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」②□■□之□―道蔵」
554 主一―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①至□―武内・筑波」
555 以御■物―活Ⅰ・活Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」①□□■■―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・敦煌」①□□萬□―道蔵」
556 知今之當有一也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵」①□□■□□□―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□□■□□□■―敦煌」
64 ウ7 経557 能知古始―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①以□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
注558 謂■道之綱紀■也―」①□知□□□■□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋」②□知□■□□■□―宋版」②□知□□紀綱■□―道蔵」②□知□□□□者□―無窮・梅沢・東急」③□知□■□□者□―斯Ⅰ」③□知□■□□■■―敦煌」
559 顕徳■■■■第十五―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■■■章□□―武内・東大・東洋」②古之善■■章□□□―慶Ⅰ・筑波」②古之善爲士章□□□―慶Ⅱ・弘文」②■■■■

65オ2注560謂得道之君也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□■—敦煌」

65オ6経561微妙玄通—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①徴□□—東急」

注562志節微妙—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□□徴□—東急」①□□玄□—敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□妙—慶Ⅰ」

563精與天通也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■—敦煌・道蔵」

65オ7注564内視若盲—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□如□—道蔵」

565反聴若聾—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①及□□□—東大」①□听□□—弘文」①□□□聲—敦煌」

566莫知所長也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□■—敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

65ウ7注567謂下句也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■—敦煌・道蔵」

66オ2経568與■兮—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」①興■□—書陵・六地」①■豫□—東急・敦煌」②与豫□—足利（豫の右旁見消ちカ）」②屯豫□—道蔵」

569若冬涉川—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□河—筑波・梅沢」

注570與々兮—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・無窮・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□■□—弘文・東洋」①興□□—書陵」①与□■—足利」①豫豫□—敦煌・道蔵」②豫□■—東急」

571若■冬涉川—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□人□□河—梅沢」

572心■難之也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢」①□猶□□□—無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版」①□■□■□—東急」①□■□□■—敦煌・道蔵」

66オ4注573其進退—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■—道蔵」

574猶々■拘制—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□■抱□—慶Ⅱ・筑波」①□□■拍□—斯Ⅱ」①□□如□□—斯Ⅰ・敦煌・宋版」①□□若□□—道蔵」

575若人犯法—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□犯人□—弘文」

576畏四隣知之也—活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵」①□□□□□■—敦煌・東急」②□□□□己■—筑波」②□□鄰之知■—道蔵」

66ウ3経577儼兮其若客—武内・東大・筑波・東洋・梅沢・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□如□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地」

注578若客因主人—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮」①如□□□—武内・東大・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」②如□畏□□—宋版」②如□對□□—道蔵」

579無所造作也―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢」①□□□□■―敦煌」

66ウ4経580氷之將釋―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」①冰□□□―斯Ⅱ・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□―東洋」

注581渙者解散■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□也―道蔵」

582釋者消亡■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□也―道蔵」

583■除情去欲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□□敬―東大」①謂□□□―道蔵」

584日以空虛也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・道蔵」①□□□□■―梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版」

66ウ8経585敦兮其若樸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・陽Ⅱ・敦煌・東急・道蔵」①□□□□朴―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・斯Ⅰ・宋版」①□□□■□―梅沢」

注586敦者質厚■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□也―道蔵」

587樸者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・敦煌・東急・道蔵」①朴□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版」

588形未分■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□也―道蔵」

589外無―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□无―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ」

590彩文也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①采□□―東急」①□色□―武内・東大・東洋」①□□■―斯Ⅰ」②文采□―宋版」②采□■―敦煌」②文彩■―道蔵」

67オ2経591曠兮―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①曠□―筑波・書陵」①嚝□―足利」

注592曠者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①嚝□―足利」①曠□―書陵」

593寛大■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□也―道蔵」

594有德名功―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①□功名―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

595無所―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①无□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・敦煌・宋版」

596不包容也―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ」①□□客□―活Ⅰ・活Ⅱ」①□苞□□―慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①■□□―弘文」①□□■□―宋版・道蔵」②□苞□■―東急・敦煌」

67オ4注597守本真■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□舉□■―宋版」①□□□也―道蔵」

598不照然也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□昭□□—東急・道蔵」①□□□■—敦煌」②□昭□■—梅沢」

599 不自尊也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ」①□□導□—東洋（左旁「尊」字加筆）」①□□□■—東急・敦煌・宋版・道蔵」

600 ■■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①孰能—書陵」

601 孰能—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①敦□—足利」①■■—武内・慶Ⅰ・筑波・無窮・書陵・東洋・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

602 濁以■静之—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□止□—道蔵」

注603 孰誰也—活Ⅰ・活Ⅱ・斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」

604 誰能知—活Ⅰ・活Ⅱ・斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」①□□如—道蔵」①■■—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」

605 水之濁止—活Ⅰ・活Ⅱ・宋版・道蔵」①□■□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①■■■—敦煌」

606 而静之■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□■—筑波・弘文」①□□久—慶Ⅱ」①□清□■—東大」①□淨□■—宋版」①■■■—敦煌」

607 徐々■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■■—敦煌」①□□而—道蔵」

608 自清也■—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□之—梅沢」①□□■之—無窮」①□□■—陽Ⅰ・敦煌・道蔵」

609 孰能安—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□—敦煌」

610 以久■之—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・東急・斯Ⅰ」①□□■■—陽Ⅱ」①□□動■□—斯Ⅱ・敦煌・宋版・道蔵」①□□動々□—弘文」

注611 ■■■—活Ⅰ・活Ⅱ・宋版・道蔵」①孰誰也—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」

612 誰能■安静—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□々□—足利」

613 徐々以長生也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□□□■—敦煌」①□■□□□—斯Ⅰ」

614 ■不欲盈—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①動□□□—無窮」

注615 保此徐生之道者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①□□條□□□—慶Ⅱ」①□□□□□■—斯Ⅰ・宋版」②□□長□□□■—道蔵」

616 不欲奢泰盈溢也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□□■■□□□—足利」①□□□□□滿□—弘文」①□□□□□■—敦煌・斯Ⅰ・宋版」

68
オ1
注617不盈満之人―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□溢□□―武内・慶Ⅰ」①□□清□□―斯Ⅱ」

618能守弊―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□弊守―敦煌」①□□蔽―宋版」

619不■為新成―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□不□□―足利（「不」字左旁に見消ち）」①□■□雑□―敦煌」

620■弊者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①■蔽□―斯Ⅰ・宋版」①守□□―道蔵」

621匿光栄也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―敦煌」①□□盈□―道蔵」

622新成者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■―武内・東大・東洋・東急」

623謂貴功名者也―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□貴□□□―陽Ⅰ」①□□□□■―敦煌」②■□□■□―道蔵」②■□□□■■―宋版」

69
オ1
624皈根■■第十六―」歸□■■□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■章□□□―筑波」①歸□■章□□―武内・東大・東洋」②致虚極章□□□―慶Ⅰ・弘文」②至虚極章□□□―慶Ⅱ」②■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

69
オ2
経625至虚極也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋」①□□□■―梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」②致□□■―道蔵」

注626■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①致至也―道蔵」

627■道■人―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①得□之□―宋版」

628■損情去欲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・足利・無窮・書陵」①■捐□□―武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②能捐□□―敦煌」

629五内―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□藏―道蔵」

630清静―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・道蔵」①□浄―東大・足利・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」

631至於虚極也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□□■―宋版」②□■□□■―敦煌」

69
ウ3
経632守静篤也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・六地・斯Ⅰ」①□□□■―斯Ⅱ・梅沢・陽Ⅱ・東急・宋版・敦煌・道蔵」

注633守清静―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・道蔵」①□精□―慶Ⅱ」①□浄―東大・慶Ⅰ・斯Ⅰ・宋版」

634行篤厚也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ」①□□□■―慶Ⅱ・斯Ⅱ・梅沢・敦煌・東急・宋版・道蔵」

69
ウ7
経635万物並作―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・

斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□煎□―筑波」

注636並生也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□之―梅沢」

69ウ9経637吾以■観其復―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①五□■□□□―筑波」①□□是□□□―道蔵」

注638吾以観見―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―道蔵」②五□視□―筑波」

639無不皆―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌・斯Ⅰ」

640皈復其本■―慶Ⅱ・筑波・弘文・無窮・斯Ⅰ」①歸□□□■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・書陵・東急」①復皈□□■―東大・東洋」②復歸□□■―武内・梅沢」②歸■□□■―敦煌」③歸■□□也―宋版・道蔵」

641念重■本也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□■―敦煌」②■□其□■―道蔵」

70オ2注642芸々■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌」①□□者―武内・東大・筑波・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

643華葉■盛也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」①□□■□□之―梅沢」①□□之□□■―東洋」①□□■□■■―敦煌・斯Ⅰ・宋版」②花□茂□之貌―道蔵」

70オ3経644復皈其根―東大・慶Ⅱ・筑波」①□歸□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注645無不枯落―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・東洋・敦煌・斯Ⅰ」

646各復反其根―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□歸□□―慶Ⅰ」②■反復□□―道蔵」

647而更生也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―敦煌・道蔵」

70オ7経648皈根曰静―東大・慶Ⅱ」①歸□□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注649不復死■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・斯Ⅰ・宋版」①□□□之□―梅沢」①復不□■□―武内」①□■□■□―東大・東洋・東急」①□□□■■―書陵・敦煌・道蔵」

70ウ1経650静曰復命―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①是謂□□―敦煌・宋版」

651言■安静者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①玄■□□□―敦煌」①□能□□□―道蔵」

652為復還性命―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①謂□□□―道蔵」

653使不死也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―敦煌」②便□□■―道蔵」

70ウ4注654復命■■使不死―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□曰常□□□―敦煌」

655 此乃―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ」①是□―梅沢・東急」①■□―敦煌・宋版・道蔵」

656 道之所常行■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・道蔵」①導□□□■□―斯Ⅱ」①□□□□□■之―慶Ⅱ」①□□□□■■―梅沢・敦煌・宋版」

70 ウ5 注657 知道之所常行■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□者―道蔵」

658 則為明■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□□□者□―東洋」①□□□■■―敦煌・斯Ⅰ・宋版」

71 オ1 経659 妄作凶―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①忘□―慶Ⅰ」①萎□―宋版」

注660 道之所常行―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・宋版・道蔵」①□■□□□―斯Ⅰ」

661 ■妄作巧詐―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□□□誰―慶Ⅱ（眉上「詐」字を加筆）」①而□□□□―道蔵」

662 故凶■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□者□―筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮」①□□■■―敦煌」②而□■■―道蔵」

71 オ5 経663 知常曰容―活Ⅰ・活Ⅱ・東大・陽Ⅱ・敦煌」①□□曰□―陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地」①□□■□―東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注664 道之所常行―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□□―東急」①□□■□□―敦煌」

665 則■去情■欲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①□欲□□■□―無窮」①□■除□■□―道蔵」①□■□□忘□―斯Ⅰ」②■■□□忘□―宋版」

666 無■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・書陵」①无■■―陽Ⅰ・慶Ⅱ」①□■■所―足利・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」②无■■所―武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・無窮・東洋・敦煌・宋版」②□私則所―弘文」

667 不包容也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・弘文・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□苞□□―慶Ⅰ・筑波・足利・斯Ⅱ・梅沢・東急」①□匂□□―無窮」②□苞□■―書陵・敦煌」

71 オ8 注668 無■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・梅沢・東急」①无■―武内・東大・慶Ⅱ・東洋・敦煌」①□所―筑波・弘文・足利・無窮・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②无所―慶Ⅰ・斯Ⅱ」

669 不包容―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□苞□―慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急」

670 公正―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・東洋・梅沢・敦煌・東急・宋版・道蔵」①□政―筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ」

671 無私―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□―陽Ⅰ・武内・東大・東洋・敦煌・斯Ⅰ」①□和―書陵（左旁見消ち「私」字を加筆）」②无和―筑波」

672 衆邪■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・敦煌・東急・宋版・道蔵」①□□者―武内・東大・慶Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ」

673 莫當■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・

足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□也矣―慶Ⅰ」
①□□之□―東洋」①□□■■―敦煌・宋版・道蔵」
71 オ11 注674 公正―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東洋・
梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□政―弘文・足利・斯
Ⅱ・無窮」①□王―筑波」
675 無私則―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯
Ⅰ・道蔵」①无□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東
洋・敦煌」①□□■―宋版」②无和□―筑波」
676 可■為天下王―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑
波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・
斯Ⅰ」①□以□□□―宋版・道蔵」
677 形一■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・
宋版」①□□而靜―道蔵」
678 湊己躬■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
書陵・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■■―敦煌・道蔵」①□□□
之□―梅沢」①□□□者□―東洋」①□□身■□―弘文・斯Ⅱ・
無窮」②倭□身■□―足利」
71 ウ5 注679 則德合神明―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①■□□□
□―敦煌・斯Ⅰ・宋版」①□□洽□□―道蔵」
680 ■与天通也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①乃□□□□―武内・東大・慶
Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・
東急・斯Ⅰ」②乃與□□■―敦煌」②乃與□□矣―道蔵」③乃與
□子■―宋版」
71 ウ7 注681 合同也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘
文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵」①□□■―敦煌」
71 ウ10 注682 長久■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ」①□□也之―梅沢」
①□□之□―東洋」①□□■■―敦煌・宋版・道蔵」
71 ウ12 経683 歿身―慶Ⅰ・筑波・無窮・梅沢・陽Ⅱ」①没□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽
Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・六地・
敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
注684 能公能王―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・
道蔵」①□□□天―宋版」
685 無殃―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」
①无□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・敦煌」①
迭□―筑波」①□歿―無窮」①□殆―斯Ⅰ」
686 無咎―活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・
斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯
Ⅱ・東洋・敦煌」
687 乃與天地―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・
道蔵」①■■□□―敦煌」
688 倶歿―慶Ⅰ・無窮」①□没―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶
Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・
斯Ⅰ・宋版」②同没―道蔵」
689 ■不危殆也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・
弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①■
□□□■―敦煌」①無□□□□―無窮」①終□□□□―道蔵」
690 淳風■第十七―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①
□□章□□□―武内・東大・筑波・東洋」②太上章□□□―慶Ⅰ・
弘文」②大上章□□□―慶Ⅱ」②■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無
窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」
73 オ1
73 オ2 経691 太上―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・
足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・
治要」①大□―梅沢・六地・陽Ⅱ」
注692 太上―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・

足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①大□―梅沢」

693上古―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①大□―東急」①太□―敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

694無名號之君也―活Ⅱ・無窮・斯Ⅰ」①无□□□□―東洋・筑波」①□□□□■―治要」①□□■□□―活Ⅰ・弘文・足利・書陵・梅沢・東急」②无□■□□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・宋版・道蔵」③无□■□若□―陽Ⅰ」③无為■□□■―敦煌」

695下知■有之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□上□□―無窮」①□■■■■―慶Ⅰ」

696不臣支之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ」①□□□■―東急・敦煌・宋版・道蔵・治要」

697質朴淳也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・治要」①□利□□■―斯Ⅱ」①□□□■■―書陵・敦煌・道蔵」①□□□□也―東急」①□□□□之―梅沢」①□□■□■―斯Ⅰ・宋版」②□□烹■■―武内」

73ウ7経698親之誉之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・宋版・治要」①□■□□―斯Ⅰ」①□而□□―道蔵」

注699恩惠可称―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□德□□―斯Ⅱ」

700而誉之也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵」①□□■□―梅沢」①□□□■―武内・筑波・東洋・東急・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

74ウ1注701設刑法―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□形□―足利・梅沢」

702以治之也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□■―武内・東大・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□■□―道蔵」

75オ6注703禁多令煩―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①□□命□―書陵」①□□□須―宋版」

704不可皈誠―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・東洋・斯Ⅰ」①□□歸□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・梅沢・敦煌・東急・宋版・道蔵・治要」②□□歸識―足利（「識」字に見消ち）」

705故欺侮之■―敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・治要」①□□□者也―東洋」

76オ1経706信不足焉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□□■―斯Ⅱ」①有□□□―道蔵」

注707君信不足於下■也―活Ⅰ・活Ⅱ・東大・慶Ⅰ・無窮・東洋」①□□□□□□■―陽Ⅰ・武内・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□□□之□―梅沢」②■■■■■■■■―宋版・治要」

708■■■■■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・無窮・東洋・梅沢・宋版・治要」①則有巧詐民也―武内・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・書陵・東急・斯Ⅰ」①則有巧詐民■―東大・敦煌」①下則欺詐於上―道蔵」

76オ2経709有不信焉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・道蔵・治要①□□□■―東急・敦煌」②■■■■―宋版」

注710■■■■■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・無窮」①君信不足於下―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

711下則應之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①則下□□―東洋」

712欺其君也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□□■―敦煌・道蔵」

76オ9経713猶兮其貴言―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□□―書陵・六地」

注714太上之君―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□―東大」①□古□□―道蔵」

715猶々■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□■■―宋版」①□□然―敦煌」

716失自然也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□□□■―敦煌・斯Ⅰ・宋版」

76ウ5経717成功遂克―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」①功成事遂―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注718謂天下太平也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□■―慶Ⅱ・書陵・敦煌・道蔵」

76ウ6注719君上之德■厚―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急」①□■□□■□―敦煌」①□□□□淳□―梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

720反以為■自當然也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□只□□□□―宋版」①□□□■□□□■―東大」②乃□□■□□□■―敦煌」③□□□已□如□■―道蔵」

經注文校異　下冊

1オ1　721俗薄■■第十八―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■章□□□―武内・東大・筑波・東洋」②大道■章□□□―慶Ⅰ」②大道廢章□□□―慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

1オ2経722大道廢焉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①□□□■―敦煌・宋版・道蔵」

1オ3注723家■有孝子―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□々□□□―無窮」

724戸有忠臣―」①□□□信―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」②国□信―道蔵」

725仁義不見也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―武内・東大・筑波・東洋・敦煌・東急」②□□■□■―道蔵」

726大道廢■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□不用■―敦煌・斯Ⅰ・宋版」②□□不用而―道蔵」

727有仁義可傳道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①在□□□□□―無窮」①□□□□得□□―弘文」①□□□□□□耳―敦煌」①□□□□□■―宋版・道蔵」

1ウ7経728智惠出焉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①□□□■―敦煌・宋版・道蔵」

1ウ8注729賤德而貴言―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□□—道蔵」

730 賤質而貴文—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□□—道蔵」

731 為大偽奸詐也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□□□■—敦煌・宋版」②■□□□■—道蔵」

2オ9 経732 六親不和焉—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地」①□□□知□—弘文・東洋」①□□□□■—梅沢・陽Ⅱ・東急・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

2オ10 注733 六紀廃絶—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋」①□親□□—書陵・梅沢」①□□■□—東急・敦煌」①□□□紀—斯Ⅰ」②□絶■□—宋版」②□親■□—道蔵」

734 相収■養也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□牧■□□—東大・宋版」①□□■□之—書陵」①□□■□■—敦煌」①□□救□□—慶Ⅱ」①□■救□□—筑波」②□牧■□■—道蔵」

2ウ9 経735 國家昏乱焉—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ」①□□□□■—梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・敦煌・宋版・道蔵」

2ウ10 注736 政令不行—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①正□□□—敦煌」

737 邪僻争権—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□縱—慶Ⅱ」①□辟□□—道蔵」

738 忠臣—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□信—慶Ⅰ・筑波」

739 匡救其君■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急」①□□□也—斯Ⅰ・道蔵」②□正□□也—宋版」

3オ7 注740 此言—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□—弘文」

741 天下太平—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□大□—東急」

742 人尽無欲—活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・弘文?」①□□无□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・敦煌」

743 各自潔己—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□■□□—宋版・道蔵」

744 ■大道之世■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①故□□□□■—道蔵」①■□□□君—敦煌・斯Ⅰ」②■□□□■君—宋版」

745 仁義没孝慈滅—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①孝慈滅仁義没—道蔵」

746 日中盛明■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□□□時■—宋版」①□月□□■—道蔵」①□□□□而—東洋」

747 失光者也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・斯Ⅰ」①□□■□■—東大・東洋・東急」①□□□□矣—慶Ⅱ・斯Ⅱ・梅沢」①□□■■■—敦煌・宋版・道蔵」

4オ1 748 還淳■■第十九—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

①□□■■章□□□－武内・東大・筑波・東洋」②絶聖■■章□□□－慶Ⅰ」②絶聖棄智章□□□－慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

4 オ2 注749 反初－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①復□－筑波・慶Ⅱ」

750 守元－活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□無－活Ⅰ」

751 五■帝－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■章－筑波」①□常□－東急（右旁見消ちカ）」

752 畫象－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①垂□－宋版」①□像－武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌」

753 蒼頡－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版」①倉□－武内・東大・東洋・梅沢・敦煌・東急・道蔵」

754 造書－活Ⅱ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮」①作□－活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

755 無文■也－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ」①无□■■□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・東洋」①□□者■□－梅沢」①□□■■■－東急・宋版」②无□■■■－敦煌」②□□而治□－道蔵」

5 ウ1 経756 棄智－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①弃知－東急」

注757 反■無為也■－活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ」①□■无□□■－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ」①□□■□□□■－東急・道蔵」②絶聖棄智章□□□－慶Ⅱ・弘文」②□■无□□矣－東洋」②□■无□■■－宋版」③□不无□■■－敦煌」

5 ウ2 経758 民利百倍－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①昏□□□－六地」①□□□陪－書陵」

注759 無私■也－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ」①无□■□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ」①□□也之－梅沢」①□□■■－宋版・道蔵」②无□■■－敦煌」②无□者□－東洋」②无和■□－筑波」

6 オ2 注760 絶仁之■見恩惠也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□□■□□□□－慶Ⅰ」①□□□■□□□■－東急・斯Ⅰ・宋版」②□□□之□□□■－敦煌」②□□□■□■■■－道蔵」

761 尚華言也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ」①□□□之－梅沢」①□□□■－敦煌」②□□信■－宋版」②□□■■－道蔵」

6 オ5 注762 徳化淳也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■－敦煌」①□□純□－道蔵」

6 オ7 注763 絶巧言詐偽乱真也－活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□□■□□□□－活Ⅰ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・東急」②□□■□□□□■－敦煌」②□□者□□□■－道蔵」②□□■□■■■□－治要」②■■■■■■■■－斯Ⅰ・宋版」

6 オ8 注764 ■■■■■■■■■■■■■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・道蔵・治要」①絶巧者詐偽乱真也棄利者－斯Ⅰ・宋版」

765 塞貪路－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・

治要」①□貧□—活Ⅰ・活Ⅱ」

766 閉權門■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□□□之□—梅沢」①□□□■■—東急・敦煌・道蔵」②■■■■□—治要」

6オ9 経767 盗賊無有—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无□—武内・東大・慶Ⅰ・六地・敦煌・治要」

注768 上化公正—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・治要」①□□□政—宋版・道蔵」

769 ■■無邪私也—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・書陵・梅沢・東急・治要」①■■无□□—陽Ⅰ・斯Ⅱ」①■■□耶心□—無窮」①■■□□□■—斯Ⅰ」②■■无耶□■—敦煌」②■下无□□—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ」②■下□□□■—宋版」③■下无□和□—筑波」③而下无□□—東洋」③■下□私邪■—道蔵」

6ウ3 注770 所絶棄也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□□奇□—東急」①□棄絶□—斯Ⅰ・宋版」①□□□■—敦煌」②□私弃■—道蔵」

6ウ4 注771 以為文不足者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■■■■—治要」

772 不足以教民也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①□□□□□■—敦煌・宋版」②□□□化□■—道蔵」

6ウ5 注773 當如下句也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵」①□□□□■—武内・東大・慶Ⅰ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

6ウ8 経774 見素抱朴—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・斯Ⅰ・宋版」①□□□樸—梅沢・陽Ⅱ・敦煌・東急・道蔵・治要」

注775 見素者當—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□—敦煌」①■■■■—治要」

776 見素—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・①抱□—武内・東大・東洋・宋版・道蔵・治要」

777 守貞—武内・筑波・慶Ⅱ・無窮・東洋」①□真—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

778 抱朴■者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□樸■□—梅沢・東急・敦煌・道蔵」①□□則□—慶Ⅱ」①■■■■—治要」

779 當抱—活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□見—活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・宋版・道蔵」②■見—治要」

780 其質樸—梅沢・敦煌・東急」①□□朴—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・道蔵・治要」②□篤朴—宋版」

781 以示■下■■法則也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東急」①□□■□■■□□■—武内・慶Ⅰ・東洋」①□□天□■■□□—梅沢・書陵」②□□■□故下□□■—斯Ⅰ」②□□■□故■□□■—宋版」②□□■□故可□□■—敦煌」③□□天□■可□□■—道蔵」③■■■■■■■■■■—治要」

7オ2 経782 少私—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急・宋版・道蔵・治要」①小□—梅沢・斯Ⅰ」

注783 正無私也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□无□□—武内・東大・慶Ⅰ・東洋」②□

无和□―筑波」②□无□■―敦煌」②■■■■■―斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

7 オ3 注784 ■■■■■■■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・治要」①少私者正無私■寡欲者―宋版」①少私者正無私也寡欲者―道蔵」

785 當知足也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―敦煌」①■■■■―治要」

8 オ1 786 異俗■■■第二十―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■■□廿―梅沢」①□□■■章□□□―武内・東大・東洋」①□偽■■章□廿―筑波」②絶学■■章□□□―慶Ⅰ」②絶学無憂章□□□―慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・敦煌・東急」

8 オ2 注787 絶学不真■不合道文也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」①□□□□而□□□□―東洋」①□□□□■□□□□■―梅沢・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

8 オ6 経788 無憂―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□―六地・敦煌」

789 除浮華―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□花浮―弘文」

790 無憂患也―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版」①无□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」①□■□□―足利」①□□□■―道蔵」②无□□■―敦煌」

8 ウ5 経791 唯之與阿―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・無窮・書陵・敦煌・宋版・道蔵・梅沢?」①□□□何―筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」

8 ウ6 注792 ■而相去―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①化□□□―書陵」

793 疾時■賤質而貴文■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急」①□□■□□□□□之□―梅沢」①□□■賊□□□■□―慶Ⅱ」①□□■□□□□□■―敦煌・斯Ⅰ・宋版」②□君□□□□■■―道蔵」

9 オ4 注794 善者称誉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□和□―宋版」

795 諫諍也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①□□■―武内・東大・敦煌・東急・斯Ⅰ」②□静■―東洋」②□争■―宋版・道蔵」

796 時■悪忠直―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□君□□―道蔵」

797 用佞邪■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□者□―筑波」①□□■■―敦煌」①□邪佞■□―宋版」②□邪佞■■―斯Ⅰ・道蔵」

9 ウ3 注798 謂道人也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□□■―敦煌・斯Ⅰ」

799 人之所畏者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋」①■□□□―慶Ⅱ・弘文」①□■□□□―梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

800 畏不絶学之君也―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□若□―陽Ⅰ」①□□□□□■―敦煌・道蔵」

9 ウ4 注801 ■■■■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①不可不畏—宋版」

802 近令色—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□危—梅沢・東急」

803 殺仁賢也■—武内・東大・筑波・斯Ⅱ・東洋」①煞□□□■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・弘文・足利・書陵・斯Ⅰ」①移□□□■—無窮」①□□□□之—梅沢」①□□□人■—道蔵」①□□□■■—慶Ⅱ・東急・宋版」②煞□□■■—敦煌」

9 ウ7 注804 ■言—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・道蔵」①或□—宋版」

805 世俗■人—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□之□—道蔵」

806 欲進学■文—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ」①□□□爲□—宋版」①□□□邪□—道蔵」

807 未央止也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■—敦煌」

10 オ5 注808 熙々—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・敦煌・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□多—無窮」

809 ■■多情欲也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢」①■■々□□—無窮」①■■□□■—敦煌・東急」①淫放□□□—斯Ⅰ・宋版・道蔵」

10 オ8 経810 如享大牢—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・六地」①若□□□—梅沢・陽Ⅱ・東急」①□□太□—東洋・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注811 思大牢之具■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・敦煌」①□太□□□■—筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□□食—梅沢」①□□□□■食—武内・東大・東洋」②□太□□且■—東急」

812 意無足時也—活Ⅰ・活Ⅱ・足利・無窮・書陵・東急・宋版・道蔵・弘文？」①□无□□—陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・斯Ⅰ」①□□□■—梅沢・敦煌」

10 ウ2 経813 如春登臺—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・敦煌・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①若□□□—梅沢・陽Ⅱ・東急」

注814 万物感動—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□咸□—足利」

815 志意淫々也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急」①□□□□之—梅沢」②意志□□然■—斯Ⅰ・宋版・道蔵」

10 ウ5 注816 怕然安静—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□兮□—道蔵」

817 未有情欲之形兆也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□□□刑□□—東急」③無■□□■□□■—道蔵」

11 オ1 経818 如嬰兒之—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・六地・道蔵」①□瓔□□—陽Ⅰ・宋版」①若□□□—斯Ⅱ・梅沢・陽Ⅱ・東急」②若瓔□□—斯Ⅰ」

819 未殘—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①□咳—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①□孩—宋版・道蔵」

注820未能荅偶人之時■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①□□□□□□□者□—東洋」①□□□□□■□■□—東急・斯Ⅰ・宋版」②□□答□□■□■■—道蔵」

11オ8経821儡々兮—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ」①□■□—東急」①乗乗□—宋版・道蔵」

822其若無所皈—筑波・慶Ⅱ」①□□无□□—慶Ⅰ」①□□□□歸—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」②□□无□歸—武内・東大・足利・六地・陽Ⅱ」②■□□□歸—宋版・道蔵」③■□无□歸—斯Ⅰ」

注823我獨儡々—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□■□□—斯Ⅰ」②□■乗乗—宋版・道蔵」

824無所皈就也—筑波・弘文」①无□□□□—武内・東大・慶Ⅱ・東洋」①□□歸□□—活Ⅰ・活Ⅱ・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」②无□歸□□—陽Ⅰ・慶Ⅰ・斯Ⅱ」②无□□□■—斯Ⅰ」②□□歸□■—宋版」

11ウ1注825衆人■■餘財—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■■□賊—武内・慶Ⅱ」①□□■■余□—弘文」①□□皆有□□—道蔵」

826餘智—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①余□—弘文」

827以為詐■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ」①□□□之□—梅沢」①□□□者□—東洋」①□□□■■—弘文・東急・宋版・道蔵」

11ウ2経828■我獨若遺—活Ⅰ・活Ⅱ・東大・東洋・東急」①而□□□□—陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注829似於不足也—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①以□□□□—活Ⅰ・活Ⅱ」①□□□□者—東洋」①□我□□□—足利」

11ウ4経830愚人之心■哉—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急」①□□□也□—斯Ⅰ・宋版・道蔵」

11ウ6経831■■沌々兮—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・東急・斯Ⅰ・宋版」①■■□□乎—梅沢・陽Ⅱ」①■■范□□—足利」①■■純純□—道蔵」①我獨□□□—武内・東大・筑波」

注832無所分別也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・足利・無窮・書陵・東急」①无□□□■—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋」①□□□□□之—梅沢」①□□□□■■—道蔵」②无□□□■■—斯Ⅰ・宋版」

11ウ7経833俗人昭々—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」①衆□□□—道蔵」①□□照□—筑波・斯Ⅱ・書陵」

11ウ9経834我獨若昏—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□如□—武内・東大・筑波・東洋」

注835如闇昧也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□暗□□—道蔵」

12オ2経836俗人察々—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」①衆□□察—道蔵」

注837察々—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①■■—東急・道蔵」

838急且疾也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・

足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」
①□□■―慶Ⅰ」

12ｵ5注839悶々―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■―東急」

840無所割截也―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①无□□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋」①□□□□■―筑波」②无□□□■―陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版」②□□截割■―道蔵」

12ｵ8経841忽■兮―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□々□―弘文」①□■乎―梅沢・陽Ⅱ」

842■若海―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・道蔵」①其□□―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・斯Ⅰ」

注843忽々■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□忽兮―道蔵」

844如江海之流―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□洗―斯Ⅱ」①若□□□□―武内・梅沢・東急」②若海江□□―東大・筑波・東洋」

845莫知其所窮極也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□□□□―慶Ⅱ」①□□□□□□■―道蔵」

846漂兮―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・筑波・東洋・宋版・道蔵」①瀏□―陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」

847若無所止―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□□―慶Ⅰ・慶Ⅱ・六地」①□■□□―東大」

注848我獨漂々―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・筑波・東洋・宋版・道蔵」①□□瀏□―陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」

849若飛■揚―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□若□―宋版」②□□若場―道蔵」

850無所止也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・書陵・梅沢・宋版・道蔵」①无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・無窮・東洋・斯Ⅰ」①□□□■―東急」

851在神域也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□城□―足利」①□□□■―筑波・梅沢・道蔵」

12ｳ1注852以■有為也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□似□□―弘文」

12ｳ3経853■我獨頑―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・六地」①而□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注854無為■也―活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東急」①无□■□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ」①□□之□―梅沢」①□□■■―宋版・道蔵」②无□■■―斯Ⅰ」②无□也矣―東洋」

12ｳ5注855似鄙―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①鄙似―宋版・道蔵」

856若不逮也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・宋版・道蔵」①□□建□―東急」①□□遠□―斯Ⅰ」

12ｳ7注857我獨―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①■

■—道蔵」

858与人異也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」

①與□□■—道蔵」

12ウ8注859食用也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①貧□□—無窮」①□□■—東急」

860母道也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

①□□■—東急」

861■我獨—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」

①唯□□—道蔵」

862貴用道也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」

①□□■—道蔵」

13オ1

863虛心■■■第二十一—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■■□廿一—梅沢」①□□■■章□廿一—武内・東大・東洋」②孔德■■章□□□—慶Ⅰ」②孔德■容章□廿一—慶Ⅱ」②孔德之■章□□□—弘文」②孔德之容章□□□—筑波」②■■■■■■■■■—足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

13オ2注864■大德之人—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・書陵・東洋・梅沢・東急」①有□□□□—慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

865無所不容—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ」

866處謙卑也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」

②□□沖■—道蔵」

13オ4注867大德之人—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」

①太□□□—斯Ⅰ」

868世俗之所行—武内・東大・東洋」①□□■□□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□□■□■—斯Ⅱ」

869從於道也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

①□□□矣—筑波」

13オ7経870道之■為物—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□於□□—筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」

871唯恍唯忽—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□恍□□—慶Ⅱ・六地」

注872獨恍忽—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□□—陽Ⅰ・書陵」②独恍急—慶Ⅱ」

873往来於其■■所■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□■无□定□—宋版」②□□□中無□定□—慶Ⅱ」③□□□□中无□定■—斯Ⅰ」③□□□而■無□定■—道蔵」

13オ9経874忽兮恍兮—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」

①□□恍□—慶Ⅱ・六地」①恍□忽□—道蔵」

875其中有象—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急」

①□□□像—斯Ⅰ・宋版」①□□□物—道蔵」

注876道■唯—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

①□独□－弘文」

877 忽怳無形－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□无□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・東洋・斯Ⅰ・宋版」②□怳无□－慶Ⅱ」②窈冥□□－道蔵」

878 無形之中－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①无□□□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ」①■■□□－宋版」②■■其□－道蔵」

13ウ1

879 為万物設法象也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□説□□□－筑波」①□□□□□■－弘文」②□□□□□像■－斯Ⅰ」③□□□■□像■－宋版」③有□□■□□■－道蔵」

13ウ6

880 怳兮忽兮－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」①恍□□□－慶Ⅱ・六地」①忽□怳□－道蔵」

881 其中有物－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□象－道蔵」

注882 道唯怳忽－活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□忽怳－陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵」②□□忽恍－慶Ⅱ」

883 因気立質也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ」①□□□□□之－梅沢」①□□□□■■－宋版・道蔵」

14オ3

注884 窈冥無形－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・梅沢・東急」①□□无□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□□■■－道蔵」

885 陰陽交會■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□□□之□－東急」①□□□□之■－道蔵」

14オ7

注886 言道精気－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□存□□－宋版」

887 ■神妙甚真－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①■其□□□－宋版」②道□□是□－斯Ⅰ」

14ウ1

注888 道匿功■名－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□□藏□－足利・宋版・道蔵」

889 其信－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□－慶Ⅱ・道蔵」①□神－慶Ⅰ」

890 在■中■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■□之□－梅沢」②□其□■■－道蔵」

14ウ3

注891 従古至今－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①自□□□－斯Ⅰ・宋版」

892 不去■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□者□－東洋」①□□■■－斯Ⅰ・宋版・道蔵」

14ウ5

注893 道禀與万物－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□□－道蔵」

894 ■■始生－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①万物□□－梅沢」①■■□－斯Ⅱ」

895 受気■也■■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東急」①□□之□■■－梅沢」①□□■■■■■－東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□始也－斯Ⅱ」

14ウ7

注896 我何以知従道受気也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶

Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」
①□□□□□□□■―書陵・宋版」②■■■

斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ」①□受■□―武内・東大・東洋・梅沢・東急・道蔵・治要」②□受取□―宋版」

914則得多也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・・東急・宋版・道蔵」①□□□■―斯Ⅰ・治要」

915天道祐謙神明託虚也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□□□□■―斯Ⅰ・宋版」②□□□□鬼神益□■―道蔵」②■■■■■■■■■―治要」

17オ5注916■財多者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要①則□□□―足利（見消ち有り）」

917惑於■守身―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①□□所□■―宋版・道蔵」

918惑於所聞■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・治要」①□□□□之□―梅沢」①□□□■―東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

17オ6経919■為天下式―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①以□□□―弘文・無窮」

注920抱守也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・道蔵・治要」①□□□也―筑波」①□□■■―東急・斯Ⅰ・宋版」

921式法也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・道蔵・治要」①法式□―東急・宋版」

922故能為天下■法式也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□■□□■□□□―弘文」②□□□□之□□■―道蔵」

17ウ6注923不以其目視千里之外也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・宋版」①□□□□□□□■―武内・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①■■■■■■■■■―治要」

924乃因天下之目―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□□自―慶Ⅰ」①■□□□□―治要」

925故能明達也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版」①□□□■―斯Ⅰ・道蔵・治要」

18オ3経926不自是故彰―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・道蔵・治要」①■■■■■―斯Ⅰ」

注927聖人不自以為是而非人―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□□■□□□□□―治要」①■■■■■■■■■■■―斯Ⅰ」

928故■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・書陵」①□能―武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵・治要」①■■―斯Ⅰ」

929彰顕於世■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」①□□□□者□―武内・東大・慶Ⅱ・東洋・梅沢」①□□□□矣■―道蔵」①□□□□■■―宋版・治要」①■■■■■■■―斯Ⅰ」

18オ6経930故有功―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□巧―足利」

注931伐取也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

①代□□－筑波」①■■■－治要」

932有功於天下也■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・治要」①□□□□□□之－梅沢」①□□□□□■之－慶Ⅱ」①□□□□□■■－武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

18ｵ9注933矜大也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■－治要」

934不自貴大－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□■□－慶Ⅱ」

935能■長久不危也－活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①□危□□□□□－慶Ⅱ」①□■□□□□■－陽Ⅰ・道蔵」②□■■□□□■－宋版」

18ｳ3経936夫唯不争－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・足利・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□惟□□－慶Ⅰ・弘文・斯Ⅱ・無窮」①□□□矜－道蔵」

937莫■與之争－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ」①□能□□□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

注938無能與不争者争也－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢」①无□□□□□□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□■与□□□□－東急」①□□□□□□□■－道蔵」②无□□□□□■－治要」

18ｳ8注939曲從則全身－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□□□□－慶Ⅱ」①□後□□□－筑波」①□□□□■－道蔵」

19ｵ1 940非虛言也－武内・東大・筑波・弘文・東洋」①□□空□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□空虛□－慶Ⅱ」①□□妄□－宋版」①□□■□－道蔵」

19ｵ5経941■誠全－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」①故□□－道蔵」

942而皈之－慶Ⅱ・筑波・無窮」①□歸□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注943誠實也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□之－慶Ⅱ」

944■能行曲從者－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①已□□□□－慶Ⅰ」

945實全其飢體－斯Ⅱ」①□□□肌□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□■□□□－宋版」②□■□肌□－道蔵」

946皈之於父母－武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅰ」①歸□□□□－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」

947無有傷害之■也－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・無窮・書陵」①无□□□□■□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・東洋」①□□□□□者□－梅沢」①□□□□□者■－東急」①□□□□■■□－宋版・道蔵」②无□□□■■□－斯Ⅰ」

20ｵ1 948虛無■■■第二十三－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■■□廿三－梅沢」①□□■■章□廿三－武内・東大・東洋」②希言■■章□□□－慶Ⅰ」②希言自然章□□□□－筑波」②希言自然章□廿三－慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

20ｵ2注949希言謂■愛言也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・道蔵」

①□□■■□□□—東急」①□□者是□□□—宋版」

950自然之道也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□■—斯Ⅰ・宋版・道蔵」

20オ4注951言疾則不能長—」①□□■□□□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」②■□■□□□—道蔵」

952暴不能久也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□■—梅沢」

20オ7経953天地也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・治要・梅沢（也、地字下字間に加筆）」①□□■—宋版・道蔵」

注954孰誰也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・宋版・治要」①■■—東急・斯Ⅰ・道蔵」

955誰為此飄風暴雨者乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版」①□□□□□□■□—斯Ⅰ」①□□□□□□□■—道蔵」①■■■■■■■■■—治要」

956天地之所為■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋」①□□■□□■□—東大・東急・道蔵」②□□■□□之□—梅沢」②□□□■■—斯Ⅰ」②□□■□□■—宋版」②■■■■■■—治要」

20ウ1注957不■終於朝暮也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□能□□至夕—道蔵」②■■■■■■■—治要」

20ウ2注958尚不能—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①■□□—筑波」

959使終朝至暮■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□從□□□■—道蔵」①□□□□□也—弘文」

960何況於人—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□□■□—斯Ⅰ・宋版」②■□■□—治要」

961■欲為暴卒■乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□□□■也—弘文」①■□□□之也—梅沢」①■□□□者□—治要」①■□□□疾■□—武内・東大」②■□□□疾者也—東洋」②而□■慕□■□—道蔵」

20ウ6経962從吏於道者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■—東急・治要」

注963從為也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■—治要」

964不當如飄風驟雨■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・治要」①□□□□□□者□—無窮」①□□□□□□也之—梅沢」①□□□□□□■■—斯Ⅱ・宋版」②□□□□□暴□■■—道蔵」

21オ2注965謂好道■人也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□□之□■—道蔵」

966所為—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□謂—宋版」

967與道同也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・道蔵」①□□■—東急・宋版」

21オ6注968徳者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・道蔵」①□■—武内・東大・梅沢・東急・宋版」

969謂好徳■人也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」③■有□之□□—道蔵」

970所為—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□謂—宋版」

971与徳同■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□之□—梅沢」

21ウ1注972失者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ」①□■—武内・東大・弘文・梅沢・東急・宋版・道蔵」

973謂■任己■失人也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□自□己而□□□—道蔵」

974■所為与失同也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①■□謂與□□□—宋版」②謂□□與□□■—道蔵」

21ウ4経975道亦樂得之—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□□□—斯Ⅱ・六地」

注976與道同者道亦樂得之■—斯Ⅱ」①□□□□□□□□□也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□□□□■也—弘文」②□□□□■■□□□也—慶Ⅱ」②■■■■■■■■■■—道蔵」

21ウ5注977與徳同者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①与得□□—慶Ⅰ」①■■■■—道蔵」

978徳亦樂得之■—」①□□□□也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②■□□□也—東大」②■■■■■—道蔵」

21ウ6経979同於失者失亦樂得之—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□■□□□□—東洋」①□□□□□□失□—宋版」①■■■■■■■—六地」

注980與失同者失亦樂得之■—」①□□□□□□□□也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」②□□□□□□□失□也—宋版」②■■■■■■■■—道蔵」

22ウ4注981應君以不信也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□□足□—宋版」②□之□□■—道蔵」

22ウ6経982有不信■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①□□□焉—宋版・道蔵」

注983■■■■■■■—活Ⅰ・活Ⅱ・宋版・道蔵」①下即應君以不信也—陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①下則應君以不信也—武内・東大・東洋」①下則應君以不信■—斯Ⅰ」①下■應君以不信■—東急」

984物類相帰■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□皈■—東大・慶Ⅱ・筑波・無窮・東洋」①□□□也—道蔵」

985■水流湿—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①風□□□—梅沢」

986火就燥■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□之□―斯Ⅰ」①□□□■■―宋版・道蔵」

987 ■■■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①自然之類■也―武内・慶Ⅰ・東洋・宋版」①自然之數■也―道蔵」①自然之類虚也―東大」

24 オ1

988 苦恩■■■第二十四―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①善思■■■□廿四―梅沢」②善思■■章第廿四―武内・東大・東洋」③跂者■■章□□□―慶Ⅰ」③跂者不立章■□□―筑波」③跂者不立章□廿四―慶Ⅱ・弘文」③■■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

24 オ2 経

989 跂者不立―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵①跂□□□―足利」

注

990 跂■進也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①跂■□□―足利」①□者□□―東洋」

991 貪権慕名―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□冒□―道蔵」

992 取功栄也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―武内・東大・梅沢・東急・道蔵」①□□名■―東洋」

993 ■■則―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①如此□―東急」

994 不可■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□以―武内・東大・筑波・東洋・斯Ⅱ」②□能以―東急」

995 久立身―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□□―東急」

996 行道■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□者□―東洋」①□□■■―斯Ⅱ・道蔵」

24 オ4 経

997 跨者不行―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①跂□□―武内」

注

998 自以■為貴―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□貴□―東大」

999 而跨■於人―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□之□―道蔵」

1000 衆共蔽之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□其□□―武内」

1001 使不得行■也―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・東急」①□□□之□―陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ」①□□□■■―宋版・道蔵」

24 ウ1 注

1002 ■人自―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①凡□□―道蔵」

1003 見其■形容―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□■□害―武内（右旁容字加筆）」②■□形□□―斯Ⅱ」

1004 見其所行―活Ⅱ・無窮・道蔵」①□■□□―活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」

1005 以為應道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・

治要」①□□人□－道蔵」

1006殊－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■－治要」

1007不自知其形醜■操行之鄙■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・治要」①□□□□□□■□□□□者□－東洋」①□□□□□□■□□□□■■－斯Ⅰ・宋版」②□□□□□□而□□□□■■－道蔵」

24ウ5注1008而非■人■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□於□■－無窮」①□□■□者－道蔵」

1009衆人共蔽之－活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・治要」①□■□□□－陽Ⅰ・慶Ⅰ・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1010使不得彰明也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・治要・梅沢（使不字間に「共」字有り）」①□□□□□■－宋版」③□□■□顯■－道蔵」

25オ1経1011自伐者－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□代□－筑波」

1012無功－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・六地・陽Ⅱ・治要」

注1013所為－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①□謂－宋版」

1014伐取其功美－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□－梅沢・東急」①□■■■■－治要」

1015則■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ」①即■－武内・東大・梅沢・東急・宋版・治要」①□又－足利」②即自－道蔵」

1016失■功於人■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■□■□■□－足利」①□■□□□者□－東洋」②□有□□□■■－道蔵」②□有□■■■□」治要」

25オ5経1017自矜者不長－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□務□□□－六地（地脚矜字加筆）」

注1018好自矜大者－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■□－治要」

1019不可以久長也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□□■□□□－筑波」①□□□□■－東急・斯Ⅰ・道蔵」②□■□□□■－治要」②□□□長久■－宋版」

25オ9経1020其於道也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■－慶Ⅰ」

1021日餘食贅行－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①自□□□□－六地」①曰□□□□－宋版・道蔵」

注1022日賦斂－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①曰然□－宋版」

1023餘禄食－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□－弘文」

1024 為貪行■也—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・筑波・無窮・東急」①□□□□者□—陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢」①□□□■■—斯Ⅰ・宋版・道蔵」

25 ウ3 注1025 動欲傷害—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□—弘文」

1026 故物無有—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□无□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」①□□□■—弘文」

1027 不畏悪之■也—活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・東急」①□□□□者□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢」①□□□■■□—斯Ⅰ」①□□□□■■—道蔵」②□□□地■■—宋版」

25 ウ4 経1028 故有道者不處■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①□□□□□也—宋版」

注1029 言有道之人不處其國也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□□居□□—斯Ⅰ・宋版」②□□□□□居□□■—道蔵」②■■■■■■■■■—治要」

26 オ1 1030 象元■■第二十五—活Ⅰ・活Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■■弟廿五—梅沢」①□無■■■弟□□□—陽Ⅰ」①□□■■章□廿五—武内・東大・東洋」②有物■■章□□□—慶Ⅰ」②有物混成章□□□—筑波」②有物混成章□廿五—慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■■■■—足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

26 オ2 注1031 謂道■■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□也道—道蔵」

1032 無形混沌—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」①□□□純—無窮」

1033 在天地之前■—慶Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」②□□■□也—武内」

26 ウ4 経1034 独立而不改—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①猶□□□□—無窮」

注1035 寂者無音聲—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋」

1036 寥者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①寂□—慶Ⅰ」

1037 空無形—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋」

1038 独立者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①猶□□—無窮」

1039 無匹雙—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・宋版・道蔵」①无□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋」①□疋□—東急」①□■□—斯Ⅰ」

1040 化有常也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□■—宋版・道蔵」

26 ウ8 経1041 周行而不殆—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①同□□□—無窮・書陵・六地」

注1042 無所不入—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・

斯Ⅱ・東洋・宋版」

1043 在陽不燋―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①□□□焦―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1044 無不貫穿―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□□由□―道蔵」

1045 ■不危■殆也―活Ⅰ・活Ⅱ」①■□□■□■―斯Ⅰ・宋版」①而□□■□□―道蔵」①■□□不□□―陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」②■□殆不危□―武内・慶Ⅰ・筑波」

27 オ2 経 1046 可以為天下母―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□地□―無窮」

注 1047 如母之養子■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□□□者□―東洋」①□□□□■■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

27 オ6 経 1048 吾不知其名―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①五□□□□―筑波」

1049 故字之曰道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・六地」①■□□□□―東大・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注 1050 我不知―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋」①□□見―足利・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1051 道之形容―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□■□□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1052 従道之所生―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵」①□□■□□―武内・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□而■□―道蔵」

1053 字之曰道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■―道蔵」

27 ウ3 経 1054 強為之名曰大―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■名之□□―道蔵」

注 1055 不知其名之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1056 強■曰大―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□名□□―道蔵」

1057 大者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①■□―宋版」①■■―道蔵」

1058 高而無上―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・道蔵」①□■□□―東急」①□□无□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ・宋版」

1059 羅而無外―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・道蔵」①□□无□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・宋版」②□■不□―東急」

1060 無不―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①无□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅰ・宋版」

1061 包容―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・弘文・無窮・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①苞□―慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急」

1062 故曰大也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■—道蔵」

32ウ1注1063在上非若地常在下—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■■■■■■□—東急」

1064無常處所也—活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①无□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋・宋版」①□□□□■—道蔵」②无□□□■—斯Ⅰ」

33オ4注1065窮於無■窮—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・道蔵」①□□无■□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋」①□□□常□—東急（見消ち有り）」①□乎□■□—斯Ⅰ・宋版」

1066無所不通也—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□□□—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ」①无□□　□—斯Ⅱ」

33オ6経1067遠曰反—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□返—六地」

注1068言其遠—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□—弘文」

1069不超絶—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・筑波・東洋」①□起□—陽Ⅰ・慶Ⅰ・斯Ⅱ・書陵」①□越□—東大・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1070乃復反—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□■—宋版」

1071在人身■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・宋版」①□□■■—慶Ⅱ・道蔵」①□□□者□—東洋」①□□□中□—筑波・無窮・斯Ⅰ」

33ウ3注1072■■■■■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①包羅■天地—道蔵」①包羅諸天地—斯Ⅰ・宋版」

1073無■—活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①无■—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・東洋・治要」①□所—斯Ⅰ・宋版・道蔵」②无所—陽Ⅰ」

1074不容也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□■—武内・東大・東洋・梅沢・東急・道蔵」

1075無■—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①无■—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・治要」①□所—宋版・道蔵」

1076不蓋■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵・治要」①□□也—斯Ⅰ・宋版」

1077無■—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①无■—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ・治要」①□所—宋版・道蔵」

1078不載■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵・治要」①□□也—斯Ⅰ・宋版」

1079王■大者—活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□亦□□—活Ⅱ」

1080無■—活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①无■—陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・斯Ⅰ・治要」①□所—宋版・道蔵」

1081不制也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□■—東急・道蔵・治要」

33ウ10注1082■■■■■■■■■―――活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①四大道天地王也云々―宋版」

経1083而王居其一焉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①■□□□□―道蔵」

注1084王居其一■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□□□者□―東急」①□□□□■■―道蔵」

34オ5注1085法地安静和柔也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・斯Ⅰ・道蔵・治要」①□□□□柔和□―宋版」①□□□□□■―東大・弘文・書陵・東洋・梅沢・東急」

1086種之得五穀―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■■―治要」

1087掘之得甘泉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□衆―筑波」①□□□耳□―書陵（右旁甘字加筆訂正）」①■■■■■―治要」

1088■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①湛泊静形―慶Ⅱ」

1089■労而不怨■―活Ⅰ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①■榮□□□■―活Ⅱ」①有□□□□■―武内・東大・東洋」①■□□□□也―宋版」

1090不宣者也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□■■―治要」①□制□□―斯Ⅰ」②□制■□―宋版」②□置■■―道蔵」

34ウ5注1091天湛泊不動―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・宋版・道蔵」①□憺□□□―東急」②□憺怕□□―梅沢・斯Ⅰ」②■■■■■―治要」

1092施■而■不求報―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①於■□■□□□―武内」①□■■■□□□―東大・東洋・梅沢」①□■之■□□□―道蔵」②□無□所□□□―弘文」

1093生長万物―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①長生□□―東大」

1094無所収取也―活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・道蔵」①无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋」①□□□□■―東急・斯Ⅰ・宋版」②无□□□■―治要」

34ウ7経1095天法道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①■■■―筑波（以下経文二句並注欠）」

注1096天當法道以―活Ⅰ・活Ⅱ」①■道□■―陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・道蔵」②■■■□■―東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②■■■■■―治要」

1097清静不言―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①□淨□□―武内・東大・斯Ⅱ・宋版・道蔵」

1098陰行精気―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■―治要」

1099万物自■成也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■□■―治要」②□□□然生長―道蔵」

34ウ8注1100無所■法也―活Ⅰ・活Ⅱ・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□■□□―陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・東洋・治要」①□□可□□―弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・斯Ⅰ」②无□可□□―武内・慶Ⅰ・無窮」

36
オ1
1101 重徳■■第二十六―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■■弟廿六―梅沢」①□□■■章□廿六―武内・東大・東洋」②□為■■章□□□―慶Ⅰ」②□為輕根章□□□―筑波」②□為輕根章□廿六―弘文」②□為輕根章■廿六―慶Ⅱ」②■■■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

36
オ2
注
1102 則去神―」①□失□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

1103 草木之花葉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□■□□―道蔵」①□□□華■―宋版」②□本□華■―斯Ⅰ」②■■■■■■―治要」

1104 根■重―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□其□―武内・東大・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・東洋」①■■■■―治要」

1105 故■長存也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□■□□□矣―東急」①□能□□■―道蔵」①■■■■■■―治要」

36
オ5
注
1106 竜静故能変化―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■■■―治要」

1107 虎躁■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□静―慶Ⅱ（見消ち有り）」①■■■―治要」

1108 故■夭虧也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版」①□能□□―梅沢」①□■□虚□―武内」①□■吠□□―足利」①□■虧夭□―道蔵」①■■■■■■―治要」

36
ウ4
経
1109 君子終日行―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①聖人□□□―宋版・道蔵」

1110 不離輜重―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□輜□―梅沢・東急」

注
1111 輜静也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①輜□□―梅沢・東急」

1112 君子終日行―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①聖人□□□―宋版」

1113 ■不離―」①道□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1114 ■静與重也―」①其□□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・斯Ⅰ・宋版」①於□□□―武内・東大・東洋・梅沢・東急」②其輜□□□―足利」②其□□■―慶Ⅱ・書陵」③其□■□■―道蔵」

36
ウ10
注
1115 謂宮闕―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□官□―足利」①□営□―慶Ⅱ」

1116 后妃所居也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■―道蔵」

1117 遠避而不處也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■―道蔵」

37
オ6
注
1118 疾■時主―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□■□王―慶Ⅰ」②□其□■―道蔵」

1119傷痛之■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」①□□□■■—武内・東大・梅沢・斯Ⅰ・治要」①□□□辞□—筑波」②□□□辞■—東洋・宋版・道蔵」

1120万乗之主謂王者也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□□□□■■—斯Ⅰ」①□□□□□□■■—宋版」②■■■■■■—道蔵・治要」

38ウ3経1121輕於天下—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・道蔵・治要」①□■□□—東急・斯Ⅰ・宋版」

注1122王者至尊而以其身行輕躁乎—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版」①□□□□□□

Ⅱ・無窮・書陵」①□□■―武内・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1138 擇言而出之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□□□■―斯Ⅰ・宋版」

1139 無瑕疵譴過―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅰ・宋版」②无□□適□―東洋」②无□□謫□―斯Ⅱ」②□□■謫□―道蔵」

1140 於天下也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□□□■―斯Ⅰ・宋版」

40 ウ3 経

1141 善計者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ」①□□■―宋版・道蔵」

注 1142 計叟者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①討□□―筑波」

1143 ■守一不移―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①則□□□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1144 所計不多―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□討□□―筑波」

1145 ■不用籌策―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①則□□□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1146 而可知也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□不□□―書陵」①□■□□―道蔵」

41 ウ3 経

1147 善閉者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□■―宋版」

1148 無関楗―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①无□□―東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ」①□開揵―無窮」①□□鍵―東急・道蔵」

注 1149 門戸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①閉□―斯Ⅱ」

1150 有関楗―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□開□―梅沢」①□□鍵―東急」①□□■―道蔵」

1151 ■可得開也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①不□□□―慶Ⅱ」①■□□□■―斯Ⅰ・宋版」

41 ウ7 経

1152 善結者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□■―宋版」

1153 無繩約―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・書陵・東洋・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□□―陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ」①□□幼―斯Ⅱ・梅沢」①□□紉―無窮・六地」

注 1154 乃■結其心―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□可□□―斯Ⅰ・宋版」

1155 可得解也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□之―梅沢」①□□□之也―筑波」①□□□■■―道蔵」

42 オ4 経

1156 聖人■■常善救人―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□々々□□□―慶Ⅱ」

注1157所以常教人忠孝者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□■□□□□―東洋」①□□□□□□■―慶Ⅱ・道蔵」

1158欲以救人性命也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・治要」①□□□□□□□之―梅沢」①□□□□□■■―東急・斯Ⅰ・道蔵」②□□□在□■■―宋版」

42オ7経1159故無棄人―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□□―六地・陽Ⅱ・治要」

42ウ4注1160所以常教民―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□□民教―無窮」①□□■□□―宋版・治要」②□□■■■―道蔵」

1161順四時者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版」①□□□■―斯Ⅰ・道蔵・治要」

1162救万物之■残傷也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①□□□□之□□□―慶Ⅰ」①□□□□■□□■―慶Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」②□□□□■傷残■―道蔵」

42ウ6経1163故無棄物―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□□―陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・六地・治要」

注1164聖人不賤石―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■□□□―治要」

1165視之如一■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□□者□―東洋」①□□□□■■―宋版・道蔵」②□■□□■■―斯Ⅰ」②■■■■■■■―治要」

43オ4注1166是謂襲明―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①■□□□―宋版」

1167大道■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■■―道蔵」①天□■□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢」②天□者□―東洋」

43オ7経1168善人者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□■―東洋」

1169不善人之師也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ」①□□□□■―東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■■□□□―治要」

注1170即以為人師■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・治要」①□□□□者□―東洋」①□□□□■■―斯Ⅰ・宋版」①□□□■□■□―弘文」①則□□□■□―道蔵」

43オ8経1171善人之■資也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・六地・陽Ⅱ」①□□■■□□―筑波」①□□□之□□―慶Ⅱ」①□□■■■―梅沢・東急・宋版・道蔵・治要」②□□■■□■―斯Ⅰ」

注1172行不善者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

1173聖人猶―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①■■□―道蔵」①□□獨―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」①□□■―治要」

1174教導使為善―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□道□□□―斯Ⅰ・治要」

1175 得以為給用也―活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・斯Ⅰ」①□■□□□―活Ⅰ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東急・宋版」①□□□□□■―治要」②□■□□■―道蔵」

44 オ2 注1176 獨無輔也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋」①□□■■―足利（此の二字大字経文に書写、右旁に小圏有り、見消ちか）」

44 オ4 注1177 無所使也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・斯Ⅱ・東洋・治要」

44 オ5 経1178 雖智大迷―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□知□□―道蔵」

注1179 乃大迷惑■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・道蔵」①□□□者□―東洋」①□□□或■□―足利」①■□□□■□―書陵」①□□□□■■―東大・斯Ⅰ・宋版・治要」

44 オ7 注1180 能通此意―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□□道―道蔵」

1181 謂知微妙要道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□智□□□□―東大」①□□□□□■―治要」

45 オ1 1182 反朴■■第二十八―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■弟廿八―梅沢」①□□■章□□□―筑波」①□□■章□廿八―武内・東大・東洋」②知其■章□□□―慶Ⅰ」②知其雄章□廿八―慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

45 オ2 経1183 為天下谿―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□溪―東急・治要」

注1184 雄以喩尊―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□諭□―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急」

1185 雌以喩卑―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□諭□―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急」

1186 自知其尊顕―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・道蔵」①■□□□□―弘文」①□□■□□―梅沢・東急・治要」②知自■□□―宋版」

1187 守之以卑微―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□■其□□―道蔵」

1188 去雄之強梁―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①□■□□□―宋版」

1189 就■雌之柔和―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□其□□□―道蔵」

1190 如是則―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■□□―治要」

1191 天下皈之―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・無窮・東洋・斯Ⅰ」①□□歸□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵・治要」

1192 水■之流―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①□水□□―慶Ⅱ」①□■■□―弘文・斯Ⅰ・宋版」①□■□游―道蔵」

1193 入深谿■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・

斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□溪■□―筑波・東急」①□□□者□―東洋」①□□□■■―東大・治要」②■□□■■―道蔵」

45オ9経

1194為天下谿―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□溪―東急・治要」

注

1195如深谿―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□溪―弘文・東急・治要」

1196不■離■己也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東急」①□■□■□□之―梅沢」①□復□■□□■―武内・東大・筑波・無窮・東洋」②□復□■□■■―治要」②□能□於□□■―道蔵」③□復□於□■■―斯Ⅰ・宋版」

45ウ1経

1197復皈―慶Ⅱ・筑波」①□歸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1198於嬰兒―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵」①□殪□―陽Ⅰ・宋版」①□攖□―斯Ⅰ」

注

1199復當―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□常―斯Ⅰ」①常復―宋版」

1200皈志―武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・東洋」①歸□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①復□―道蔵」

1201於嬰兒惷然―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□殪□□―陽Ⅰ・宋版」

1202而無所知也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版」①□无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋」①■□□□□―梅沢・道蔵」②■□□□■―東急」

45ウ6注

1203喻昭々―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①諭□□―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急」

1204喻默々―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①諭□□―武内・東大・筑波・梅沢・東急」①□點□―慶Ⅱ」

1205知昭々明達―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①□□□□白―宋版」

1206復守之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①■□□―道蔵」①□□■―弘文」

1207以默々―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□■―道蔵」①□點□―慶Ⅱ」

1208無所見―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ・治要」

1209可以為天下法式也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ」①□■□□□□□―東急・治要」②□■□□□□■―宋版・道蔵」

1210■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①則得常在―斯Ⅰ・宋版」①其德常在―道蔵」

46オ2経

1211常德不惑―活Ⅰ・活Ⅱ・足利」①□□□或―陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・治要・梅沢」①□□□式―宋版・道蔵」①□□□或―東洋」①□□□戒―東大」

注

1212為天下法式―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・

弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵・治要」①□□□■―斯Ⅰ・宋版」

1213 常在於己―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□■□―武内・東大・筑波・足利・東洋・東急・道蔵」

1214 不復■差惑也―活Ⅰ・活Ⅱ・足利」①□□■□或□―陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・治要」①□□■□戚□―東大」②□■■□或□―東急」②□□■□或■―東洋」②□□■□忒■―宋版」③□□有□忒■―道蔵」

46 オ5 経 1215 復皈―慶Ⅱ・筑波」①□歸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■―六地（以下四十二字欠）」

1216 於無極―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ」

注 1217 ■徳―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①復□―弘文」

1218 不差惑―活Ⅰ・活Ⅱ・足利」①□□或―陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・梅沢?」①□□忒―宋版・道蔵」①□□或―東洋」①□□戚―東大」①□□或―慶Ⅱ」

1219 長生久壽―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①久壽長生―道蔵」

1220 復皈身―東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・書陵・東洋」①□歸□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・足利・無窮・梅沢・東急」②■歸□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1221 於無窮極也―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版」①□无□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」②□■□□■―道蔵」

46 オ6 注 1222 喩尊貴―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①諭□□―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急」①□□■―治要（以下九字無し）」

1223 喩汙濁也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・道蔵」①諭□□□―武内・東大・梅沢・東急」①□□□■―斯Ⅰ・宋版」

1224 人能知―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①■□□―東大・東洋・宋版」②■■□―斯Ⅰ・道蔵」

1225 天下皈之―武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・東洋」①□□歸□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

1226 水流入於深谷■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・書陵・梅沢」①□□□□□者□―東洋」①□□□□□■焉―弘文・斯Ⅱ」①□□□■□■□―東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□□■■□□■□―治要」

46 ウ4 注 1227 常止於己也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□■―斯Ⅰ」②■□□■―宋版・道蔵」

46 ウ5 経 1228 ■復皈―慶Ⅱ・筑波・書陵」①■□歸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①徳□□―東大」

1229 於樸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・陽Ⅱ・東急・道蔵」①□朴―武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版」

注 1230 當■皈身―慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・書陵・東洋」①□■歸□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・無窮・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□常歸□―東急」

1231 於質樸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□□朴―武内・東大・筑波・東

洋・斯Ⅰ・宋版」

1232■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①散則―慶Ⅱ」

1233不■■為文飾也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・東急」①□■■□□□■―慶Ⅱ」①□復■□□□―武内・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋」②■復不□□□□―東大」②□復不□□□□―無窮」②□復■□□□■―梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

46 ウ7 経1234樸散則為器―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・陽Ⅱ・東急・道蔵」①朴□□□□―武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版」

注1235万物之樸―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□□■□―弘文」①□□□朴―武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版」

1236為器用也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―道蔵」

1237道散■為神明―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□則□□□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1238流為日月―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□□□―道蔵」

1239分為五行■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■■―武内・梅沢・道蔵」①□□□者□―東洋」

47 オ7 経1240用之則為官長―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□□―弘文・東洋・梅沢・陽Ⅱ」

注1241聖人升用―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□外□―斯Ⅰ」

1242為■百官之元長■―」①□■□□□□也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」②□散□□□□也―弘文」②□■□□□无□也―斯Ⅱ」

47 ウ1 注1243制御天下―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①御制□□―武内・東大・東洋・東急」

1244無所傷割―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急」①无□□□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋・宋版」①□□□害―道蔵」②无■復□―斯Ⅰ」

1245治身則以大道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵」①□□□天□―斯Ⅰ・宋版」

1246制■情欲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□御□―道蔵」

1247不害■精神也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□於□□■―道蔵」

48 オ1 1248無為■第二十九―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■□廿九―梅沢」①□□章□廿九―武内・東大・東洋」②將欲章□□□□―慶Ⅰ・筑波」②將欲章□廿九―慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

48 オ2 注1249欲為天下主也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①■■■■■■―道蔵（次経文句下に有り、次項参照）」

48 オ3 注1250■■■■■■

慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①將欲取天下欲爲天下主也而爲之―道蔵」

1251 欲以有為治民也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・治要」①□□□□□□■―武内・東大・慶Ⅰ・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

48 オ4 注1252 天道■悪煩濁―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□已□□□―無窮」

1253 人心悪多欲也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□□□□□■―武内・東大・弘文・東洋・斯Ⅰ・宋版・治要」

48 ウ1 経1254 不可為也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□■―慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・六地・東急」

注1255 天下之神物也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□□□■―武内・東大・斯Ⅱ・東洋」

1256 神物好安静―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①■■□□□―斯Ⅱ」

1257 不可以有為治■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・治要」①□□□□□□■■―梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□□□之■―武内」①□□□□□□之□―東大・東洋」

48 ウ4 経1258 為者則敗之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・六地」①□□■□□―無窮・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

注1259 敗■其質性■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□■□□□□■■―宋版・道蔵」①□則□□□■□―治要」

48 ウ6 注1260 強執取之―」①□□教□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

1261 ■則―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・道蔵・治要」①人□―斯Ⅰ・宋版」

1262 失其情■實―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・斯Ⅰ・治要」①□□■■□―陽Ⅰ・書陵」①□□□欲□―東急」①□□倩■□―宋版」②□■精■□―道蔵」

1263 ■生■詐偽■也―活Ⅰ・活Ⅱ」①■□■姦□■□―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①■□於□□■□―宋版」②■□■姦□者□―東洋」②是□■姦□■□―慶Ⅱ」②■□於姦□■□―斯Ⅰ」②■□於□□■■―道蔵」②■□於□譌■□―治要」

49 オ1 経1264 故物或行或隨―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・道蔵」①夫□□□□□―斯Ⅰ」

注1265 上所行■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□之―道蔵」

1266 下必隨之也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■―道蔵」

49 オ2 経1267 或呴或吹―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□呴□□―武内・東大・無窮・東洋・梅沢」

注1268 呴温也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯

Ⅱ・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■―東急」①□□―武内・無窮・東洋・梅沢」②□□湿□―東大」

1269 有所温―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□湿―東大」

1270 必有所寒也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―道蔵」

49 オ3 注 1271 有所強大―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□―慶Ⅱ」

1272 有所羸弱也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―道蔵」

49 オ4 注 1273 有所危也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

49 オ6 注 1274 與治身也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②■□□■―道蔵」

49 オ7 注 1275 謂貪淫声色也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①□□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1276 謂服飾飲食也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①□□□飯□□―慶Ⅱ」①□□□□■―宋版・道蔵」

1277 謂宮室臺榭也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①□□■□□―無窮」①□□□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1278 行無為―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□―東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・東洋・治要」②得天□―武内」

1279 天下自化■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・治要」①□□□者□―東洋」①□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

50 オ1

1280 倹武■■■第三十―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■■章□□―武内・東大・東洋」②以道佐■■章□□―慶Ⅰ」②以道佐人主章□□―慶Ⅱ・筑波・弘文」②■■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

50 オ3 経 1281 佐人主者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―治要」

注 1282 人主能以道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□■□□―東大・東洋」

1283 自輔佐也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□化□■―筑波」①□□□之矣―道蔵」①□□□■■―治要」

50 オ5 経 1284 強於天下―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①□■□□―宋版」

注 1285 以道自佐之主不以兵革―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□□□□□□韋―筑波」①■■■■■■■■■■■―治要」

1286 敵人自服也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□□■□―斯Ⅱ」①□□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

50 ウ4 注 1287 不怨於人也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」

①□□□□■—道蔵」

50ウ6経1288師之所處—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・道蔵・治要」①帥□□□—慶Ⅰ・慶Ⅱ」①歸□□□—斯Ⅰ」

注1289■農支廢—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①謂□□□—道蔵」

1290田不修也■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・東急・斯Ⅰ」①而□□□■—弘文」①□□□□之—梅沢」①□□□■■—宋版・道蔵・治要」

50ウ8経1291大軍之後—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□■□—武内・東大・東洋」①□□□后—慶Ⅱ」

1292必有凶年—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□叀—弘文」

注1293以悪気—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□鬼—筑波」①□殺□—道蔵」

1294害五穀—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①傷□□—道蔵」

1295五穀尽—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」①■□□—陽Ⅰ・慶Ⅱ・足利・書陵・斯Ⅰ」①■■■—治要」

1296則傷人■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□者□—東洋」①■□□■□—斯Ⅰ・宋版」①即□□■□—道蔵」①■■■■□—治要」

51オ1経1297故善者—武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急」①■□□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・六地・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

1298果而已■—活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□矣—陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・六地」

注1299行善■■者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」②■□■兵□—宋版」②■□用兵■—道蔵」

1300不休■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①□体■□—弘文」①□□之□—無窮」①□□■■—斯Ⅰ・宋版」②□美之■—道蔵」

51オ6経1301不敢以取強焉—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ」①敢不□□□□—慶Ⅰ」①□■□□□□—東急」①□□□□■—宋版・道蔵・治要」

注1302不■以—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□敢□—武内・東大・東洋・治要」

1303取強大之名■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□□者□—東洋」①□□□□□■■—治要」

51ウ1経1304果而勿矜—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□矜勿—東大」

注1305當果敢謙卑—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□謹□—斯Ⅱ」

1306■勿自矜大也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①忽□□□□□—斯Ⅱ」①■□■□□□—慶Ⅱ」①■□□□■—

治要」

51ウ2 経1307果而勿伐―活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□代―活Ⅱ」

注1308勿自伐取其美也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・道蔵」①乃□□□□□―宋版」①□□□甚□□―斯Ⅰ」①□□□□□義□―東大・書陵・東洋・梅沢」①□□□□□□■―東急」①□□□■■■□―治要」

51ウ3 注1309驕欺也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■―治要」

1310果敢勿以驕欺也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①■■□□□□□―治要」①□□□□□■□―筑波」①□□□□□□人―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

51ウ4 注1311當果敢至誠―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□□―慶Ⅱ」

1312不當■迫―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■道―無窮」①□□偪□―道蔵」

1313不得已也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―書陵・道蔵」

51ウ6 注1314勿以■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①□□為―斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

1315強兵堅甲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□牢―無窮」①□■■■―治要」

1316■■侵凌■人也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東急」①以■□□■□□―武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」②以■□□於□□―東洋」③以俌□清■□□―足利」

51ウ8 経1317物壯則老―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□―慶Ⅰ」

注1318草木壯極―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①屮□□□―武内・慶Ⅰ」

1319則衰老也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―道蔵」

1320不可以■久■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□□長□■□―武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢」②□□□長□者□―東洋」②□□□長□■■―足利」②□□□壯■■■―宋版」

51ウ9 注1321不行道也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□■―東急・道蔵」

52オ1 経1322不道早已―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・道蔵」①□□杲□―書陵」①□□□亡―梅沢・斯Ⅰ」

注1323早死也―活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急」①甲□□―活Ⅱ」①□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

53オ1 1324偃武■■第三十一―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■□卅一―梅沢」①□□■章□□□□―東大」①□□■章□卅一―武内・東洋」②夫飾■章□□□□―慶Ⅰ・筑波」②夫佳■章□卅一―弘文」②夫佳兵章□卅一―慶Ⅱ」②■■■■■■■■―

足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

53 オ2 経1325 夫餝兵者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ」①□佳□―東急・斯Ⅰ・道蔵」②□佳□■―宋版」

注1326 不善人之器也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■□□―斯Ⅱ」

1327 不當修餝也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①□□□□之―武内・東洋・斯Ⅰ・宋版」①□□□□而―慶Ⅰ」①□□□□■―東急・道蔵」

53 オ5 経1328 物有悪之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」①□或□□―武内・東大・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注1329 無有―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□―陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」②无无―武内」

1330 不悪之■也―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①□□□者□―東洋・東急」①□□□■■―陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

53 オ7 注1331 ■有道之人―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①言□□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢」

1332 不處其國也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋」①□□□□之―梅沢」①□□□■■―東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

53 オ8 経1333 ■■君子居則貴左―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・道蔵」①是以□□□□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・東洋・斯Ⅰ」①■■■■■■■■■―斯Ⅱ」

注1334 貴柔弱也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■―斯Ⅱ」

53 オ9 注1335 貴剛強也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□族□―慶Ⅱ」①□強剛□―筑波」

1336 與君子■道反―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□之□□―道蔵」

1337 所貴者異■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□之■―武内」①□□□□之□―東大・東洋・梅沢」②□□■■■□―道蔵」

53 ウ3 経1338 故兵者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東洋・六地」①■□□―東大・無窮・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注1339 兵革者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□事□―書陵」①■■■―道蔵」

1340 不善人之器也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・斯Ⅰ」①□□□□□矣―東急」①□□■□□□■―筑波・梅沢・宋版・治要」①■■■■■■■■―道蔵」

53 ウ5 注1341 君子之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵」①□□■―武内・東大・筑波・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■―治要」

1342 所貴重■器也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□□之□■―道蔵」②■■■■■■■―治要」

53 ウ7 経1343 而■用之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□而□□―慶Ⅱ」①□■□■―斯Ⅱ」

注1344遭衰逢乱―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①□□逆□―宋版」①□□□禍―道蔵」

1345禍欲加万民―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①亂□□萬□―道蔵」①■■■■■―治要」

1346以自守■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・治要」①□□□之□―東大・東洋」①□□□之■―武内」①□□□■■―筑波・東急・斯Ⅰ・宋版」②■□□■■―道蔵」

53 ウ10 経1347恬憺為上―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急」①□憺□□―足利・書陵」①□惔□□―武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・治要」①□淡□□―道蔵」

注1348不貪土地―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①■□□□―東大」①雖得勝■―道蔵」

1349■利人■財寶也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」①不□□■□□■―東大」①■□□■□□□之―梅沢」①■□□■□□■■―斯Ⅰ・宋版・治要」①■□□之□□■―東洋」①不以為美利■■■―道蔵」

54 オ1 経1350勝而不美■―活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□也―陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・六地」

注1351■不以為利美也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」①■□□□□□矣―東洋」①■□□□■■―梅沢・治要」①而□□□□□■―斯Ⅰ」②而□□□□己□■―宋版」②■□□□美利■■―道蔵」

54 オ3 経1352樂殺人也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・治要」①□致□□―武内・東大・東洋」①□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注1353為喜樂殺人■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□致□■□―武内・東大・東洋」①□□□□者□―斯Ⅰ・宋版」①□樂美□□■□―治要」②謂□□□□■■―道蔵」

54 オ6 経1354樂殺人者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□致□□―武内・東大・東洋」

1355不可■得志於天下矣―慶Ⅰ」①□□以□□□□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」②□□以□□□□□■―東洋」

注1356■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・治要」①為人君而―東急・宋版・道蔵」

1357樂殺人者―活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢」①□教□□―活Ⅰ」①□□■―東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■―治要」

1358此■不可使得志―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□則□□□□―道蔵」①■■■■■■■―治要」

1359制人■命―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□人■―筑波」①側□■□―足利」①□□性□―道蔵」①■■■■―治要」

1360妄■行刑誅■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①■□□■■―斯Ⅰ・宋版」①□■□誅戮■□―道蔵」②□■□則□■■―東急」②□不□□□者□―東洋」②■■■■■■■■―治要」

54ウ1 経1361 ■吉支上左―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・治要」①故□□□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・東洋」①■□□尚□―宋版・道蔵」

注1362 左生位也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□住□―弘文」①□□□■―治要」

54ウ2 経1363 凶支上右―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・治要」①□□尚□―宋版・道蔵」

注1364 陰道■殺人■也■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵」①□□■□□■□是以―慶Ⅱ」①□□■□□■■■■―東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□□之□■■―梅沢」①□□■■□■■■―治要」①□□■敦□■□■■―武内・東大」②□□■敦□者□■■―東洋」③□□主□■■■■■―道蔵」

54ウ6 経1365 ■■偏將軍―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・道蔵・治要」①是以□□―武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・斯Ⅰ」

1366 居左―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・宋版」①処□―慶Ⅰ・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」

注1367 居左者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□陽□―宋版・治要」②□陽位―道蔵」

1368 ■■以其―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵・治要」①陽者□□―斯Ⅰ」

1369 不專殺也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□敦□―武内・東大・東洋」①□□□■―慶Ⅱ・筑波」①■■■■―道蔵」

54ウ7 経1370 上將軍居右―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・宋版」①□□□處□―東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」

注1371 尊而―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①專□―筑波」①□■―治要」

1372 居右者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□位―道蔵」①□□■―治要」

1373 以其主殺也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ」①□□□□■矣―道蔵」①□□□敦□■―武内・東大」①□□■□□■―治要」①言□□□■―宋版」②□□□敦□矣―東洋」②主□■□□■―東急」

55オ2 注1374 上將軍於右―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□居□―道蔵」①■■■■■―治要」

1375 ■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①主喪禮―道蔵」

1376 喪禮上右―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・治要」①□□尚□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1377 死人貴陰也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■■■―治要」

55オ4 経1378 殺■人■衆■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・無窮・書陵・六地」①□■□之□■―東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■□■□多―筑波・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ」②敦■□之□■―東大」②□■□之□多―武内・道蔵」②□之□■□多―治要」

1379 以悲哀泣之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・宋版・

道蔵・治要」①□□□位□－足利」①■■□□□－斯Ⅰ」

注1380以道化人－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」①□□□民－道蔵」

1381害無辜之民也－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□无□□□－武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋」①□□□□■－道蔵」②□无□□□■－斯Ⅰ・宋版」②□无事□□□－陽Ⅰ・東大」③□无□□臣■－治要」

55オ10経1382戦勝■以喪禮處之－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・書陵・東洋・六地・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□則□□□□－慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・梅沢・陽Ⅱ・道蔵・治要」①□□利□□□□□－無窮」

注1383居喪主■之位－活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・治要」①□□■礼□□－陽Ⅰ・武内・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□□禮□□－宋版・道蔵」

1384素服而哭之－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□器□－筑波」

1385■誅不祥■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要」②而□□也－道蔵」

1386比於喪也－活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵・治要」①□□□■－斯Ⅰ」①□■□□－陽Ⅰ」

1387■■■■■■■■■■■■■■■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①知後世用兵不已故悲■痛之■－宋版」①知後世用兵不已故悲而痛之矣－道蔵」

1388聖徳■■■第三十二－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■■弟卅二－梅沢」①□□■■章□卅二－武内・東洋」①□□■■章■□□□－東大」②道常■■章□□□□－慶Ⅰ」②道常無名章□□□□－筑波」②道常無名章□卅二－慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

56オ2経1389道常無名－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□无□－武内・東大・六地」

注1390能張能存－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①■■■■－足利（此四字次経文句の上に大字にて書写）」

1391能亡－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□已－足利」

1392無常名也－活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□□□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・東洋・斯Ⅰ」

56ウ4経1393樸雖小－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東急・道蔵」①朴□□－武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」

注1394道樸雖小－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・筑波・東急・道蔵」①□朴□□－武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版」

1395微妙無形－活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□□无□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・東洋・斯Ⅰ」

1396天下－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□－道蔵」

1397不敢有臣使道者也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版」①□□□□□□■－斯Ⅰ・道蔵」

57
オ8
経
1398 若能守之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―慶Ⅰ」

注
1399 守道無為―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□无□―武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅰ・宋版」②□■■■―道蔵」

1400 従於徳化■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ」①□□□者□―東洋」①□□□□也之―梅沢」①□□□□■■―弘文・道蔵」①□□□■■□―宋版」

57
ウ4
注
1401 与天地相應合―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□■□□□―宋版」①□□□□■□―道蔵」

1402 天則―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①■□―斯Ⅰ」①□即―宋版」①則天―道蔵」

1403 下甘露■善瑞也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□□■―足利」①□□□■□□之―書陵」①□□□之□□□―武内・東洋」①降□□■□□□―道蔵」

57
ウ8
経
1404 民莫之令―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①人□□□―梅沢・陽Ⅱ」

1405 而自均焉―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急」①□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

注
1406 天降■■善瑞―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□甘露□□―道蔵」

1407 莫有教令之者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□殺□□□―足利」

1408 ■皆自均調―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①而□□□□―道蔵」①□□□□□―足利」

1409 若一也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②如□■―道蔵」

58
オ2
注
1410 有名万物也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版」①□□□□■―道蔵」

1411 道無名―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□无□―陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・斯Ⅰ」

1412 制於有名―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□―武内・東大・東洋・無窮・梅沢・東急」

1413 無形―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□―陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅰ」

1414 能制■有形■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①□□■□□之□―武内・東大・東洋」①□□■□刑■□―慶Ⅰ」①■□■□■□■□―東急」①□□於□□■□―斯Ⅰ・宋版」②□□於□□■―道蔵」

58
オ3
注
1415 有名之物―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―慶Ⅱ」

1416 盡有情欲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①益□□□―筑波」

1417 叛道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①類□―慶Ⅱ」

1418 身毀辱也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―東洋・道蔵」

58 オ5 注

1419 法道行徳―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①去□□□―宋版」

1420 将自知之■也―活Ⅰ・活Ⅱ・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」①□□□□■■―陽Ⅰ・武内・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□者□―東洋」

58 オ7 注

1421 則神霊祐助―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□明□□―道蔵」

1422 ■不復危殆■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・無窮・書陵」（上　欠）□―杏雨」①■□□□□■■―武内・東洋・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①則□□□■□―筑波・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ」②則□□□□之□―東急」②■下□□□■■―東大」

58 ウ1 経

1423 道之在天下―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□■□□□―梅沢・陽Ⅱ・東急」

1424 猶川谷之與■江海■―活Ⅰ・活Ⅱ・東洋・慶Ⅰ・無窮・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□□□□□■□也―陽Ⅰ・武内・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・書陵・六地」①□□□□■海江■―東大」①□□□■□■□■―梅沢・陽Ⅱ」②□□□□於□也―弘文」

注

1425 譬言―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・杏雨」①□■―武内・道蔵」①言□―宋版」

1426 道之在天下―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版・杏雨」①□■□□□―東急・道蔵」

1427 川谷之與江海■―活Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・杏雨」①□□■□□□■―活Ⅰ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・書陵・斯Ⅰ・宋版」②□□■□□□之―道蔵」

1428 流相通■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ・杏雨」①□□□之□―梅沢」①□□□■■―足利」①■□□■□―東急」①相流□■□―宋版」②相流□■■―道蔵」

59 オ1

1429 辨徳■■■第三十三―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ」□□■■■弟卅三―梅沢」①辯□■■■□□□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■■章□□□□―東大」①□□■■章□卅三―武内・東洋」②知人■■章□□□□―慶Ⅰ」②知人■智章□卅三―慶Ⅱ」②知人者■章□卅三―弘文」②知人者智章□□□―筑波」②■■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨・六地・陽Ⅱ・東急」

59 オ2 注

1430 是■智也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①□■□■―斯Ⅰ・道蔵・治要」②□爲□■―宋版」

59 ウ3 注

1431 知賢■不肖―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・治要・杏雨」①□□与□―斯Ⅰ・道蔵」

1432 是為■反―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要・杏雨」①□□外■―東洋・書陵」①□□外□―弘文」①□□反外―足利」①□□智□―慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波」①□謂■□―道蔵」

1433 聽無声―活Ⅰ・活Ⅱ・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵・杏雨」①□无□―陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・斯Ⅰ・治要」①听□□―弘文」

1434 内視無形―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・

宋版・道蔵・杏雨」①□□无□―武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅰ・治要」①□■□□―東急」

1435 為明■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵・治要・杏雨」①□□■―斯Ⅰ・宋版」①□□者□―東洋」

59 ウ5 注 1436 不過以■力也―活Ⅱ」①□□□盛□□―活Ⅰ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨」①□□□威□□―武内・東大・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要・慶Ⅱ?」②□□□威□■―筑波」③□□有威□■―道蔵」

59 ウ6 注 1437 勝■己情欲―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要・杏雨」①□除去□□―道蔵」

1438 天下無有―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵・杏雨」①□□无□―陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅰ・治要」

1439 能與己争者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要・杏雨」①□□■□□―道蔵」

1440 為強也■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・治要」①□□□矣也―梅沢」①□□■■■―杏雨・斯Ⅰ・宋版」②■□□■■―道蔵」

60 オ3 注 1441 知足■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵・杏雨」①□□之■■―斯Ⅰ」①□□之爲足―慶Ⅰ・弘文・足利・宋版」①□■之爲足―治要」

1442 則長保福禄―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□■□□□―治要」

1443 為富■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要・杏雨」①□者□―東洋」①□□■■―道蔵」

60 オ4 経 1444 強行者■有志―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□□則□□―治要」

注 1445 強力行善―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要・杏雨」①□人□□―弘文」①□立□□―道蔵」

1446 有意於道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・治要・杏雨」①□　□―斯Ⅱ」①□志□―道蔵」

1447 道亦有意於人■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・杏雨」①□□□□□之□―梅沢」①□□□□□■■―武内・東大・東洋・宋版」②□□志□□■■―道蔵」②■■■■■■■■―治要」

60 ウ4 注 1448 其所受天之精気―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・杏雨」①■□□□□□―東大」①□□愛□□□□―道蔵」①□□■■■■■■―治要」

1449 可以長久也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①□□□■―斯Ⅰ」①□□■□□―治要」②□□■□■―宋版・道蔵」

60 ウ5 経 1450 不妄者壽―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・杏雨」①□亡□□―斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」

60 ウ6 注 1451 目不妄視―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要・杏雨」①日□□□―陽Ⅰ」①自□□□―斯Ⅱ」

1452 耳不妄聴―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要・杏雨」①□□□听－弘文」

1453 口不妄語－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・治要・杏雨」①□□□言－東急・宋版・道蔵」

1454 無怨悪－活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵・杏雨」①无□□－陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・治要」

1455 故■長壽■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・治要・杏雨」①□■□□也矣－斯Ⅱ」①□■□□者□－東洋」①□■□□■－斯Ⅰ・宋版」①□得□□■□－道蔵」

62 オ1

1456 任成■■第三十四－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■□卅四－梅沢」①□□■章□□□□－東大」①□□■章□卅四－武内・東洋」②大道■章□□□□－慶Ⅰ」②大道氾章□□□□－筑波」②大道氾章□卅四－慶Ⅱ」②大道汎章□卅四－弘文」②■■■■■■■－足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急・杏雨」

62 オ2

1457 経大道－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・宋版・道蔵・杏雨」①■□－無窮・東急・斯Ⅰ」

1458 氾兮－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・杏雨」①汎□－弘文・道蔵」

注

1459 言大道－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・杏雨」①□■□－斯Ⅰ・道蔵」

1460 氾々－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・杏雨」①□■－斯Ⅰ」①汎汎－道蔵」

1461 若浮若沈－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・宋版」①□沈□浮－武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・杏雨」

1462 若有若無－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵・杏雨」①□□□无－武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・斯Ⅰ」

1463 視之不見－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・杏雨」①□□□有－道蔵」

1464 難殊也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①□□■－斯Ⅰ・宋版・道蔵」

62 オ4

注

1465 可左可右－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・杏雨」①□□■□－宋版」

1466 ■無所－活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵・杏雨」①■无□－陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅰ・宋版」①而□□－弘文・足利・斯Ⅱ」②而无□－慶Ⅰ」

1467 不宜也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①□□■－斯Ⅰ・宋版・道蔵」

62 ウ1

1468 経万物恃之－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□□特□－筑波」①□□持□－陽Ⅱ」

1469 而生－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①以□－梅沢」

注

1470 恃待也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①特□□－慶Ⅱ・筑波」

1471 皆待道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・杏雨」①□得□―弘文・斯Ⅱ」①□恃□―宋版」

1472 而生■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・無窮・書陵・東急」①□□者□―東洋」①□□之□―梅沢」①□□■焉―杏雨」①□□■■―斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

62 ウ2 注 1473 不辭謝■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□□□功―無窮」

1474 而■逆止之也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・杏雨」①□■□□■□■□―慶Ⅱ」①□■□□■□―武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版」①■■□□□―東急」②□■■□■■―道蔵」

63 オ1 経 1475 功成而不名有―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵・杏雨」①□□■□□□―斯Ⅰ・宋版」

注 1476 ■道―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①有□―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1477 不名有其功■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・杏雨」①□□□□者□―東洋」①□□□□□也之―梅沢」①□□□□□■■―筑波・慶Ⅱ」①□□其有□■□―斯Ⅰ・宋版」②□□其有□■■―道蔵」

63 オ3 経 1478 愛養万物而不為主―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□□□□■□□□―慶Ⅱ」

注 1479 不如■主人―」①□□■人主―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」②□常人主―無窮」

1480 有所収取也―活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・足利・杏雨」①□□□□■―斯Ⅰ・道蔵」①□□□聚□―陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急」②□□□聚■―武内・東大・東洋」②□□□集■―梅沢」②□□放□■―宋版」

63 オ4 経 1481 常無欲―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□无□―陽Ⅰ・東大・慶Ⅰ・六地・陽Ⅱ」

1482 可名於小矣―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵・杏雨」①□□□■―斯Ⅰ・宋版」

注 1483 ■■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①怕然静形―慶Ⅱ」

1484 道匿徳―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・杏雨」①□□跡―道蔵」

1485 怕然―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・杏雨」①泊□―東急・道蔵」①恒□―宋版」

1486 無為―活Ⅰ・活Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵・杏雨」①无□―陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅰ」

1487 似若微小■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・宋版・杏雨」①□□□□者□―斯Ⅰ」①□□□□■■―道蔵」①□□□少■□―筑波・梅沢」

63 オ9 経 1488 万物皈焉而―筑波・無窮」①□□歸□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□□□而焉―慶Ⅱ」

注 1489 皆皈道―武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波」①□歸□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・

宋版・道蔵・杏雨」

1490 受気■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・杏雨」①□□也―道蔵」①愛□■―弘文・斯Ⅱ」

1491 道非如―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①■□□―梅沢」

1492 人主有所禁止也―活Ⅰ・活Ⅱ・東大・筑波・弘文・足利・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・杏雨」①□□□□□■―道蔵」①□■□□□□―陽Ⅰ・武内・東洋・慶Ⅰ・斯Ⅱ・書陵」①■■□□□□□―慶Ⅱ」

63ウ2 経1493 可名為大矣―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・杏雨」①□□□■―斯Ⅰ・宋版」①□□於□□―道蔵」

注1494 使各自在―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・杏雨」①□名□□―東洋・筑波・斯Ⅱ・書陵・宋版」①各使□□―道蔵」

1495 故可名於大也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・杏雨」①□□□□□■―弘文」①□不若□□□―宋版」

63ウ4 注1496 不為■満大■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急」①□□■□□■■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■□□者□―東洋」①□□自□□■□―無窮」

63ウ7 経1497 故能成其大■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・筑波・無窮・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□也―慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・六地」

63ウ8 注1498 以身師導―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□師□―慶Ⅰ」①□□皈□―無窮」②□□率道―道蔵」

1499 故■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□能―宋版・道蔵」

1500 成其大■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□者□―東洋」①□□□■■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

64オ1 1501 仁徳■■第三十五―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■□卅五―梅沢」①□□■章□□□―東大」①□□■章□卅五―武内・東洋」②執大象章□□□―筑波・慶Ⅰ」②執大象章□卅五―慶Ⅱ・弘文」②■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

64オ2 経1502 執大象■天下往―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□於□□―東洋・慶Ⅰ」

注1503 皈往之■―武内・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮」①歸□□■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・書陵・梅沢」②歸□□也―東急・斯Ⅰ・宋版」②歸□■也―道蔵」

64ウ3 注1504 往来於己■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■■―梅沢・道蔵」①□□□□者□―東洋」

64ウ4 経1505 安平太―慶Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・六地・斯Ⅰ・宋版」①□□泰―道蔵」①□□大―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅱ・足利・書陵・陽Ⅱ・東急」

注1506 万民―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□物―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1507 皈往―武内・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・無窮」①歸□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・足利・斯Ⅱ・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1508 國家安寧―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□安家□―宋版」

1509 ■而太平矣―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①■□大□―東大・足利」①致□□□―宋版」①而致□□□―斯Ⅰ・道蔵」

1510 ■身體安―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢」①則□□□―武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・道蔵」②則□■□―斯Ⅰ・宋版」

1511 大壽■也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・無窮・斯Ⅰ・宋版」①□□■■―道蔵」①□□矣□―東洋」①□□之□―梅沢」①太□■□―武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・書陵・東急」

64ウ7経 1512 樂與餌―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□餌―武内・慶Ⅱ・書陵」

注 1513 餌美也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①餌□□―武内・慶Ⅱ・書陵」

1514 ■能―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋」①人□―武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1515 則一留止也一者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□一也□―足利」①□□居□□□□―道蔵」①■□□□□□□―斯Ⅱ」

1516 去盈而處虛―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□■□―道蔵」

1517 忽々―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□處―道蔵」

1518 如過客也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□■―斯Ⅰ・宋版・道蔵」

65オ1経 1519 淡■兮―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急」①□■乎―斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□々□―弘文」

1520 其無味―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□―武内・東大・筑波・六地・陽Ⅱ」①□味無―弘文」

注 1521 道■出入於口―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□止□□□―道蔵」

1522 淡々―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□■―慶Ⅱ」①□然―道蔵」

1523 有酸鹹甘苦辛也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ」①□□□□□■―道蔵」①□□□苦甘□□―宋版」①□□酸□□□□―武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」

65オ6注 1524 足得也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□德□―宋版」

1525 道無形―活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅱ・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①□无□―陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・斯Ⅰ」

1526 有青黃白黑赤―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□赤白黑―武内・東大・慶Ⅱ・宋版・道蔵」

1527 可得見之也―活Ⅰ・活Ⅱ」①□□□■―陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ」①□□□■□―武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・足利・無窮・

書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

65オ7注1528有宮商角徴羽―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東洋・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□微□―東大・筑波」②□害□□微□―慶Ⅱ」

1529可得聴聞也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□之■―慶Ⅱ」①□□□之矣―梅沢」①□□而□□■―道蔵」

65ウ2注1530■■■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①既盡也―道蔵」

1531■用道■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・慶Ⅱ・筑波・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①■□也―武内・慶Ⅰ・弘文・足利・斯Ⅱ」①謂□□■―道蔵」

1532國冨民昌―活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・道蔵」①□■■□―陽Ⅰ・足利・東急」①富民国□―弘文」①□安□□―斯Ⅰ・宋版」

1533無有―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」①无□―武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・斯Ⅰ」

1534既盡■時也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□之□□―道蔵」

66オ1

1535微明■■第三十六―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■■□卅六―梅沢」①□□■■章□□□―東大」①□□■■章□卅六―武内・東洋」②將欲■■章□□□―慶Ⅰ」②將欲翕■章□卅六―慶Ⅱ」②將欲翕之章□卅六―弘文」②將欲噏之章□□□□―筑波」②■■■■■■■■―足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

66オ2経1536將欲翕之―東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・道蔵」①□□噏□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東急・斯Ⅰ・宋版」

1537必固張之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□悵□―足利」

66オ4注1538先開張之者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□□■―道蔵」

1539■極其奢淫也―」①欲□□□□―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢」②欲□□□■―東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

66オ6経1540將欲弱之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□使□―宋版」

1541必固強之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―梅沢」

注1542強大■之者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□■□■―道蔵」①□□也□□―東洋」

1543欲使遇禍患也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□□□■―斯Ⅰ・宋版」①□□□□志□―筑波」②□□過□害■―道蔵」

66オ7経1544必固興之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□■―梅沢」①□□與□―書陵」①□□与□―筑波・足利」

注1545先興之者―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□與□―書陵」①□与□―足利」

1546欲使其驕■■危也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・

宋版」②□□□□奢至□■—道蔵」

66 オ8 経1547 将欲奪之—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□■□□—弘文」

注1548 欲使其貪心也—」①□極□□□□—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」②□極□□□■—筑波・道蔵」

67 オ1 経1549 是謂微明—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□徴□—梅沢」

注1550 其道微—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□徴—梅沢」

67 オ3 注1551 柔弱者長久—」①□□□久長—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」

1552 先亡也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・足利?」①□□■—道蔵」

67 オ10 経1553 魚不可脱■渕—活Ⅰ・活Ⅱ」①□□□□於□—陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」②□□■□於□—道蔵」

注1554 魚脱入於渕—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□■□□—宋版・道蔵」

1555 為去剛得柔—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①謂□□□□—道蔵」

1556 不可復制■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□□□者□—東洋」

67 ウ2 注1557 利器者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□□■—斯Ⅰ・宋版」

1558 謂権道也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・杏雨」①■□□□—宋版」

1559 示■執支之臣也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□非□□□□—東大・筑波」

67 ウ6 注1560 治身■道者—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□□之□□—武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」

1561 示非其人■也—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・杏雨」①□□□□者□—東洋」

69 オ1 1562 為政■■第三十七—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・道蔵」□□■■□卅七—梅沢」①□□■章□□□□—東大」①□□■■章□卅七—武内・東洋」②道常■■章□□□□—慶Ⅰ」②道常無■章□卅七—弘文」②道常無為章□□□□—筑波」②道常無為章□卅七—慶Ⅱ」②■■■■■■■■—足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・六地・陽Ⅱ・東急」

69 オ2 経1563 道常無為—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□无□—東大・慶Ⅰ・六地・陽Ⅱ」

注1564 ■■■■■■■■—活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・道蔵・治要」①道以無為為常也—宋版」

経1565 而無不為—活Ⅰ・活Ⅱ・東大・東洋・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□无□□—陽Ⅰ・

武内・慶Ⅰ・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ」②■无□□－治要」

注1566道以無為－活Ⅰ・活Ⅱ・東洋・弘文・足利・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□□无□－陽Ⅰ・武内・東大・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・斯Ⅱ・斯Ⅰ・治要」①■■■■－宋版」

1567為常也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・治要」①□□■－弘文・道蔵」①■■■－宋版」

69オ7

経1568侯王若能守之－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・道蔵」①□□□□□■－斯Ⅰ・宋版」①□□而□□□－治要」

注1569侯王若能守道－活Ⅱ・武内・東大・東洋・筑波・足利・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□而□□□－活Ⅰ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ（而能字間に若字有り、加筆か）・弘文・斯Ⅱ・無窮・書陵・道蔵・治要」

1570效於己也－活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・足利・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・治要」①□□□■－弘文」①□■□□－陽Ⅰ」①□■■□－書陵」

69ウ4

経1571以無名之樸－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東急・道蔵」①□□□□朴－武内・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・陽Ⅱ・斯Ⅰ・宋版」②□无□□朴－東大・慶Ⅰ・六地」

注1572吾身也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□■－東急」

1573無名之樸－活Ⅰ・活Ⅱ・東急・道蔵」①□□□朴－東洋・慶Ⅱ・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①无□□□－陽Ⅰ」②无□□朴－武内・東大・慶Ⅰ・筑波」

1574道■也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・慶Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□德□－武内・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ」

1575万物已化－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ」①□□■■－慶Ⅱ」①□□以□－宋版・道蔵」

1576效■己■－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□■□也－宋版」②□於□也－斯Ⅰ・道蔵」

69ウ6

注1577效己－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ」①■■－武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・宋版・道蔵」

1578欲作巧偽者－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵」①□□功□□－筑波・足利・書陵」

69ウ7

注1579侯王－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・斯Ⅰ・宋版」①王侯－武内・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」

1580當身－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□■－武内・東大・慶Ⅰ・東急・道蔵」

1581鎮撫之－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・道蔵」①□□■－斯Ⅰ・宋版」

1582以道德也－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急」①□□□■－斯Ⅰ・宋版・道蔵」

69ウ8

経1583無名之樸－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・道蔵」①□□□朴－武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版」②无□□朴－六地」

注1584侯王－活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①王侯－道蔵」

1585 鎮撫之―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・斯Ⅰ」①□□■―武内・東大・東洋・梅沢・東急・宋版・道蔵」

1586 以道徳■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版」①□□□化―道蔵」

1587 將不欲改■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・無窮・梅沢・東急・宋版」①□□□改―斯Ⅰ」①□□□攻■―足利」①□□□故■―書陵・道蔵」

1588 當以清静―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・東洋・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・宋版・道蔵」①□□□浄―武内・東大・慶Ⅰ・東急・斯Ⅰ」

1589 導化之也―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・弘文・足利・梅沢・斯Ⅰ・宋版」①□□□■―東急」①道□□□―筑波・斯Ⅱ・書陵」②道□□■―無窮」②道□■■―道蔵」

69 ウ12 経

1590 將自正―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・梅沢・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・道蔵」①□□定―宋版」

注

1591 將自正安定也■―活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・武内・東大・東洋・慶Ⅰ・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・無窮・書陵・東急・斯Ⅰ」①□□□□□之―梅沢」①□□□■□□■―宋版・道蔵」